



取扱説明書(日野編)

もくじ.....	1
ご使用になる前に.....	2
はじめに.....	3
安全にご利用になるために.....	4
対応システムと診断機能.....	6
対応車種一覧.....	7
診断コネクタ取り付け位置.....	11
診断の準備.....	13
車両と接続します.....	14
電源のON/OFF.....	17
車種、システムを選択します.....	19
診断機能.....	25
自己診断機能.....	26
データ表示機能.....	33
保存データ表示機能.....	50
アクティブテスト機能.....	57
作業サポート機能.....	61
識別情報表示機能.....	105

ご使用になる前に

はじめに.....	P3
安全にご利用になるために	P4
対応システムと機能.....	P6
対応車種一覧.....	P7
診断コネクタ取り付け位置.....	P11



はじめに

ご使用になる前に

本取扱説明書では、日野車の診断方法に関してご説明させていただきます。
ご使用の前に本取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。

株式会社インターサポート

- 本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前に、必ず本取扱説明書ならびに添付のその他の取扱説明書を必ずお読みください。
- 本取扱説明書および添付のその他の取扱説明書では、人に対する危害や財産への損傷を未然に防止するために、危険を伴う操作、お取扱について、次の記号で警告または、注意しています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

**警告**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。

**注意**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が負傷を負う可能性、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

本製品を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

以下に述べられている警告や他の案内を無視した事が原因となる製品の損害や、被害などに関しては、当社は一切責任を負いません。



警告

- 走行状態でご使用になる場合には、必ず運転者、操作者の2人でご使用ください。操作に気を取られて事故につながる恐れがあります。
- アクティブテストは日野のサービスマニュアルにより各システムの駆動システム、制御内容を十分に理解した上で行ってください。使用方法を間違えると、車両に悪影響をおよぼし事故発生の原因となる恐れがあります。
- アクティブテストは車両が正常な状態(ウォーニングランプ消灯時、故障未検出時)および、車両停止状態(パーキングブレーキをかけて、輪留めをする)で実行してください。



注意

- 日野車または、日野製造のOEM車以外に使用しないでください。

ご使用になる前に

対応システムと、診断機能の関係は以下の通りです。

デュトロ、リエッセ2

	自己診断	データ表示	アクティブ テスト	作業サポート	識別情報 表示
エンジン	●	●	●	●	●
インバータ	●	—	—	—	●
ハイブリット	●	—	—	—	●
バッテリー	●	—	—	—	●
AT	●	●	—	—	—
ABS	●	●	●	●	—
SRSエアバッグ	●	—	—	—	—

レンジャー、ブルーリボンシティー、ポンチョ、メルファ、リエッセ

	自己診断	データ表示	アクティブ テスト	作業サポート	識別情報 表示
エンジン	●	●	●	●	●
インバータ	●	—	—	—	—
ハイブリット	●	—	—	—	—
バッテリー	●	—	—	—	—
ABS	●	●	●	●	—
SRSエアバッグ	●	—	—	—	—

プロフィア、セレガ

	自己診断	データ表示	アクティブ テスト	作業サポート	識別情報 表示
エンジン	●	●	●	●	●
インバータ	●	—	—	—	●
ハイブリット	●	—	—	—	●
バッテリー	●	—	—	—	●
プロシフト	●	—	—	●	—
ABS	●	—	—	—	—
SRSエアバッグ	●	—	—	—	—

※一部の車種では対応していないシステムがあります。



対応車種一覧

ご使用になる前に

車種名	車両型式	エンジン型式	対応年式	
			西暦	和暦
デュトロ	ABG-TRU	2TR-FE	07.05～	H19.05～
	BDG-XZU	N04C	06.09～	H18.09～
	BJG-XZU	N04C	07.12～	H19.12～
	BKG-XZU	N04C	07.12～	H19.12～
	GE-RZU	3RZ-FE	00.05～04.04	H12.05～H16.04
	GL-RZU	3RZ-FE	03.05～04.04	H15.05～H16.04
	GL-RZU	3RZ-FPE	03.05～04.04	H15.05～H16.04
	KK-XZU	J05C	99.04～04.11	H11.04～H16.11
	KK-XZU	S05C	99.04～04.11	H11.04～H16.11
	KK-XZU	S05D	99.04～04.11	H11.04～H16.11
	LD-RZU	3RZ-FE	04.06～	H16.06～
	PB-XZU	J05D	04.05～	H16.05～
	PB-XZU	N04C	04.05～	H16.05～
	PB-XZU	S05D	04.05～	H16.05～
	PD-XZU	N04C	03.08～	H15.08～
	PH-XZU	N04C	05.04～	H17.04～
	VF-XKU	N04C	03.08～	H15.08～
	レンジャー	ADG-FC	J05D	05.05～
ADG-FC		J07E	05.05～	H17.05～
ADG-FD		J07E	05.05～	H17.05～
ADG-FD		J08E	05.05～	H17.05～
ADG-FE		J07E	05.05～	H17.05～
ADG-FE		J08E	05.05～	H17.05～
ADG-FG		J08E	05.05～	H17.05～
ADG-FJ		J07E	05.05～	H17.05～
ADG-FT		J08E	05.05～	H17.05～
ADG-FX		J07E	05.05～	H17.05～
ADG-GC		J07E	05.05～	H17.05～
ADG-GD		J07E	05.05～	H17.05～
ADG-GK		J08E	05.05～	H17.05～
ADG-GX		J07E	05.05～	H17.05～
BDG-FC		J05D	06.04～	H18.04～
BDG-FC		J07E	06.04～	H18.04～
BDG-FD		J07E	06.04～	H18.04～
BDG-FD		J08E	06.04～	H18.04～
BDG-FE		J07E	06.04～	H18.04～
BDG-FE		J08E	06.04～	H18.04～
BDG-FG		J08E	06.04～	H18.04～
BDG-FJ		J07E	06.04～	H18.04～
BDG-FT		J08E	06.11～	H18.11～
BDG-FX	J07E	06.04～	H18.04～	

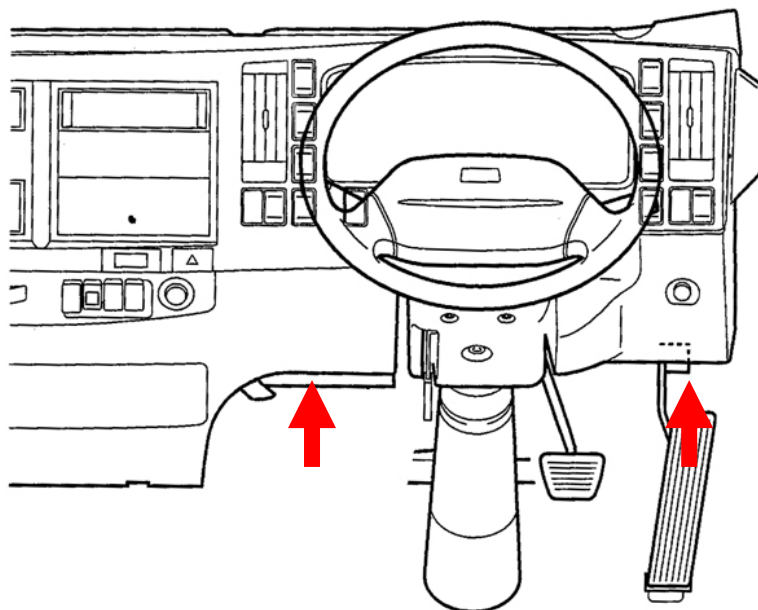
車種名	車両型式	エンジン型式	対応年式	
			西暦	和暦
レンジャー	BDG-GC	J07E	06.04～	H18.04～
	BDG-GD	J07E	06.04～	H18.04～
	BDG-GK	J08E	06.04～	H18.04～
	BDG-GX	J07E	06.04～	H18.04～
	BJG-FC	J05D	08.01～	H20.01～
	BKG-FC	J07E	07.12～	H19.12～
	BKG-FD	J07E	07.12～	H19.12～
	BKG-GC	J07E	07.12～	H19.12～
	BKG-GD	J07E	07.12～	H19.12～
	KS-FE	J07E	04.05～05.09	H16.05～H17.09
	KS-FE	J08E	04.05～05.09	H16.05～H17.09
	KS-FG	J08E	04.05～05.09	H16.05～H17.09
	KS-FJ	J07E	04.05～05.09	H16.05～H17.09
	KS-GK	J08E	04.05～05.09	H16.05～H17.09
	PB-FC	J05D	03.10～05.10	H15.10～H17.10
	PB-FC	J07E	03.10～05.10	H15.10～H17.10
	PB-FD	J07E	03.10～05.10	H15.10～H17.10
	PB-FD	J08E	03.10～05.10	H15.10～H17.10
	PB-FT	J08E	03.10～05.10	H15.10～H17.10
	PB-FX	J07E	03.10～05.10	H15.10～H17.10
	PB-GC	J07E	03.10～05.10	H15.10～H17.10
	PB-GD	J07E	03.10～05.10	H15.10～H17.10
	PB-GX	J07E	03.10～05.10	H15.10～H17.10
	PK-FE	J07E	04.05～05.09	H16.05～H17.09
	PK-FE	J08E	04.05～05.09	H16.05～H17.09
	PK-FG	J08E	04.05～05.09	H16.05～H17.09
	PK-FJ	J07E	04.05～05.09	H16.05～H17.09
	PK-GK	J08E	04.05～05.09	H16.05～H17.09
プロフィア	ADG-FQ	E13C	05.12～07.02	H17.12～H19.02
	ADG-FR	E13C	05.12～07.02	H17.12～H19.02
	ADG-FS	E13C	05.12～07.02	H17.12～H19.02
	ADG-FW	E13C	05.12～07.02	H17.12～H19.02
	ADG-SH	E13C	05.12～07.02	H17.12～H19.02
	ADG-SS	E13C	06.01～07.02	H18.01～H19.02
	BDG-FH	A09C	06.01～07.02	H18.01～H19.02
	BDG-FN	E13C	07.07～	H19.07～
	BDG-FQ	E13C	07.03～	H19.03～
	BDG-FR	A09C	07.03～	H19.03～
	BDG-FR	E13C	07.07～	H19.07～
	BDG-FS	A09C	07.03～	H19.03～
	BDG-FS	E13C	07.07～	H19.07～
	BDG-FW	A09C	07.03～	H19.03～
	BDG-FW	E13C	07.07～	H19.07～
	BDG-GN	A09C	07.03～	H19.03～
	BDG-PR	A09C	07.07～	H19.07～
	BDG-SH	A09C	07.07～	H19.07～
	BDG-SH	E13C	07.07～	H19.07～
	KS-FN	E13C	07.03～	H19.03～

車種名	車両型式	エンジン型式	対応年式	
			西暦	和暦
プロフィア	BDG-SS	E13C	07.03～	H19.03～
	BKG-FN	A09C	07.07～	H19.07～
	BKG-FR	A09C	07.07～	H19.07～
	BKG-FR	E13C	07.01～	H19.01～
	BKG-FS	A09C	07.07～	H19.07～
	BKG-FS	E13C	07.03～	H19.03～
	BKG-FW	A09C	07.07～	H19.07～
	BKG-FW	E13C	07.01～	H19.01～
	BKG-SH	E13C	07.03～	H19.03～
	KS-FH	P11C	03.11～07.02	H15.11～H19.02
	KS-FN	E13C	03.11～05.11	H15.11～H17.11
	KS-FN	P11C	03.11～07.02	H15.11～H19.02
	KS-FQ	E13C	03.11～05.11	H15.11～H17.11
	KS-FR	E13C	03.11～05.11	H15.11～H17.11
	KS-FR	P11C	03.11～07.02	H15.11～H19.02
	KS-FS	E13C	03.11～05.11	H15.11～H17.11
	KS-FS	P11C	03.11～07.02	H15.11～H19.02
	KS-FW	E13C	03.11～05.11	H15.11～H17.11
	KS-GN	P11C	03.11～07.02	H15.11～H19.02
	KS-SH	E13C	04.07～05.12	H16.07～H17.12
	KS-SH	P11C	04.07～07.02	H16.07～H19.02
	KS-SS	E13C	04.07～05.12	H16.07～H17.12
	PK-FH	P11C	03.11～07.02	H15.11～H19.02
	PK-FN	E13C	03.11～05.11	H15.11～H17.11
	PK-FN	P11C	03.11～07.02	H15.11～H19.02
	PK-FQ	E13C	03.11～05.11	H15.11～H17.11
	PK-FR	E13C	03.11～05.11	H15.11～H17.11
	PK-FR	P11C	03.11～07.02	H15.11～H19.02
	PK-FS	E13C	03.11～05.11	H15.11～H17.11
	PK-FS	P11C	03.11～07.02	H15.11～H19.02
	PK-FW	E13C	03.11～05.11	H15.11～H17.11
	PK-FW	P11C	03.11～07.07	H15.11～H19.07
	PK-GN	P11C	03.11～07.02	H15.11～H19.02
PK-SH	E13C	04.07～05.12	H16.07～H17.12	
PK-SH	P11C	04.07～07.02	H16.07～H19.02	
PK-SS	E13C	04.07～05.12	H16.07～H17.12	
セレガ	ADG-RU	E13C	06.02～	H18.02～
	ADG-RU	J08E	07.01～	H19.01～
	BDG-RU	J08E		
	BJG-RU	A09C		
	PKG-RU	E13C		
	VM-RU	P11C	05.01～	H17.01～
ブルーリボン シティー	ACG-HU	J08E	05.01～	H17.01～
	BJG-HU	J08E		
ポンチョ	ADG-HX	J05D	06.03～	H18.03～
	BDG-HX	J05D	07.07～	H19.07～
メルファ	BDG-RR	J07E	07.06～	H19.06～
	PB-RJ	J07E	04.08～	H16.08～

車種名	車両型式	エンジン型式	対応年式	
			西暦	和暦
メルファ	PB-RR	J07E	07.06～	H16.08～
リエッセ	BDG-RX	J05D	07.06～	H19.06～
	PB-RX	J05D	04.08～	H16.08～
リエッセ2	BDG-XZB	N04C	09.07～	H21.07～
	PB-XZB	N04C	04.08～	H16.08～
	PDG-XZB	N04C	09.07～	H21.07～
レインボー	BDG-HR	J07E	07.06～	H19.06～
	PB-HR	J07E	04.08～	H16.08～
	PK-HR	J07E	04.08～	H16.08～

※注意と補足※

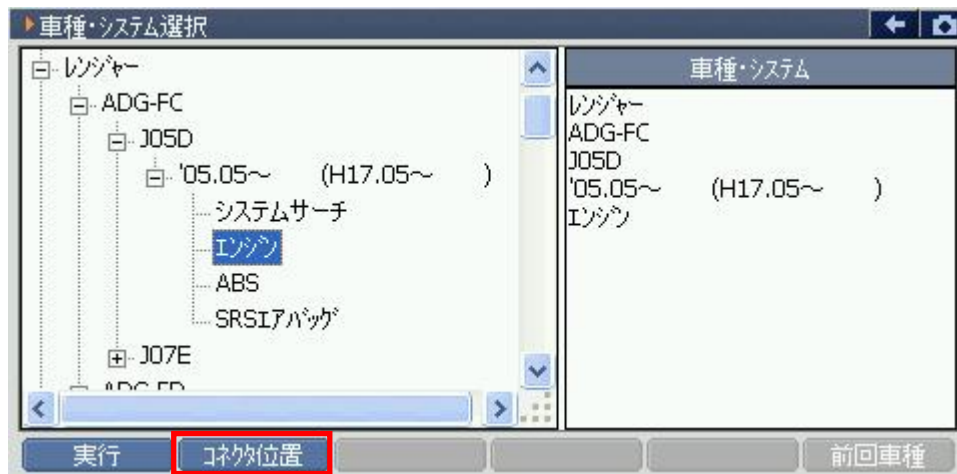
- ・ 対応表の年式はあくまで目安であり、対応年式内の車両でも対応していない場合があります。

データリンクコネクタ

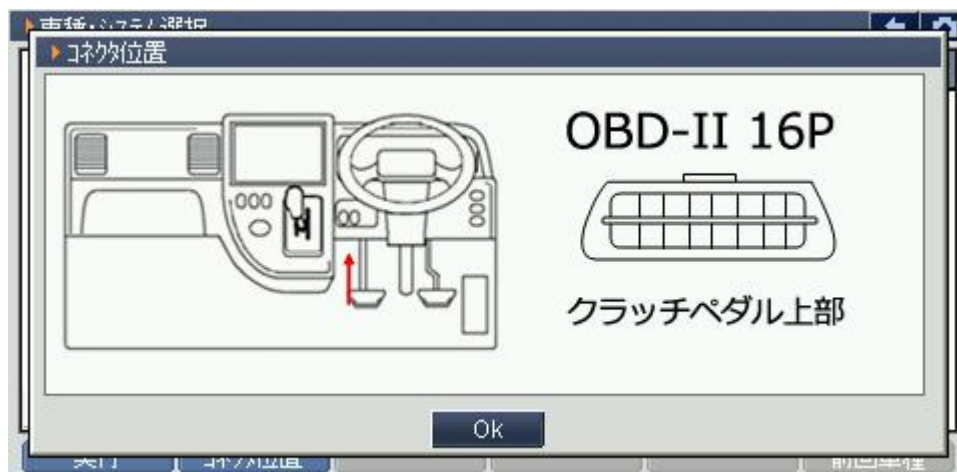
車両側データリンクコネクタは運転席インストルメントパネル下部にあり、コネクタの位置は車両によって異なります。AT車の場合のコネクタ位置はアクセルペダルの上部、MT車の場合はハンドル左下にあります。

※注意と補足※

- ・ 車種・システム選択画面で **コネクタ位置** ボタンをタッチすると、車両側のコネクタ位置が表示されます。



<図: 車種・システム選択画面>

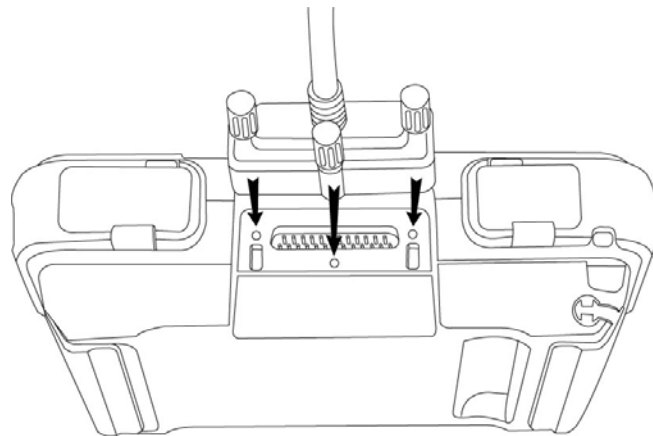


<図: コネクタ位置表示画面>

診断の準備

車両と接続します	P14
電源のON/OFF	P17
車種、システムを選択します	P19

- 1) G-scanのDLCコネクタ部にDLCメインケーブルを接続し、3箇所のネジをしっかりと締め付けてください。

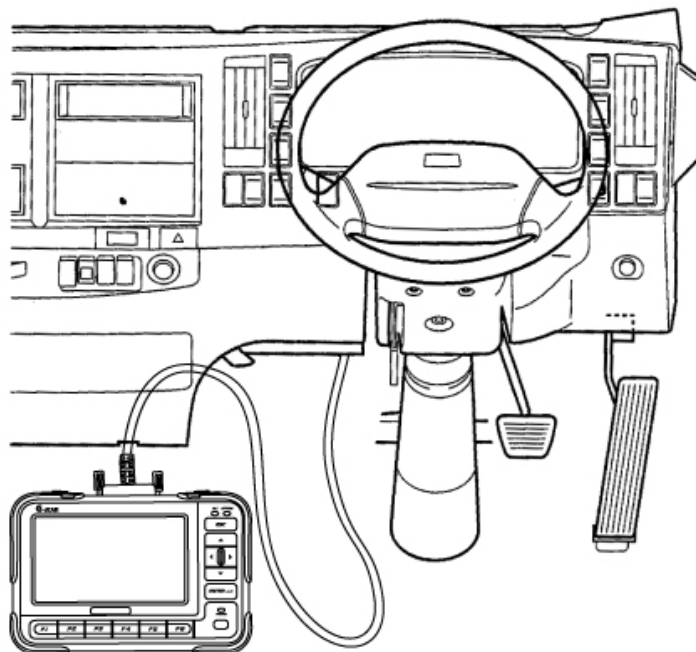


〈図:DLCメインケーブルの接続〉

**警告**

DLCメインケーブルがG-scanに接続された状態で、DLCメインケーブルのみを持たないでください。

2) G-scan本体に接続したDLCメインケーブルのもう一端を車両の診断コネクタに接続します。



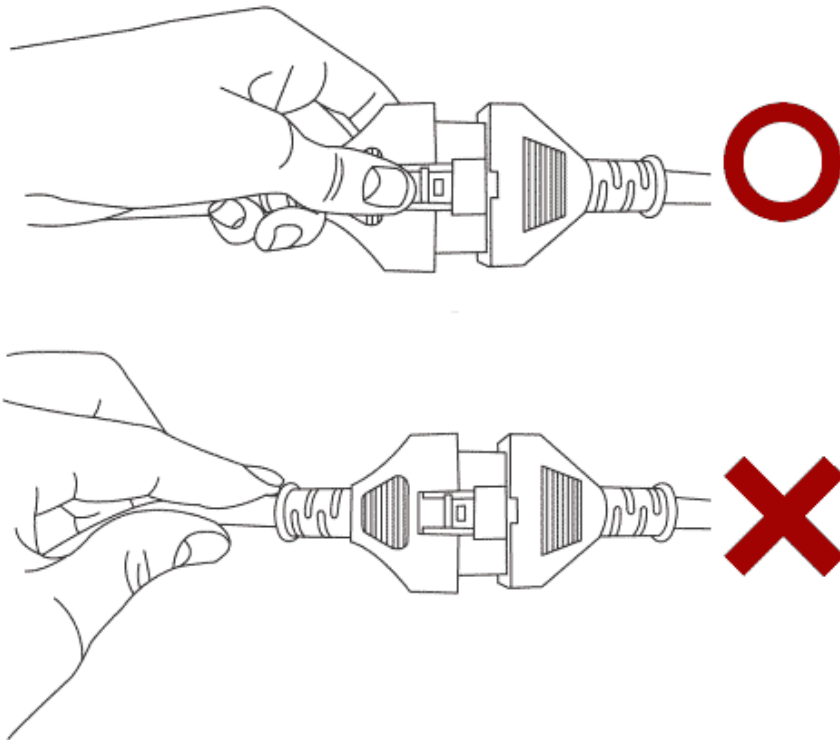
〈図:車両との接続〉

※注意と補足※

- ・ 車両によっては、車両のデータリンクコネクタ側からは電源が供給されません。その場合は、別途付属のシガライタ電源ケーブル、バッテリーケーブルを接続して、車両から電源を供給してください。電源の供給方法に関しては取扱説明書(本体編)『電源の供給方法について』の項をご参照ください。

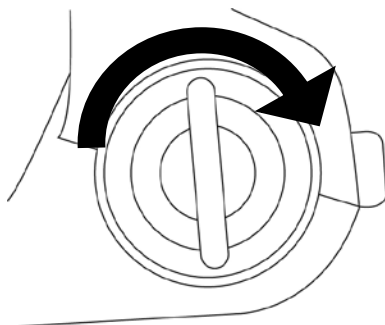


警告



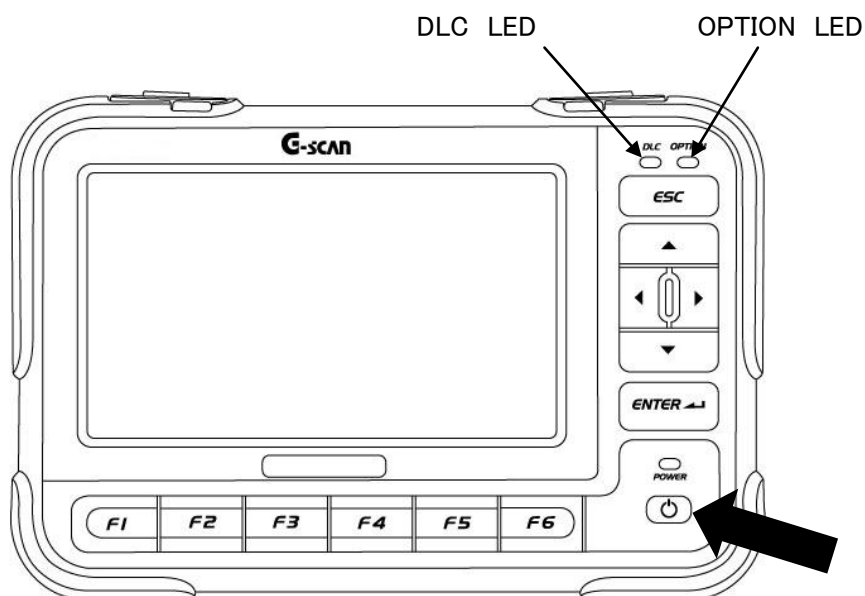
24V車用変換カプラからDLCメインケーブルを取り外すとき、ワイヤを引っ張ったり、曲げたりしないでください。ケーブルやコネクタに損害を与える場合があります。必ずつまみを押しながら取り外してください。

- 1) 車両のIG SWをON、またはエンジンを始動します。



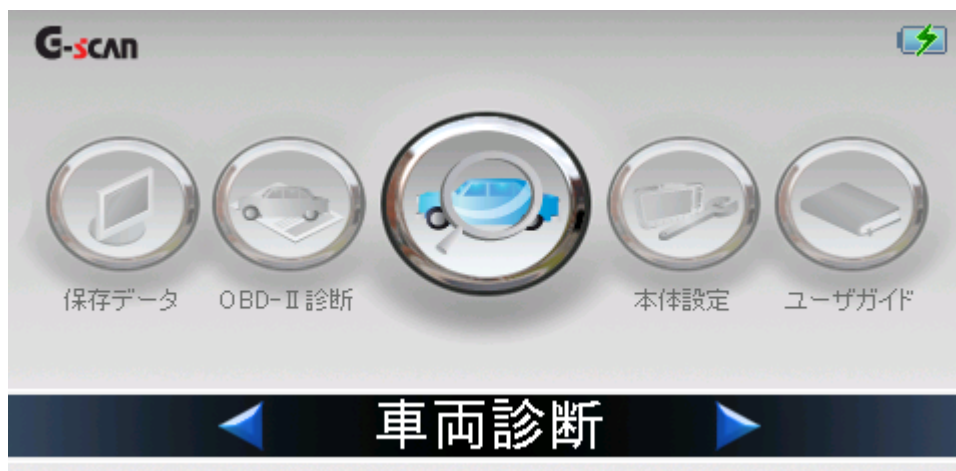
〈図:IG SW ONまたはエンジン始動〉

- 2) G-scan本体の電源ON/OFFボタンを約0.5秒長押ししてください。DLC LED、OPTION LEDがオレンジ色から緑色へと変わり、G-scanの電源がONします。



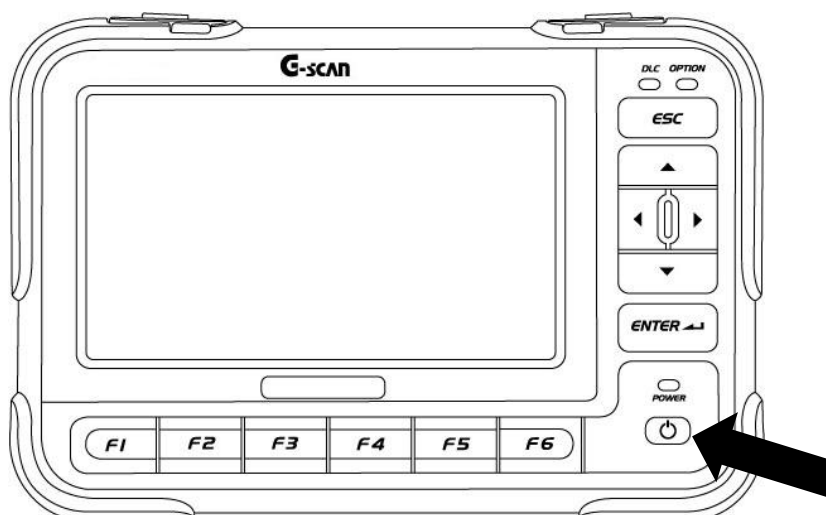
〈図:電源ON〉

3) G-scanが通常通り起動すると以下の画面が表示されます。



〈図: G-scanメイン画面〉

4) 電源をOFFする場合は、上記のG-scanメイン画面を表示した状態で、電源ON/OFFボタンを約2.5秒長押ししてください。G-scanの電源がOFFします。



〈図: 電源OFF〉

- 1) G-scanメイン画面において『車両診断』を選択して、**ENTER** ボタンを押してください。



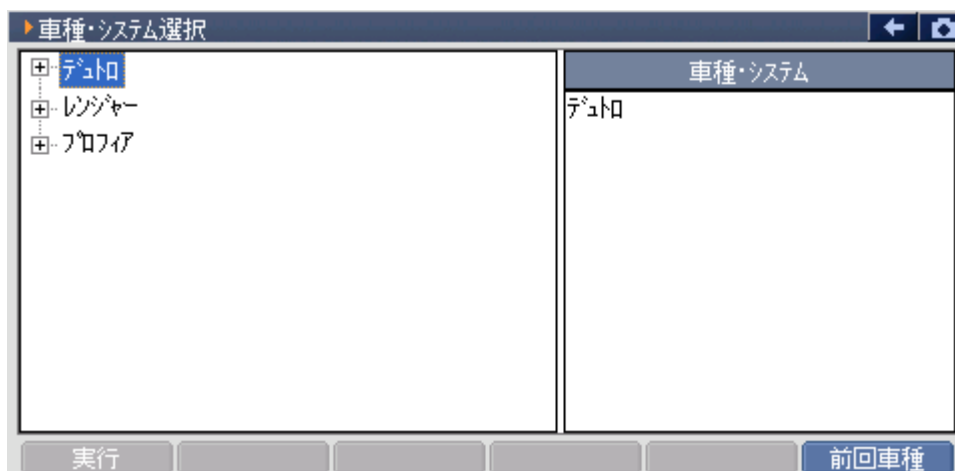
〈図: 車両診断を選択〉

- 2) メーカー選択画面が表示されます。日野を選択して、**決定** ボタンをタッチ、
又は **FI** ボタンを押してください。



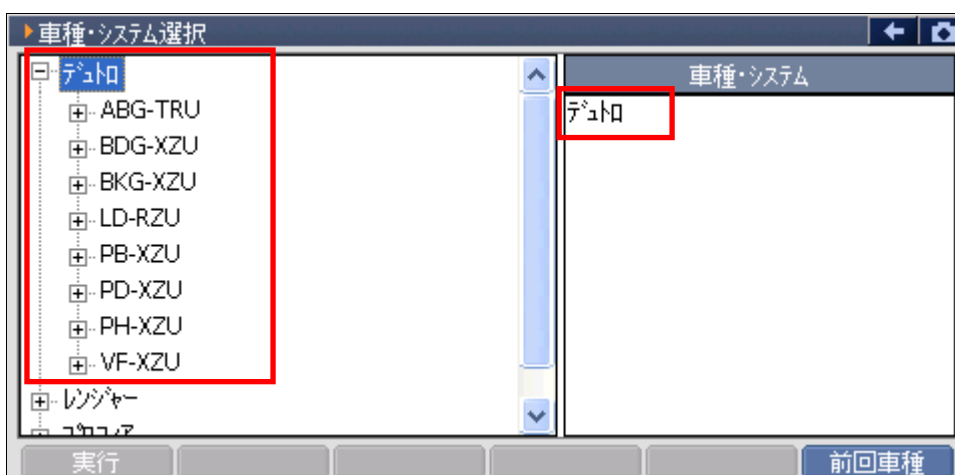
〈図: メーカー選択画面〉

3) 車種・システム選択画面が表示されます。



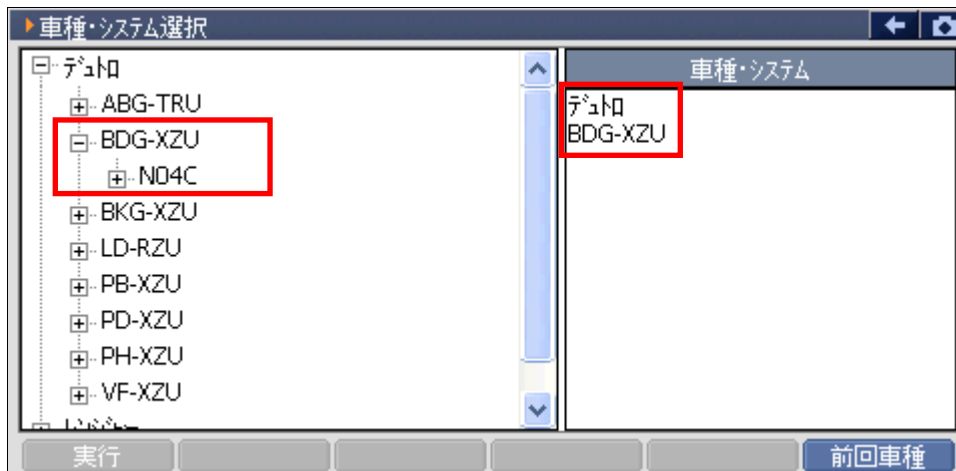
〈図: 車種・システム選択画面〉

4) 診断する車種名を選択して **ENTER** ボタンを押してください。車種名の下に型式が表示されます。

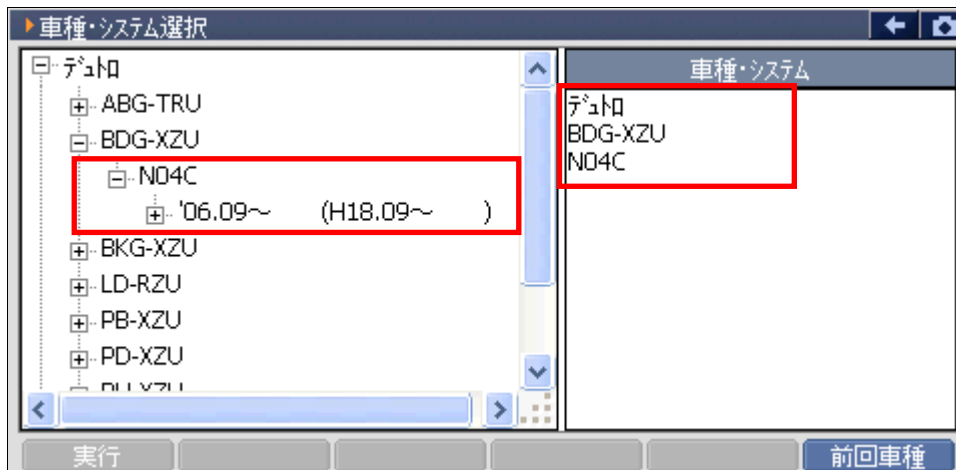


〈図: 車種名の選択〉

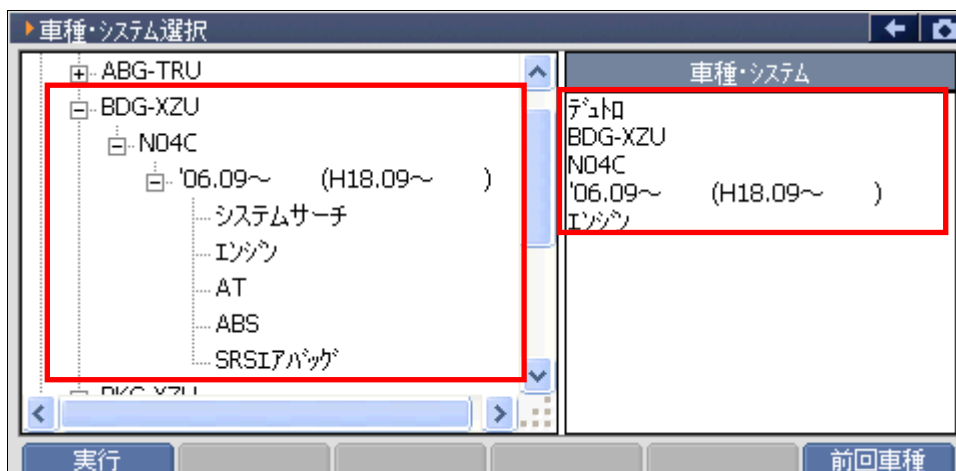
5) 同様に、診断する車両の型式、エンジン型式、年式を選択してください。



〈図: 型式の選択〉

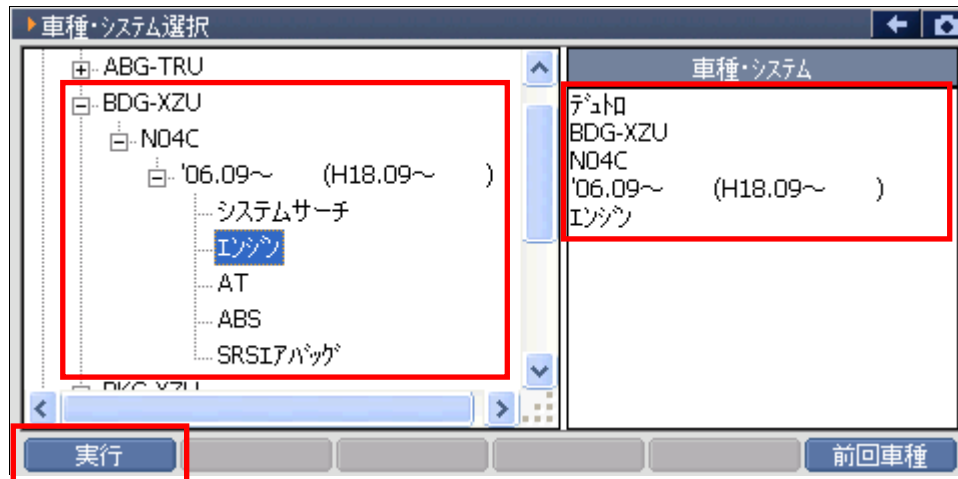


〈図: エンジン型式の選択〉



〈図: 年式の選択〉

6) 診断するシステムを選択して **実行** ボタンをタッチ、又は **F1** ボタンを押してください。



〈図:システムの選択〉

※注意と補足※

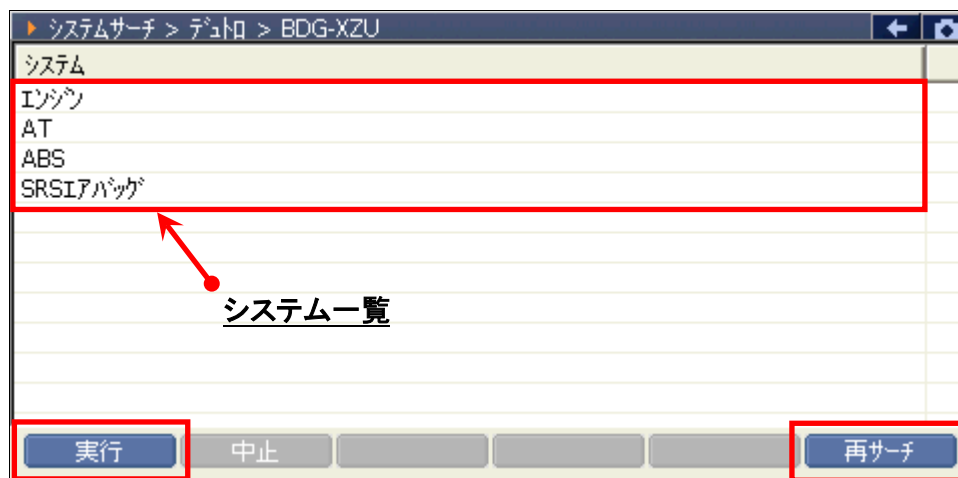
- ・ 車種、システムの選択は正確に行ってください。正確に車種・システム選択が行われないと故障コード違いや、データ違い、通信異常の原因になります。
- ・ 車種・システム選択画面で **前回車種** ボタンをタッチ、又は **F5** ボタンを押すと、前回選択した車種、システムを自動で選択します。

- システムサーチとは通信可能なシステムを検索する機能です。

システムサーチを実行すると、画面に通信可能なシステム一覧を表示します。

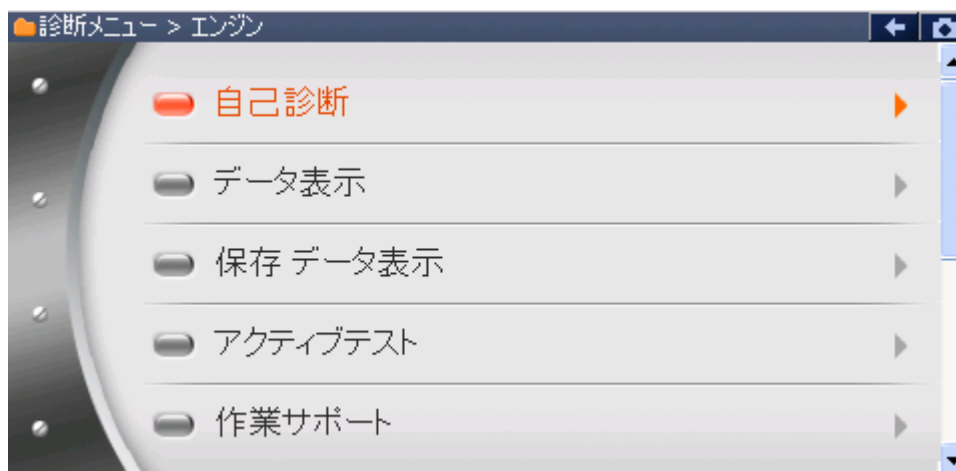
システム一覧から、システムを選択後 **実行** ボタンをタッチ、又は **F1** ボタンを押すと選択したシステムと通信が開始され、7)の診断メニューが表示されます。

再サーチ ボタンをタッチ、又は **F6** ボタンを押すと再度システムサーチを行います。



〈図：システムサーチ画面〉

7) 車種・システムの選択が正しく行われると診断メニューが表示されます。



〈図：診断メニュー画面〉

※注意と補足※

- ・ 上記の診断メニューはエンジンを選択した例です。診断メニューに表示される診断機能は車種、システムによって異なります。
対応システムと機能の関係についてはP6をご参照ください。

診断機能

自己診断機能.....	P26
データ表示機能.....	P33
保存データ表示機能.....	P50
アクティブテスト機能.....	P57
作業サポート機能.....	P61
識別情報表示機能.....	P104

1) 診断メニューにおいて『自己診断』選択して、**ENTER** ボタンを押してください。



〈図: 診断メニューにて自己診断を選択〉

2) 自己診断画面が表示され、記憶された故障コードが表示されます。



〈図: 自己診断画面〉

故障コード : SAEコード(例:P0135)が表示されます。

故障系統名 : 故障系統名が表示されます。
故障内容の詳細に関しては、日野のサービスマニュアルをご参照ください。

故障の検出状態を表示します。(※SRSエアバックのみ対応)

状態 : 「現在」 : 現在発生している故障コードを検出したことを意味します。

「過去」 : 過去に発生した故障コードを検出したことを意味します。

モード ノーマルモードとチェックモード(テストモード)の切替をします。【詳細はP29を参照】

消去 自己診断記憶を消去します。【詳細はP28を参照】

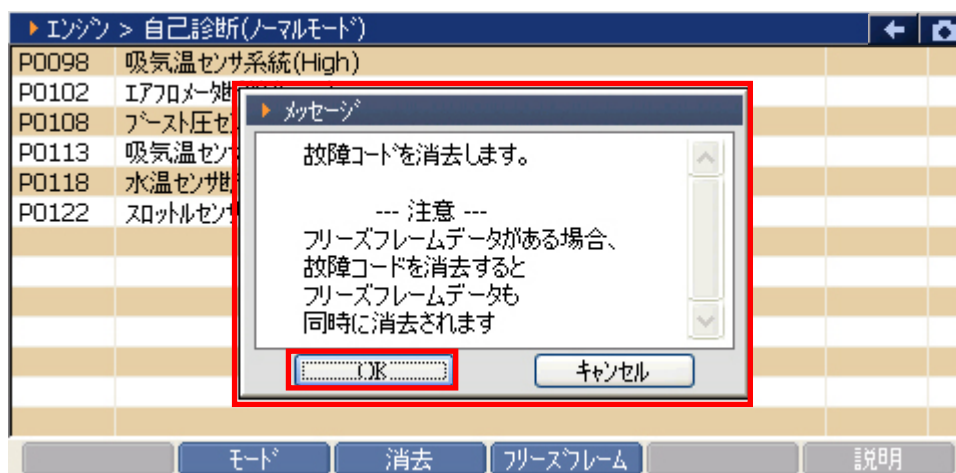
フリーズフレーム フリーズフレームデータを表示します。【詳細はP31を参照】

※注意と補足※

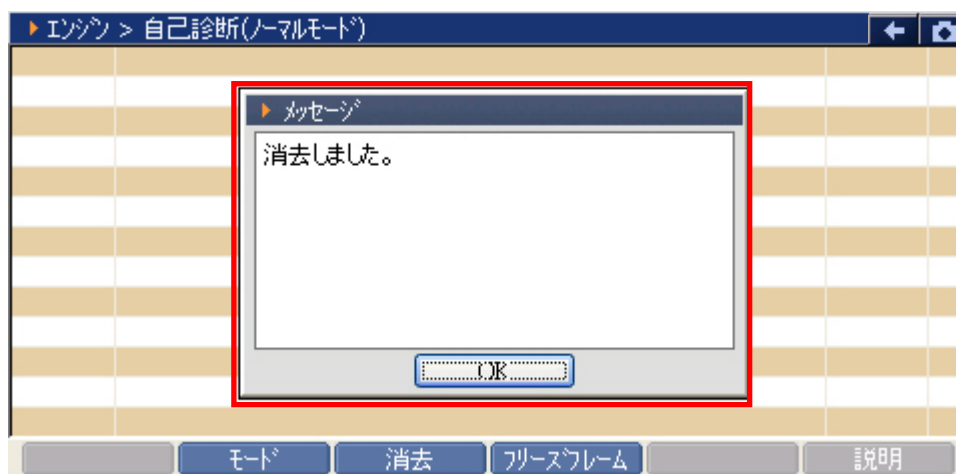
- ・ 自己診断画面の表示形式は診断するシステムによって異なります。

消去 ボタンの詳細

- ① **消去** ボタンをタッチ、又は **F3** ボタンを押すと故障コードを消去します。以下の画面が表示されますので、**OK** ボタンをタッチして故障コードを消去してください。



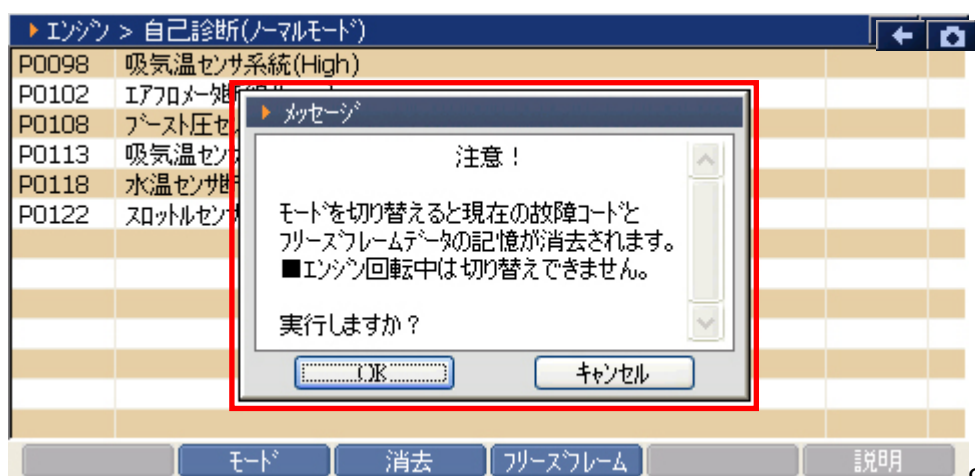
〈図: 故障コードの消去〉



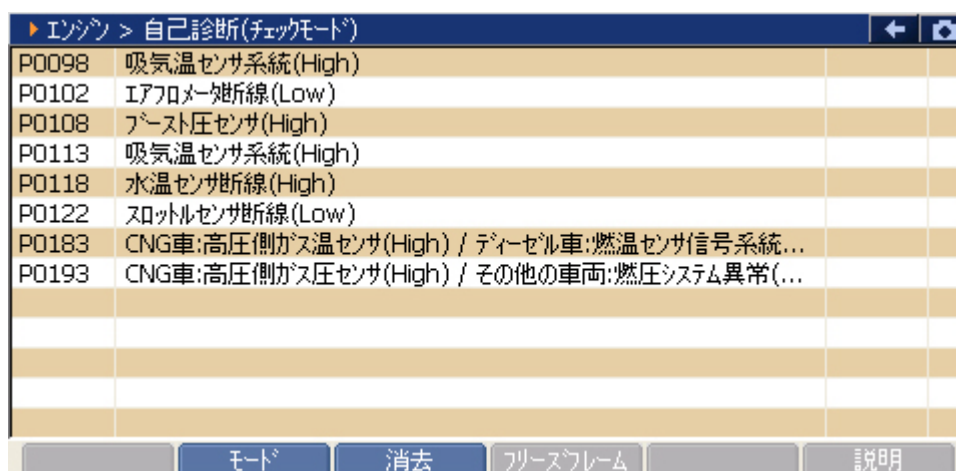
〈図: 故障コードの消去完了〉

モード ボタンの詳細

- ① **モード** ボタンをタッチ、又は **F2** ボタンを押すとノーマルモードとチェックモード(テストモード)の切替えが行えます。
- 以下の画面が表示されますので、よろしければ **OK** ボタンをタッチしてください。モードが切替わります。



〈図:モード切替〉



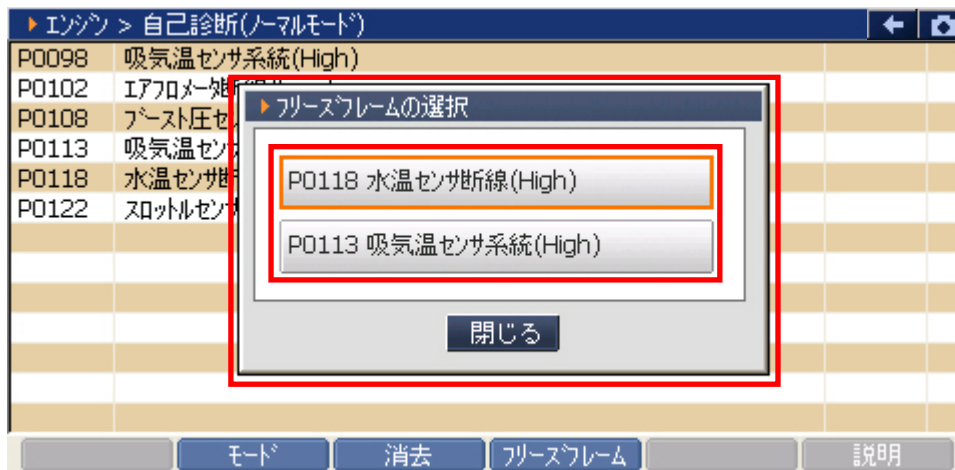
〈図:チェックモード(テストモード)での表示〉

※注意と補足※

- ・ チェックモードとは、通常のノーマルモードに比べて異常検出感度を向上させた機能です。各センサの異常が考えられるにも関わらず、ノーマルモードで検出できない場合に使用します。

■ フリーズフレーム ボタンの詳細

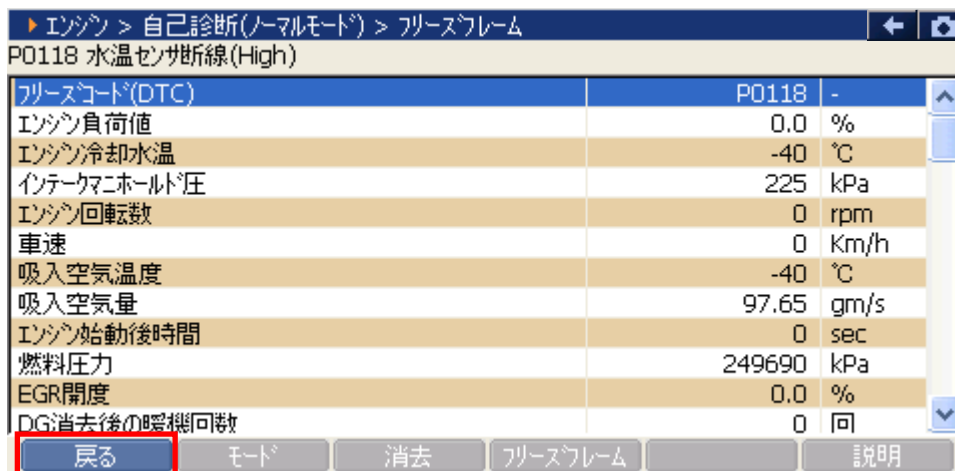
- ① **フリーズフレーム** ボタンをタッチ、又は **F4** ボタンを押すと以下の画面が表示されます。フリーズフレームデータを表示する故障コードを選択してください。



〈図: 表示するフリーズフレームデータの選択〉

- ② 故障コードを選択すると、フリーズフレームデータが表示されます。

戻る ボタンをタッチ、又は **F1** ボタンを押すと自己診断画面に戻ります。

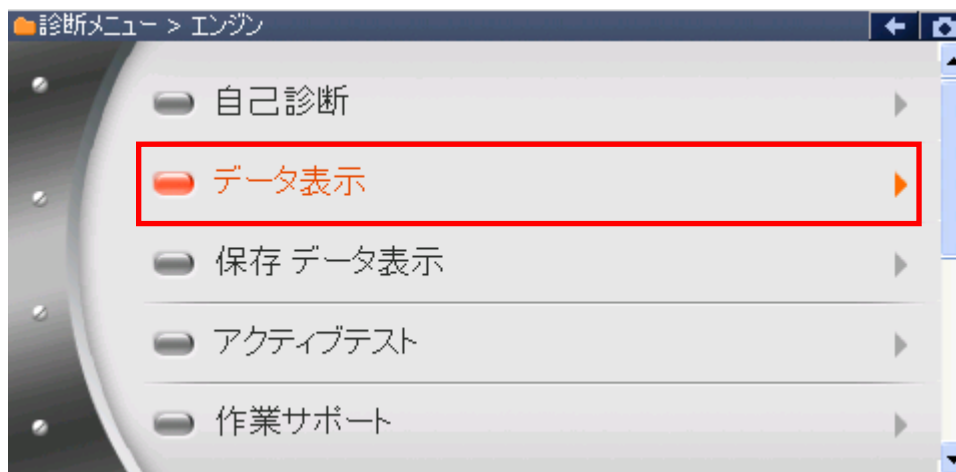


〈図: フリーズフレームデータの表示〉

※注意と補足※

- ・ フリーズフレームデータとは故障コード発生・検出時のデータがECU(エンジンコンピュータ)によって記録されたものです。記憶されるデータの種類は車載ECUによって決められていて、故障コードに関連したデータ(エンジン回転数、車速、燃料補正值、冷却水温等)が記憶されます。
- ・ フリーズフレームデータは故障コード消去後、最初の故障コード発生と同時に1回だけ記憶されます。
- ・ フリーズフレームデータは故障コードを消去する時に同時に消去されます。

1) 診断メニューにおいて『データ表示』を選択して **ENTER** ボタンを押してください。



〈図: 診断メニューにてデータ表示を選択〉

2) データ表示画面が表示され、リアルタイムなデータが数値で表示されます。

項目名	現在値	単位		
▶ エンジン > データ表示(全項目)				
チェックエンジンランプ	ON		DG消去後走行距離	0 Km
エンジン負荷値	0.0	%	大気圧	100 kPa
エンジン冷却水温	-40	°C	補機バッテリー電圧	14.2 V
インターマニホールド圧	225	kPa	アクセルセンサNo.1開度	0.0 %
エンジン回転数	0	rpm	アクセルセンサNo.2開度	0.0 %
車速	0	Km/h	スロットルモータ出力	50.2 %
吸入空気温度	-40	°C	DG消去後経過時間	22 min.
吸入空気量	102.14	gm/s	パイロット1噴射時間	0 uS
エンジン始動後時間	0	sec	パイロット2噴射時間	0 uS
燃料圧力	249690	kPa	メイン噴射時間	0 uS
EGR開度	0.0	%	アフ知噴射時間	0 uS
DG消去後の暖機回数	0	回	パイロット1噴射時期	0.0 °CA

Navigation: << 1/9 2/9 >>

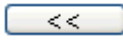
Buttons: 機能 | 1画面詳細 | 記録 | 選択項目


〈図: データ表示画面〉


項目名 : 項目名が表示されます。


現在値 : 現在値が表示されます。

単位 : 単位が表示されます。


 前のページを表示します。

 次のページを表示します。

 機能 最大最小値のリセットを行います。【詳細はP37を参照】

 1画面詳細 1画面表示に切替えます。【詳細はP35 3)を参照】

 記録 データを記録します。【詳細はP41を参照】

 選択項目 表示する項目を選択します。【詳細はP47を参照】

※注意と補足※

- ・ 表示される項目名は車種、システムによって異なります。

- 3) **1画面詳細** ボタンをタッチ、又は **F2** ボタンを押すと2画面で表示されていたデータを1画面に表示することができます。

項目名	現在値	単位	最小値	最大値
チェックエンジンランプ	ON	-	-	-
エンジン負荷値	0.0	%	0.0	0.0
エンジン冷却水温	-40	°C	-40	-40
インテークマニホールド圧	225	kPa	225	225
エンジン回転数	0	rpm	0	0
車速	0	Km/h	0	0
吸入空気温度	-40	°C	-40	-40
吸入空気量	102.14	gm/s	102.14	102.14
エンジン始動後時間	0	sec	0	0
燃料圧力	249690	kPa	249690	249690
EGR開度	0.0	%	0.0	0.0
DG消去後の暖機回数	0	回	0	0

〈図: データ表示画面 1画面表示〉

項目名 : 項目名が表示されます。

現在値 : 現在値が表示されます。

単位 : 単位が表示されます。

最大値/最小値 : 最大値と最小値が表示されます。

- 機能** 最大最小値のリセットを行います。【詳細はP37を参照】
- 2画面表示** 2画面表示に切替えます。
- グラフ** 数値で表示されているデータをグラフで表示します【詳細はP38を参照】
- 記録** データを記録します。【詳細はP41を参照】
- 選択項目** 表示する項目を選択します。【詳細はP47を参照】

※注意と補足※

- 『圧力』、『速度』、『温度』、『空気量』に含まれる項目の場合、単位の部分をタッチすると以下の画面が表示され、単位を変更することができます。

エンジン > データ表示(全項目)

項目名	現在値	単位	最小値	最大値
チェックエンジンランプ	ON	-	-	-
エンジン負荷値	0.0	%	0.0	0.0
エンジン冷却水温	-40	°C	-40	-40
インテークマニホールド圧	225	kPa	225	225
エンジン回転数	0	rpm	0	0
車速	0	Km/h	0	0
吸入空気温度	-40	°C	-40	-40
吸入空気量	102.14	gm/s	102.14	102.14
エンジン始動後時間	0	sec	0	0
燃料圧力	249690	kPa	249690	249690
EGR開度	0.0	%	0.0	0.0
DG消去後の暖機回数	0	回	0	0

機能 2画面表示 グラフ 記録 選択項目

〈図: 単位をタッチ〉


エンジン > 単位

項目名	圧力	温度	速度	空気量
チェックエンジンランプ	<input type="radio"/> inHg	<input type="radio"/> °F	<input type="radio"/> MPH	<input type="radio"/> lb/h
エンジン負荷値	<input type="radio"/> psi	<input type="radio"/> °C	<input type="radio"/> km/h	<input type="radio"/> lb/m
エンジン冷却水温	<input type="radio"/> mbar			<input type="radio"/> gm/s
インテークマニホールド圧	<input type="radio"/> bar			
エンジン回転数	<input type="radio"/> kPa			
車速	<input type="radio"/> MPa			
吸入空気温度	<input type="radio"/> mmHg			
吸入空気量				
エンジン始動後時間				
燃料圧力				
EGR開度				
DG消去後の暖機回数				

OK キャンセル

〈図: 単位変更画面〉

機能 ボタンの詳細

- ① 機能 ボタンをタッチ、又は  ボタンを押すと以下の画面が表示されます。

エンジン > データ表示(全項目)

チェックエンジンランプ	ON	-	DG消去後走行距離	0	Km
エンジン負荷値	0.0	%	大気圧	100	kPa
エンジン冷却水温	-40	°C	補機バッテリー電圧	14.2	V
インテークマニホールド圧	225	kPa	アクセルセンサNo.1開度	0.0	%
エンジン回転数	0	rpm	アクセルセンサNo.2開度	0.0	%
車速	0	Km/h	スロットルモータ出力	50.2	%
吸入空気温度	-40	°C	DG消去後経過時間	30	min.
吸入空気量	102.14	gm/s	パイロット1噴射時間	0	uS
エンジン始動後時間	0	sec	パイロット2噴射時間	0	uS
燃料圧力	249690	kPa	メイン噴射時間	0	uS
最大最小値リセット	0.0	%	アフタ噴射時間	0	uS
TC端子: ON	0	回	パイロット1噴射時期	0.0	°CA

2/9 >>

機能 | 1画面詳細 | 記録 | 選択項目

〈図: 2画面表示状態で機能ボタンをタッチ〉

エンジン > データ表示(全項目)

項目名	現在値	単位	最小値	最大値
チェックエンジンランプ	ON	-	-	-
エンジン負荷値	0.0	%	0.0	0.0
エンジン冷却水温	-40	°C	-40	-40
インテークマニホールド圧	225	kPa	225	225
エンジン回転数	0	rpm	0	0
車速	0	Km/h	0	0
吸入空気温度	-40	°C	-40	-40
吸入空気量	102.14	gm/s	102.14	102.14
最大最小値無し	0	sec	0	0
最大最小値リセット	249690	kPa	249690	249690
TC端子: ON	0.0	%	0.0	0.0
	0	回	0	0

機能 | 2画面表示 | グラフ | 記録 | 選択項目

〈図: 1画面表示状態で機能ボタンをタッチ〉

最大最小値無し : 最大値、最小値の列を非表示にします。
『最大最小値無し』は1画面表示状態のみ表示されます。

最大最小値リセット : 最大値、最小値をリセットします。

TC端子ON: 『TC端子ON』のアクティブ制御を実行します。
TC端子ONはエンジンのみの機能です。エンジン以外のシステムでは表示されません。

グラフ ボタンの詳細

- ① 1画面表示状態で画面下部の **グラフ** ボタンをタッチ、又は **F4** ボタンを押すと数値で表示されていたデータがグラフで表示されます。

項目名	現在値	単位	最小値	最大値
チェックエンジンラフ°	ON	-	-	-
エンジン負荷値	0.0	%	0.0	0.0
エンジン冷却水温	-40	°C	-40	-40
インターマニホールド圧	225	kPa	225	225
エンジン回転数	0	rpm	0	0
車速	0	Km/h	0	0
吸入空気温度	-40	°C	-40	-40
吸入空気量	102.14	gm/s	102.14	102.14
エンジン始動後時間	0	sec	0	0
燃料圧力	249690	kPa	249690	249690
EGR開度	0.0	%	0.0	0.0
DG消去後の暖機回数	0	回	0	0

〈図:1画面表示状態〉



〈図:グラフ表示画面〉

項目名 : 項目名が表示されます。

現在値 : 現在値が表示されます。

Max/Min : 最大値/最小値が表示されます。

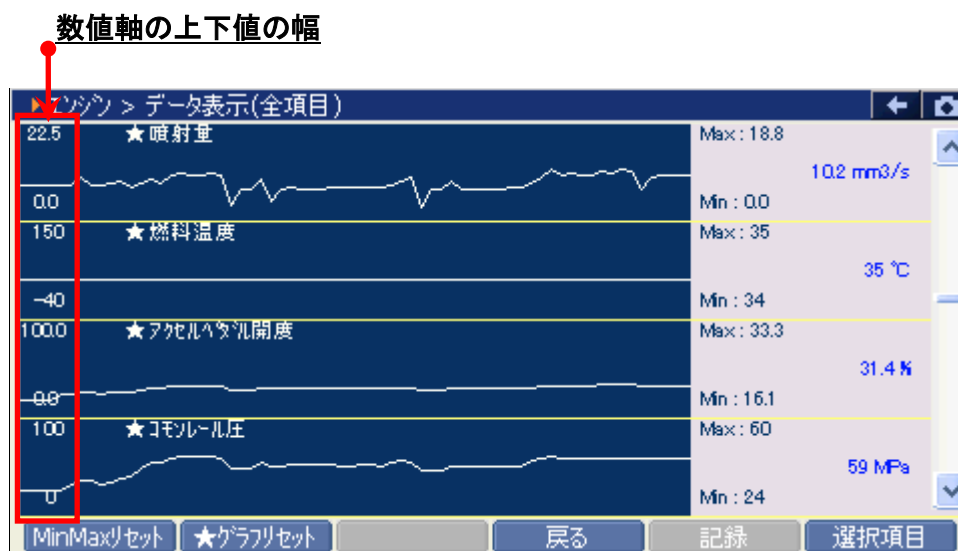
MinMaxリセット : 最大値、最小値をリセットします。

★グラフリセット : グラフの数値軸の幅を最大値/最小値に合わせて補正します。【詳細はP39を参照】

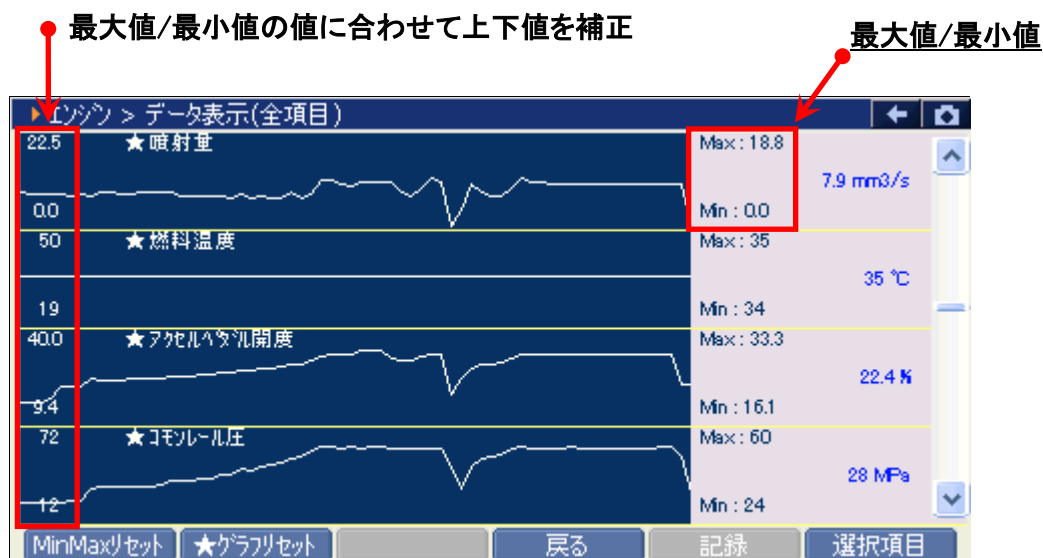
戻る : 数値表示に戻ります。

選択項目 : 表示する項目を選択します。【詳細はP47を参照】

- ② グラフ表示画面で画面下部の **★グラフリセット** ボタンをタッチ、又は **F2** ボタンを押すと、グラフの縦軸である数値軸の上下値の幅が、グラフリセットを実行した時点の最大値/最小値に合わせた上下値の幅に補正されます。



〈図:グラフリセット前〉



〈図:グラフリセット後〉

※注意と補足※

- ・ グラフリセットは、画面に表示している項目にのみ実行されます。
- ・ 項目名の左に☆印が付いている項目のみグラフリセットに対応しています。
その他の項目は、グラフリセットを実行しても上下値の補正は行われません。

記録 ボタンの詳細

- ① 記録 ボタンをタッチ、又は **F5** ボタンを押すと以下の画面が表示されます。

エンジン > データ表示(全項目)

チェックエンジンランプ	ON	-	DG消去後走行距離	0	Km
エンジン負荷値	0.0	%	大気圧	100	kPa
エンジン冷却水温	-40	℃	補機バッテリー電圧	14.2	V
インテークマニホールド圧	225	kPa	アクセルセンサNo.1開度	0.0	%
エンジン回転数	0	rpm	アクセルセンサNo.2開度	0.0	%
車速	0	Km/h	スロットルモータ出力	50.2	%
吸入空気温度	-40	℃	DG消去後経過時間	12	min.
吸入空気量	102.14	gm/s	パイロット1噴射時間	0	uS
エンジン始動後時間	0	sec	パイロット2噴射時間	0	uS
燃料圧力	249690	kPa	メイン噴射時間	0	uS
EGR開度	0.0	%	アフタ噴射時間	0	uS
DG消去後の暖機回数	0	回	パイロット1噴射時	0.0	°CA

1/9

機能 1画面詳細 記録 選択項目

単一記録
連続記録

〈図:2画面表示状態で記録ボタンをタッチ〉

エンジン > データ表示(全項目)

項目名	現在値	単位	最小値	最大値
チェックエンジンランプ	ON	-	-	-
エンジン負荷値	0.0	%	0.0	0.0
エンジン冷却水温	-40	℃	-40	-40
インテークマニホールド圧	225	kPa	225	225
エンジン回転数	0	rpm	0	0
車速	0	Km/h	0	0
吸入空気温度	-40	℃	-40	-40
吸入空気量	102.14	gm/s	102.14	102.14
エンジン始動後時間	0	sec	0	0
燃料圧力	249690	kPa	249690	249690
EGR開度	0.0	%	0.0	0.0
DG消去後の暖機回数	0	回	0	0

機能 2画面表示 グラフ 記録 選択項目

単一記録
連続記録

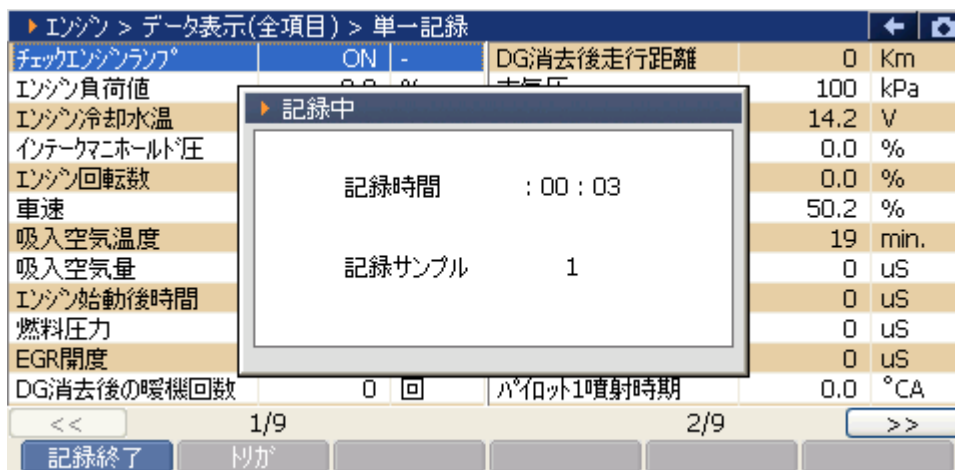
〈図:1画面表示状態で記録ボタンをタッチ〉

単一記録 : 1サンプル分のデータを記録します。【詳細はP42 ②を参照】

連続記録 : 連続したサンプルのデータを記録します。【詳細はP45 ⑥を参照】
最大記録時間は60分です。

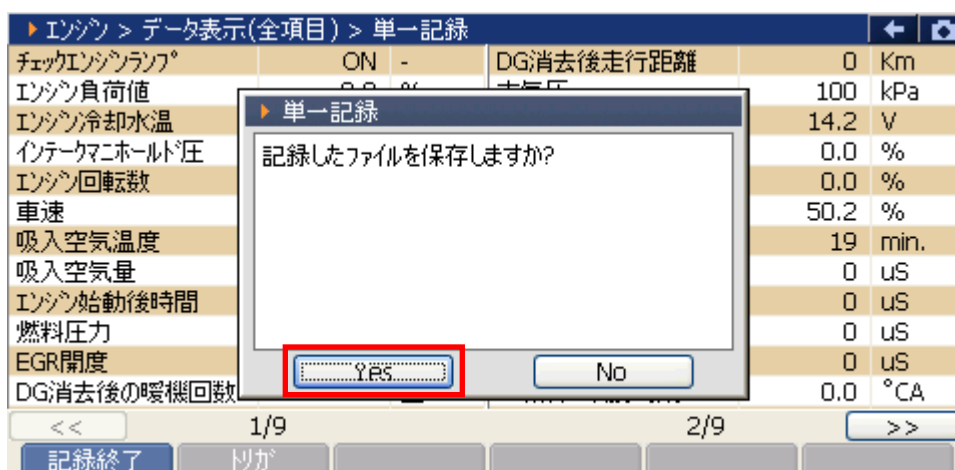
② 『単一記録』を選択すると、データの記録が開始されます。

『単一記録』では1サンプル分のデータを記録します。



〈図: 単一記録で記録中〉

③ 記録が終了すると以下の画面が表示されます。 を選択してファイルを保存してください。 を選択した場合、記録したデータは失われ閲覧することはできません。



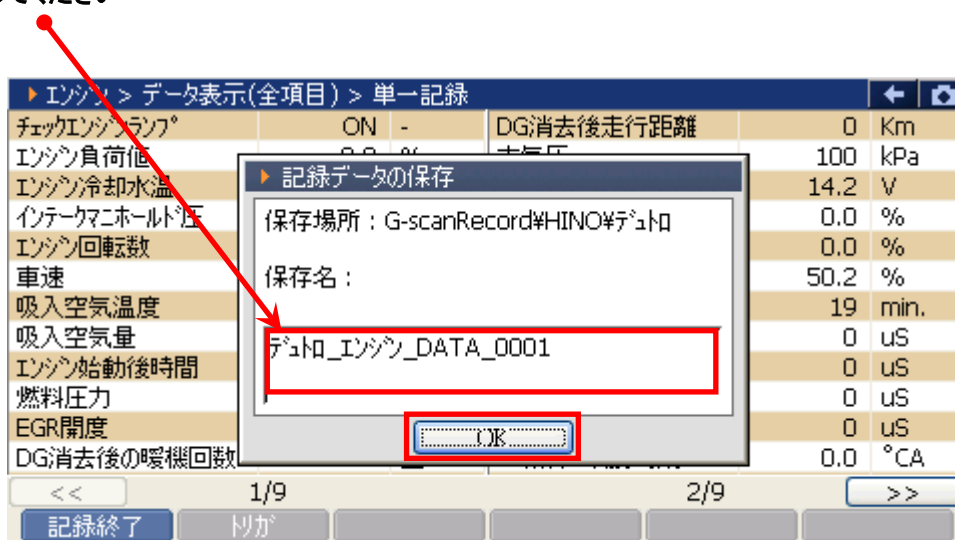
〈図: 記録完了後ファイルの保存確認〉

④ 保存ファイル名の確認画面が表示されます。

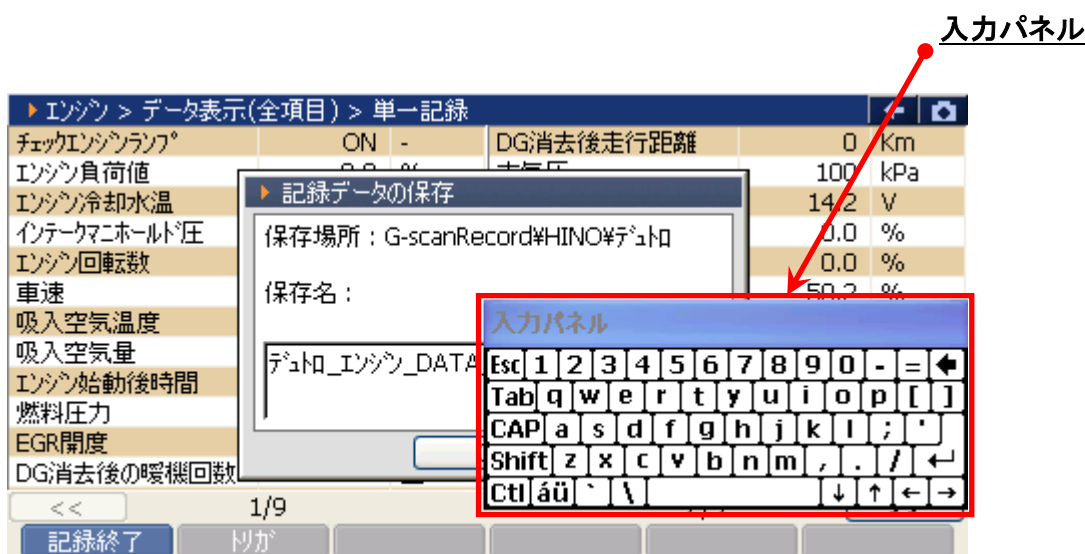
よろしければ、 をタッチして記録データを保存してください。

ファイル名を変更する場合は、ファイル名が表示されている部分をタッチしてください。入力パネルが表示されます。入力パネルを操作してファイル名を変更してください。

ファイル名を変更する場合は
タッチしてください



〈図: 保存ファイル名の確認〉



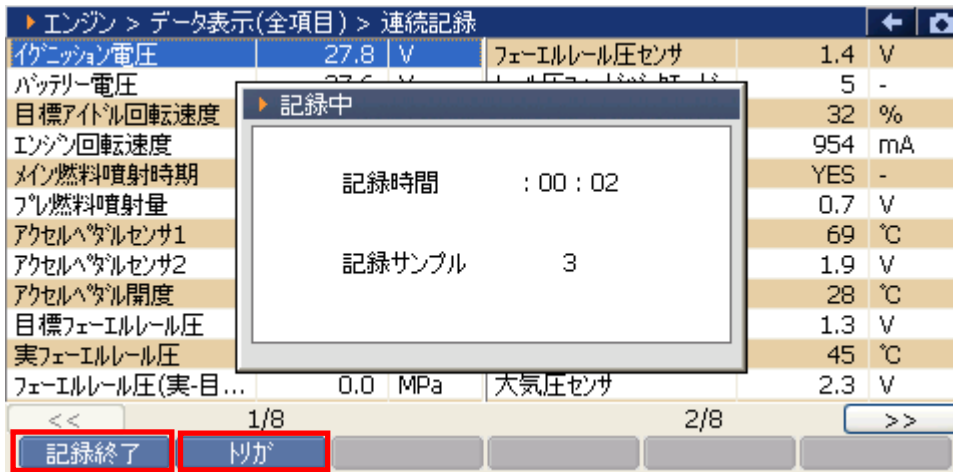
〈図: 保存ファイル名の変更〉

- ⑤ ファイルの保存が完了すると、記録したデータが表示されます。
詳細に関してはP50をご参照ください。

サンプル	チェックエンジンランプ	エンジン負荷値 (%)	エンジン冷却水温 (°C)	インテークマニホールド圧 (kPa)
0	ON	0.0	-40	225

〈図: 保存データ表示画面〉

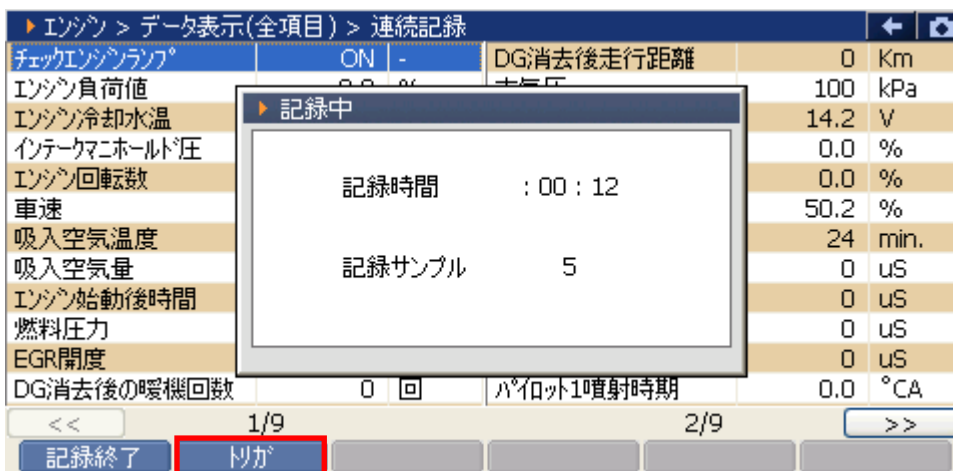
- ⑥ 『連続記録』を選択すると、データの記録が開始されます。
『連続記録』では、連続したサンプルのデータを記録します。



〈図:連続記録で記録中〉

- トリガ** トリガ機能を使用します。【詳細は⑦を参照】
- 記録終了** 記録を終了します。【詳細はP46 ⑧を参照】

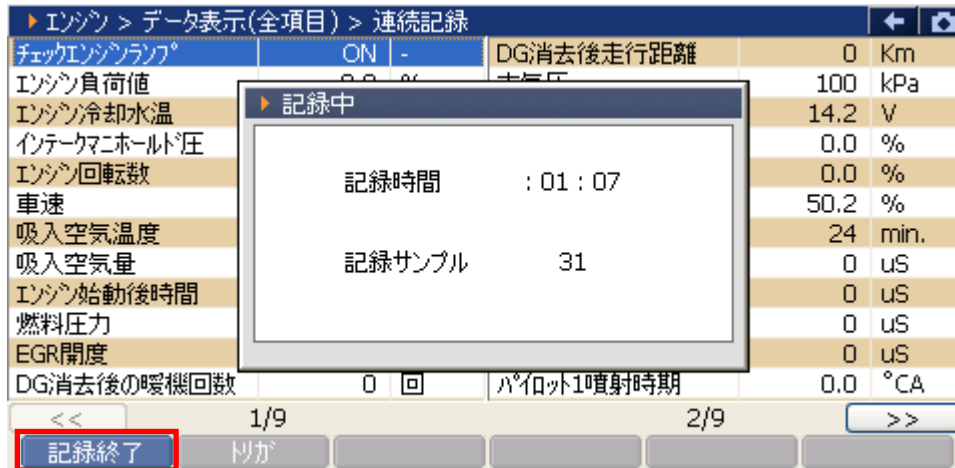
- ⑦ 記録中に **トリガ** ボタンをタッチ、又は **F2** ボタンを押すとトリガ機能を使用することができます。トリガ機能を使用するとトリガ前(-1.-2.-3サンプル.....)、トリガ後(1.2.3サンプル.....)のデータを記録することができます。



〈図:トリガボタンを選択〉

- ⑧ 記録を終了する場合は、**記録終了** ボタンをタッチ又は **FI** ボタンを押してください。尚、トリガ機能を使用しない場合、記録開始から記録終了まで (0サンプル~.....) のデータを記録します。

記録終了後、記録したファイルを保存してください。ファイルの保存に関してはP42 ③、P43 ④をご参照ください。



〈図: 記録終了〉

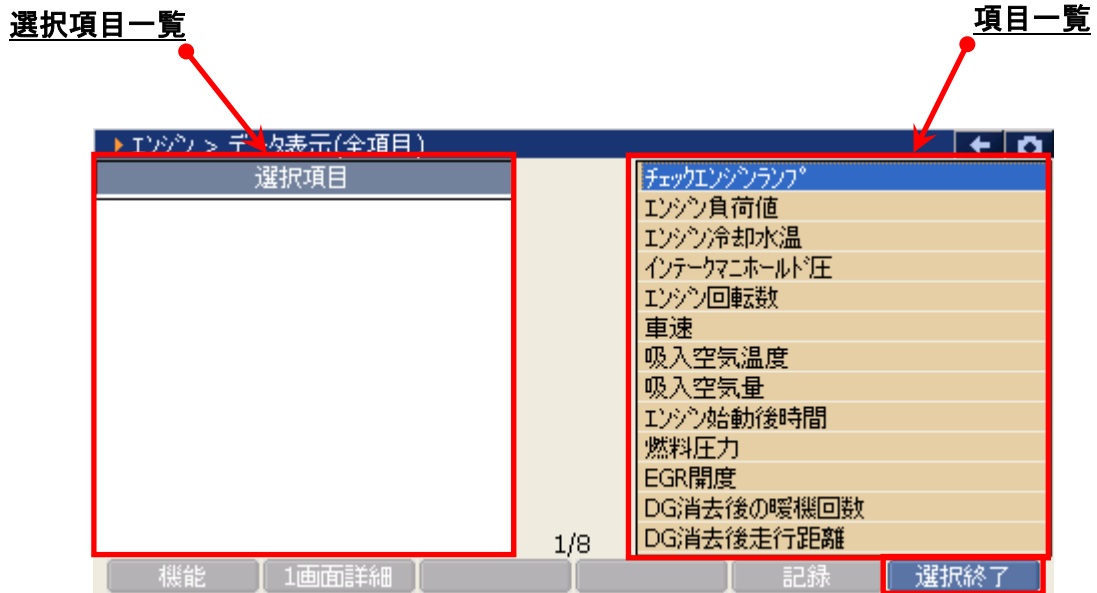
- ⑨ ファイルの保存が完了すると記録したデータが表示されます。詳細に関してはP50をご参照ください。

サンプル	チェックエンジンランプ	エンジン負荷値 (%)	エンジン冷却水温 (°C)	インテークマニホールド圧 (kPa)
-5	ON	0.0	-40	225
-4	ON	0.0	-40	225
-3	ON	0.0	-40	225
-2	ON	0.0	-40	225
-1	ON	0.0	-40	225
0	ON	0.0	-40	225
1	ON	0.0	-40	225
2	ON	0.0	-40	225
3	ON	0.0	-40	225
4	ON	0.0	-40	225

〈図: 保存データ表示画面〉

■ 選択項目 ボタンの詳細

- ① 選択項目 ボタンをタッチ、又は **F6** ボタンを押すと以下の画面が表示されます。



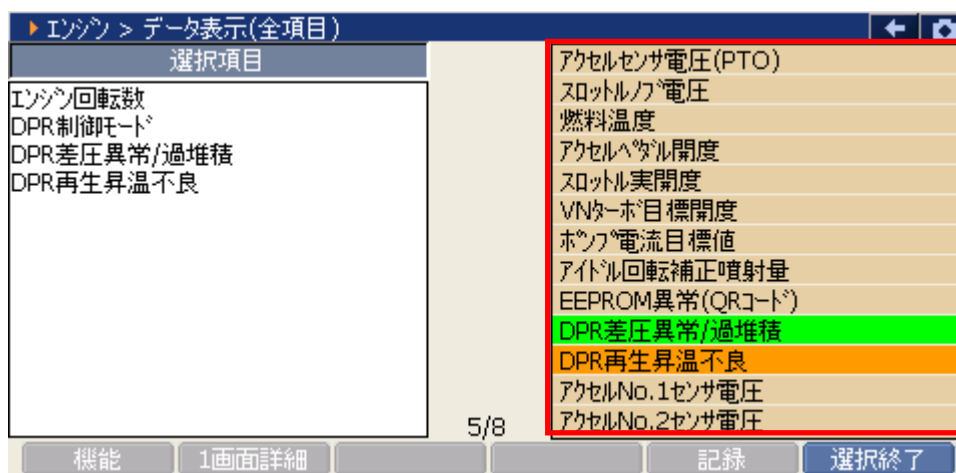
〈図: 表示項目の選択〉

選択項目一覧 : 項目名が表示されます。

項目一覧 : 項目一覧が表示されます。

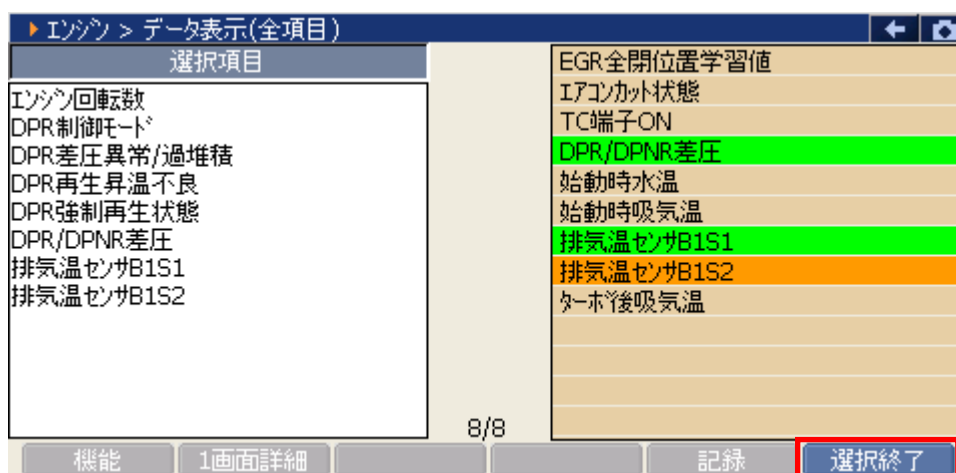
選択終了 選択を終了します。

- ② 項目一覧から、表示する項目を選択します。選択する項目にカーソルを合わせ、**ENTER** ボタンを押して表示する項目を選択してください。**←** **→** ボタンを押すと次のページを表示します。尚、選択できる項目は最大で12項目です。



〈図: 表示項目の選択〉

- ③ 項目の選択を終了する場合は、**選択終了** ボタンをタッチ、又は **F6** ボタンを押してください。



〈図: 選択の終了〉


④ データ表示画面に選択した項目が表示されます。

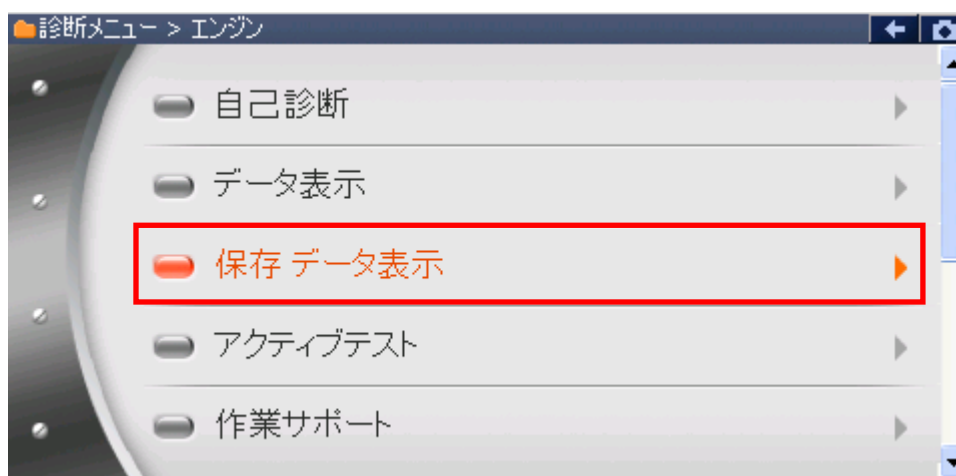
全項目の表示に戻す場合は、**全項目** ボタンをタッチ、又は **F2** ボタンを押してください。

項目名	現在値	単位	最小値	最大値
エンジン回転数	0	rpm	0	0
DPR制御モード	通常	-	-	-
DPR差圧異常/過堆積	正常	-	-	-
DPR再生昇温不良	正常	-	-	-
DPR強制再生状態	未実施	-	-	-
DPR/DPNR差圧	100.4	kPa	100.4	100.4
排気温センサB1S1	0.0	℃	0.0	0.0
排気温センサB1S2	0.0	℃	0.0	0.0

機能 **全項目** グラフ 記録 選択項目

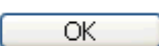
〈図: 選択項目の表示〉

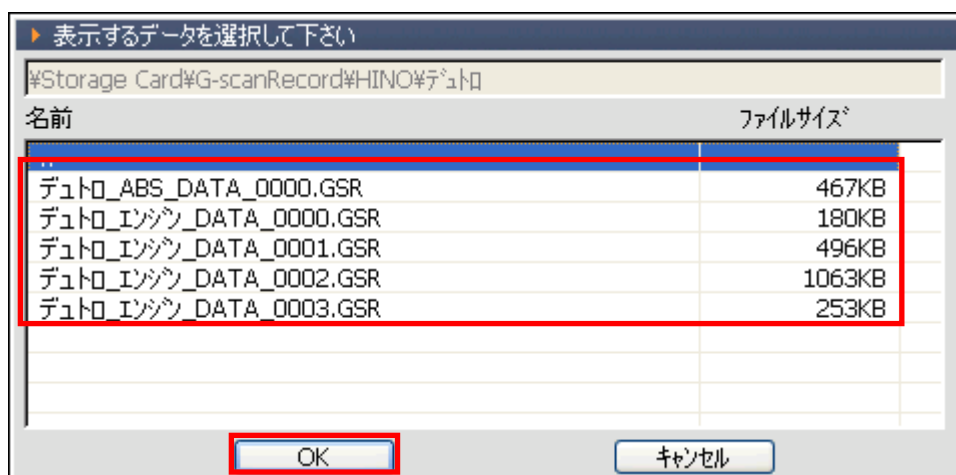
- 1) 保存データ表示機能ではデータ表示機能で記録、保存したデータを表示することができます。診断メニューにおいて『保存データ表示』を選択して  ボタンを押してください。



〈図：診断メニューにて保存データ表示を選択〉

- 2) 保存ファイル名の一覧が表示されます。

表示するファイル名を選択して  ボタンをタッチしてください。



〈図：保存ファイル一覧〉

3) データ表示で保存したデータが表示されます

保存データ表示 > デュトロ_エンジン_DATA_0002.GSR

サンプル	チェックエンジンランプ°	エンジン負荷値 (%)	エンジン冷却水温 (°C)	インターカムホールド圧 (kPa)
70	OFF	10.6	83	102
71	OFF	11.0	83	102
72	OFF	10.6	83	101
73	OFF	11.4	83	101
74	OFF	10.6	82	102
75	OFF	11.0	82	102
76	OFF	10.6	83	101
77	OFF	52.2	82	99
78	OFF	62.4	82	106
79	OFF	0.0	82	105

トリガ 移動 グラフ データ情報

〈図: 保存データ表示画面〉

サンプル : 記録数が表示されます。

記録項目名 : 項目名が表示されます。
項目名の部分をタッチすると、横にスクロールした際その項目が固定されます。

記録値 : 値が表示されます。

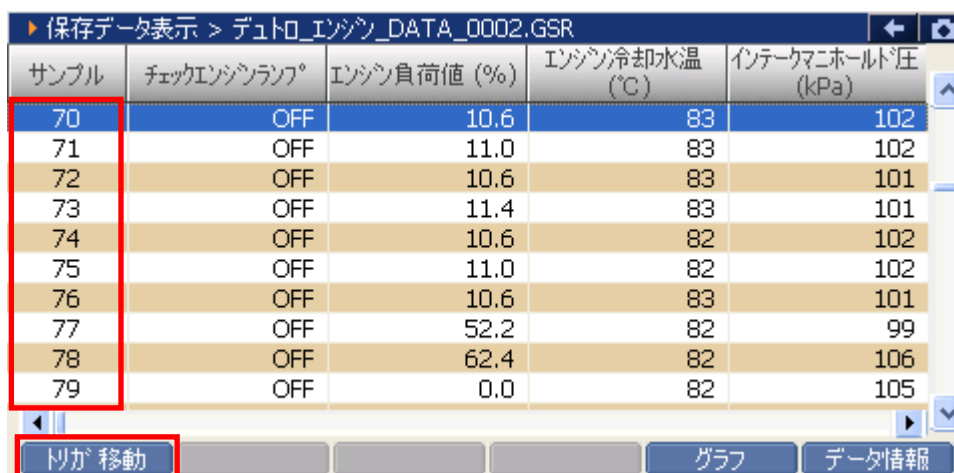
トリガ 移動 0サンプル位置に移動します。【詳細はP52を参照】

グラフ 記録したデータをグラフで表示します。【詳細はP53を参照】

データ情報 保存したデータの情報を表示します。【詳細はP56を参照】

トリガ移動 ボタンの詳細

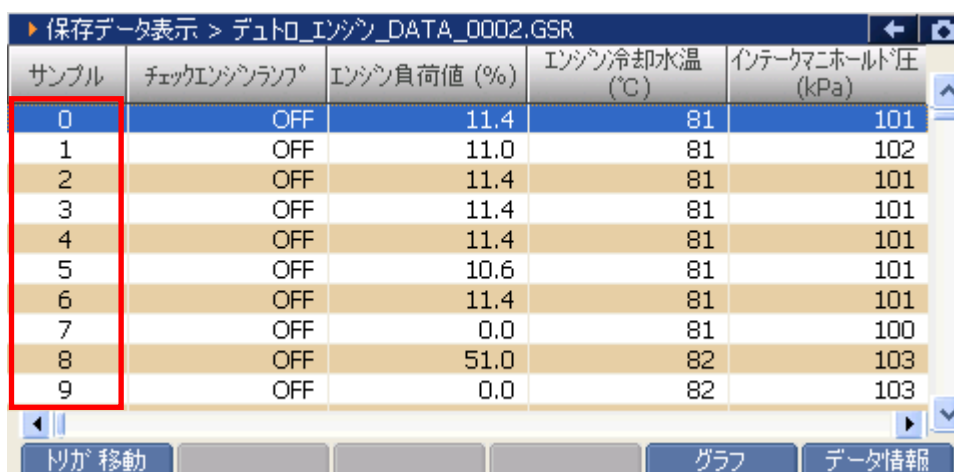
- ① トリガ移動 ボタンをタッチ、又は  ボタンを押すと0サンプルの位置に移動します。



サンプル	チェックエンジンランプ	エンジン負荷値 (%)	エンジン冷却水温 (°C)	インテークマニホールド圧 (kPa)
70	OFF	10.6	83	102
71	OFF	11.0	83	102
72	OFF	10.6	83	101
73	OFF	11.4	83	101
74	OFF	10.6	82	102
75	OFF	11.0	82	102
76	OFF	10.6	83	101
77	OFF	52.2	82	99
78	OFF	62.4	82	106
79	OFF	0.0	82	105

トリガ移動 グラフ データ情報

〈図:トリガ移動ボタンを選択〉



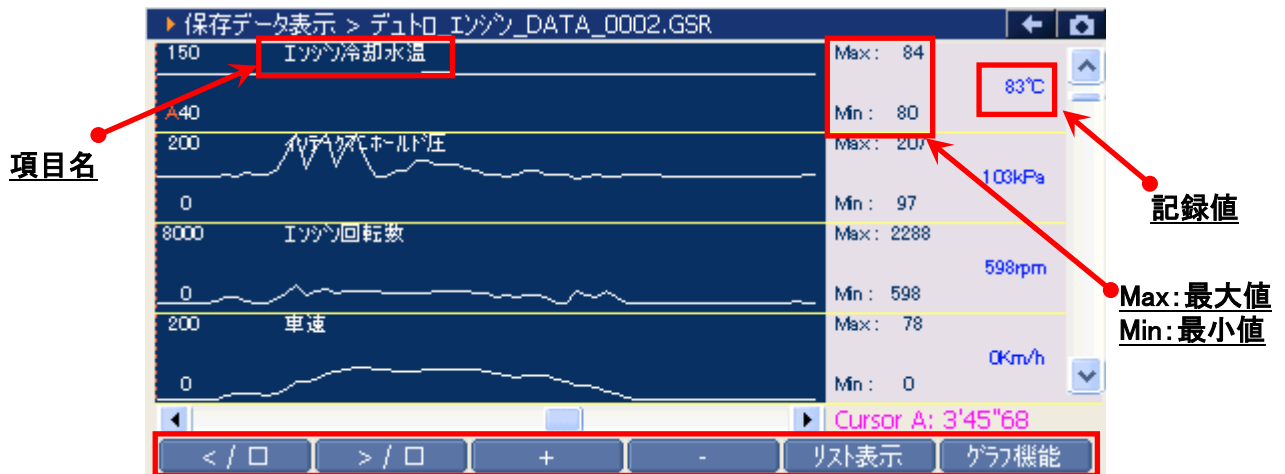
サンプル	チェックエンジンランプ	エンジン負荷値 (%)	エンジン冷却水温 (°C)	インテークマニホールド圧 (kPa)
0	OFF	11.4	81	101
1	OFF	11.0	81	102
2	OFF	11.4	81	101
3	OFF	11.4	81	101
4	OFF	11.4	81	101
5	OFF	10.6	81	101
6	OFF	11.4	81	101
7	OFF	0.0	81	100
8	OFF	51.0	82	103
9	OFF	0.0	82	103

トリガ移動 グラフ データ情報

〈図:0サンプル位置に移動〉

グラフ ボタンの詳細

- ① **グラフ** ボタンをタッチ、又は **F4** ボタンを押すと数値で表示されていたデータがグラフで表示されます。



〈図: 記録データのグラフ表示〉

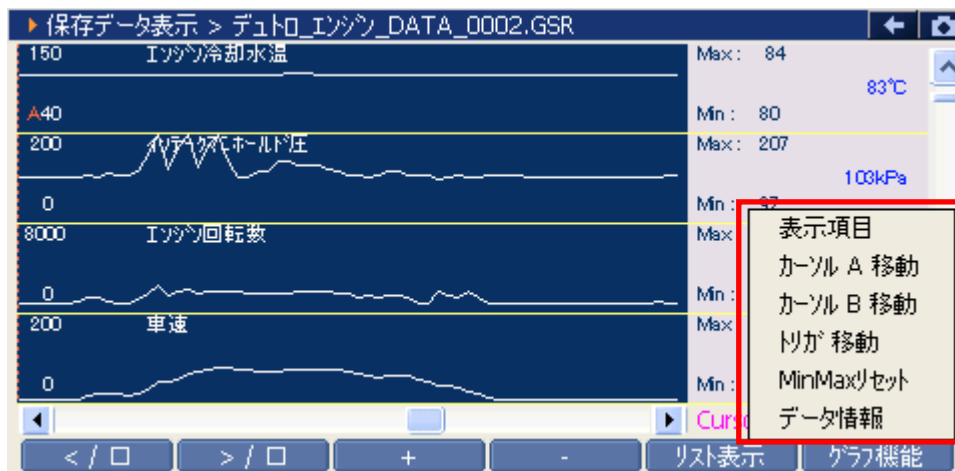
項目名 : 項目名が表示されます。

記録値 : カーソルA上の値が表示されます。

最大値/最小値 : 最大値、最小値が表示されます。

- < / □** グラフを左に送ります。
- > / □** グラフを右に送ります。
- +** グラフを拡大します。
- グラフを縮小します。
- リスト表示** 数値表示に戻ります。
- グラフ機能** グラフ機能を使用します。【詳細はP54 ②を参照】

- ② **グラフ機能** ボタンをタッチ、又は **F6** ボタンを押すと以下の画面が表示されます。



〈図: グラフ機能の詳細〉

表示項目 : 表示する項目を選択します。【詳細は③を参照】

カーソルA移動 : コントロールをカーソルAに移動します。【詳細はP55 ④を参照】

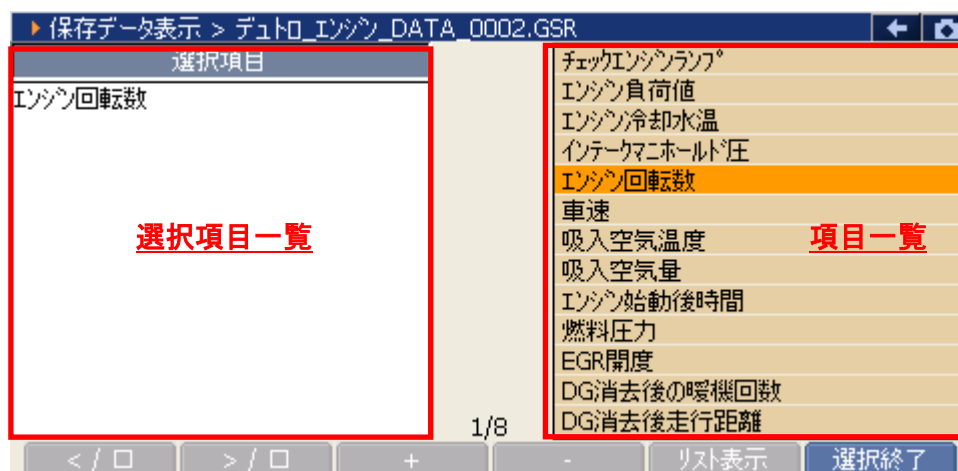
カーソルB移動 : コントロールをカーソルBに移動します。【詳細はP55 ⑤を参照】

トリガ移動 : カーソルAをトリガ位置(0サンプルの位置)に移動します。

MinMaxリセット : 最大値、最小値をリセットします。



データ情報 : 保存したデータ情報を表示します。【詳細はP56 ①を参照】

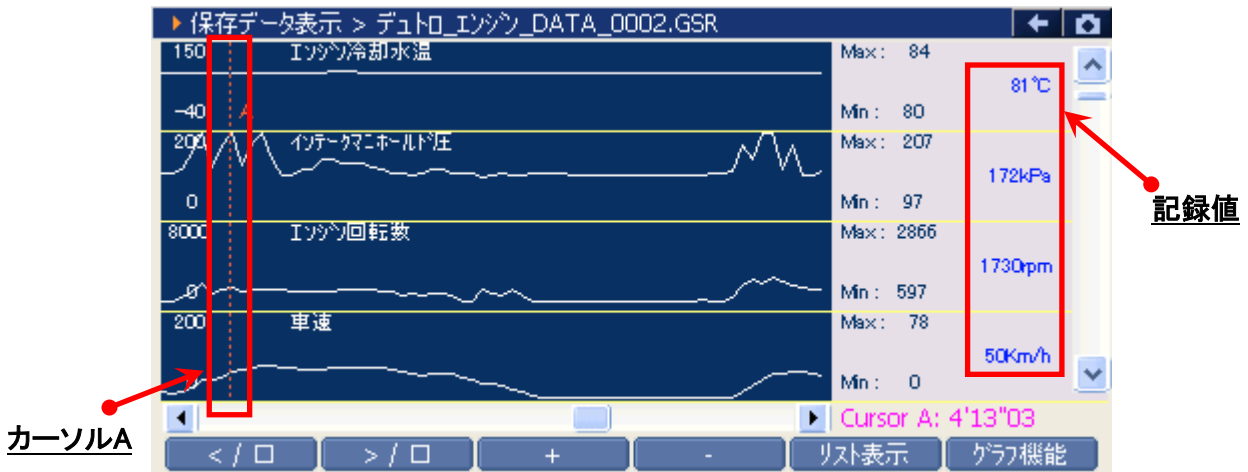
- ③ 『表示項目』を選択すると以下の画面が表示されますので、項目一覧から表示する項目にカーソルを合わせ **ENTER** ボタンを押して表示する項目を選択してください。 **左右** ボタンでページ移動します。最大で12項目を選択可能です。



〈図: 表示項目の選択〉



④ 『カーソルA移動』を選択するとカーソルAにコントロールが移ります。

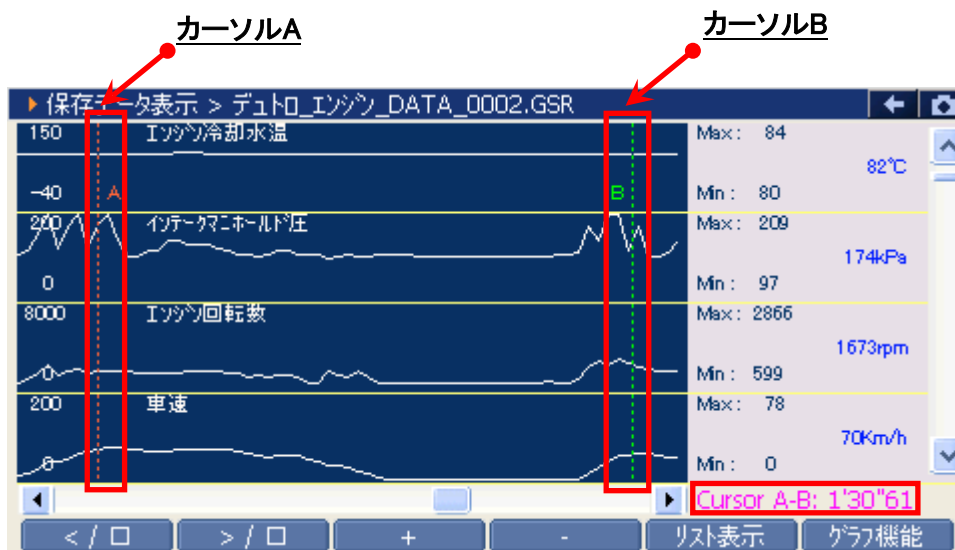
  ボタンを押して、カーソルAを移動させてください。カーソルA上にある値が、記録値に表示されます。



〈図:カーソルAの移動〉

⑤ 『カーソルB移動』を選択するとカーソルBにコントロールが移ります。

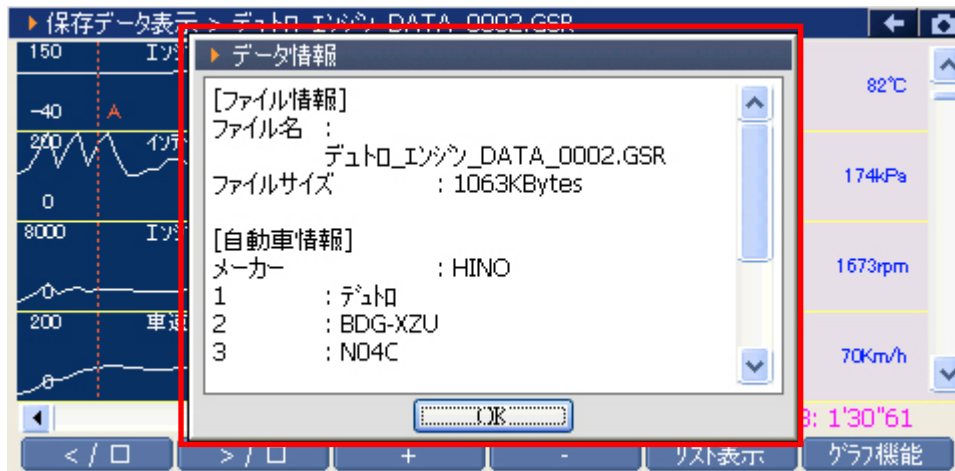
  ボタンを押して、カーソルBを移動させてください。画面右下にカーソルAからカーソルBまでの時間が表示されます。



〈図:カーソルBを移動選択〉

データ情報 ボタンの詳細

- ① **データ情報** ボタンをタッチ、又は **F6** ボタンを押すか、**グラフ機能** 内の『データ情報』をタッチするとデータ情報画面が表示されます。データ情報画面では現在表示している保存データの詳細を表示します。




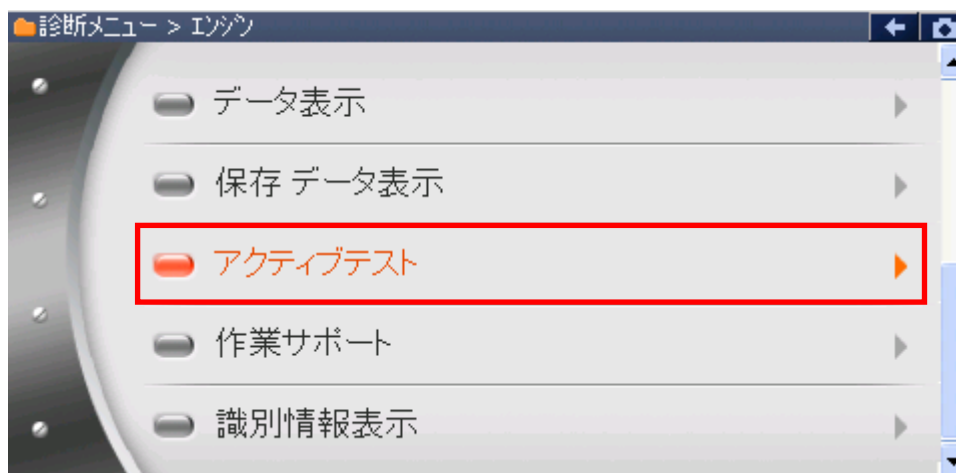
〈図：データ情報画面〉



警告

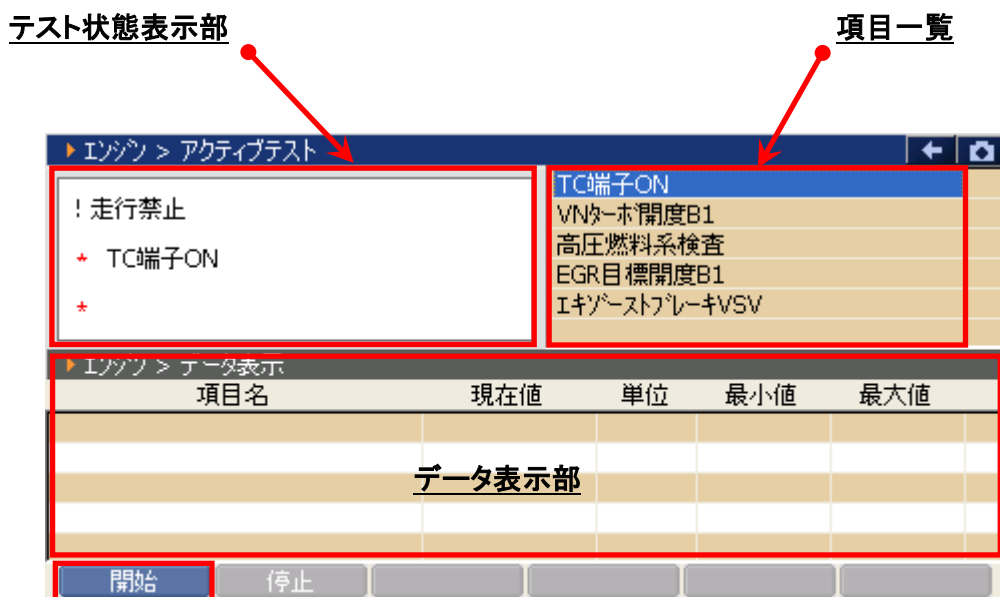
- アクティブテストは日野のサービスマニュアルにより各システムの駆動システム、制御内容を十分に理解した上で行ってください。
- 使用方法を間違えると車両に悪影響をおよぼし、事故発生の原因となる恐れがあります。
- アクティブテストは車両が正常な状態（ウォーニングランプ消灯時、故障未検出時）で実行してください。
- アクティブテストを実行する場合は必ず車両を以下の状態にしてください。
車両をこの状態にできない場合はアクティブテストを実行しないでください。
 1. 車両停止状態。（パーキングブレーキをかけて、輪留めをする）
 2. ブレーキペダルを踏込む。
 3. ギア位置はPレンジまたはNレンジにする。

- 1) 診断メニューにおいて『アクティブテスト』を選択して  ボタンを押して下さい。



〈図：診断メニューにてアクティブテストを選択〉

2) アクティブテスト画面が表示されます。



〈図: アクティブテスト画面〉

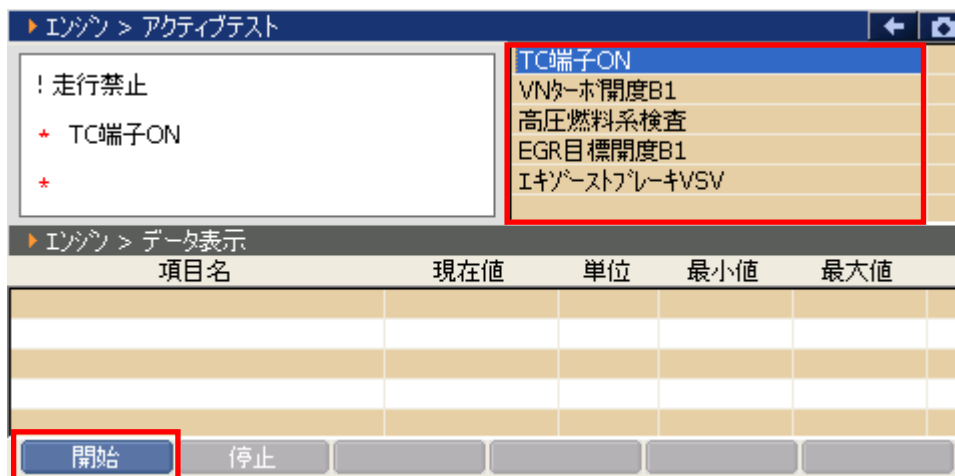
テスト状態表示部 : テスト状態が表示されます。

項目一覧 : アクティブテスト項目の一覧が表示されます。

データ表示部 : アクティブテスト中のデータが表示されます。

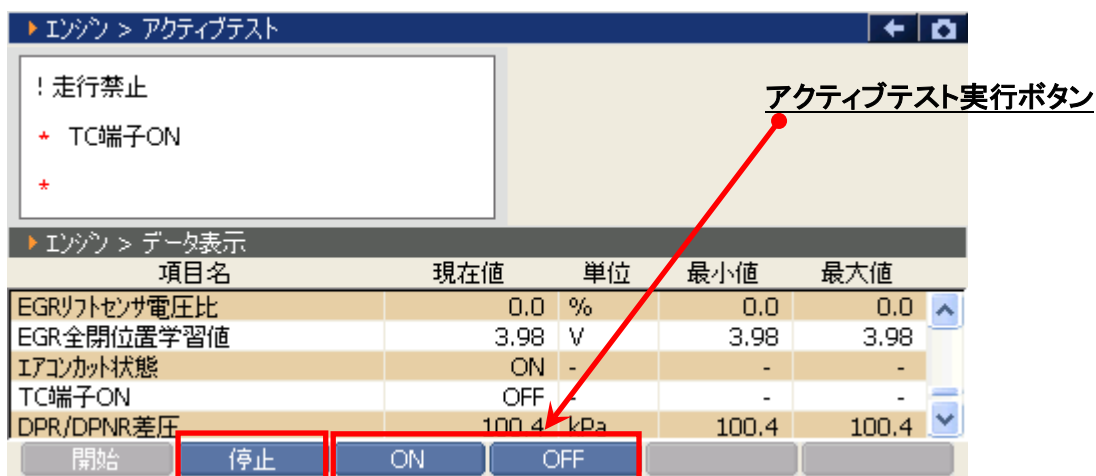
開始 : アクティブテストを開始します。【詳細はP59 3)を参照】

- 3) アクティブテスト項目一覧の中から実行する項目を選択して、**開始** ボタンをタッチ、又は **F1** ボタンを押してください。

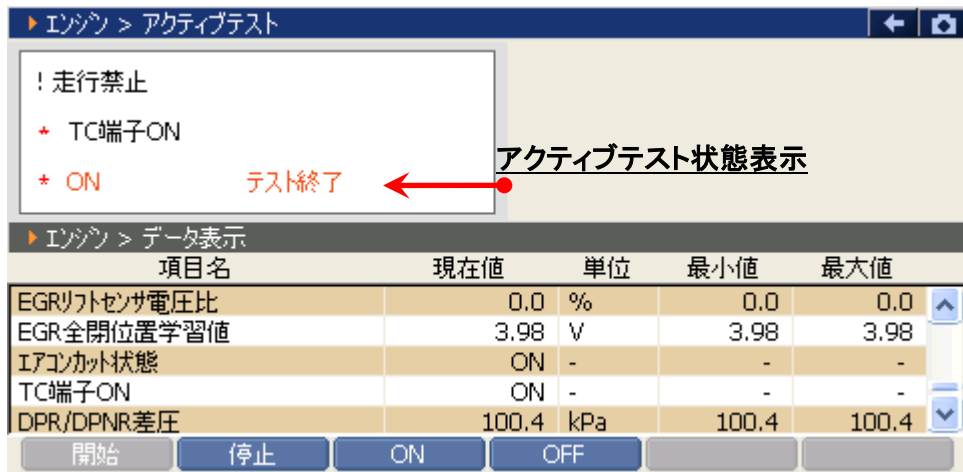


〈図: アクティブテスト画面〉

- 4) アクティブテストが開始されます。アクティブテスト実行ボタンを操作してアクティブテストを行ってください。アクティブテストを停止する場合は **停止** ボタンをタッチ、又は **F2** ボタンを押してください。



〈図: アクティブテスト開始〉



〈図: アクティブテスト実行〉

※注意と補足※

アクティブテストにはテスト条件がある項目があります。


テスト条件を超えた場合、テスト状態表示部に『テスト失敗』と表示されます。

『テスト失敗』と表示された場合、車両のテスト条件を満たした状態にして、再度アクティブテストを実行してください。




警告

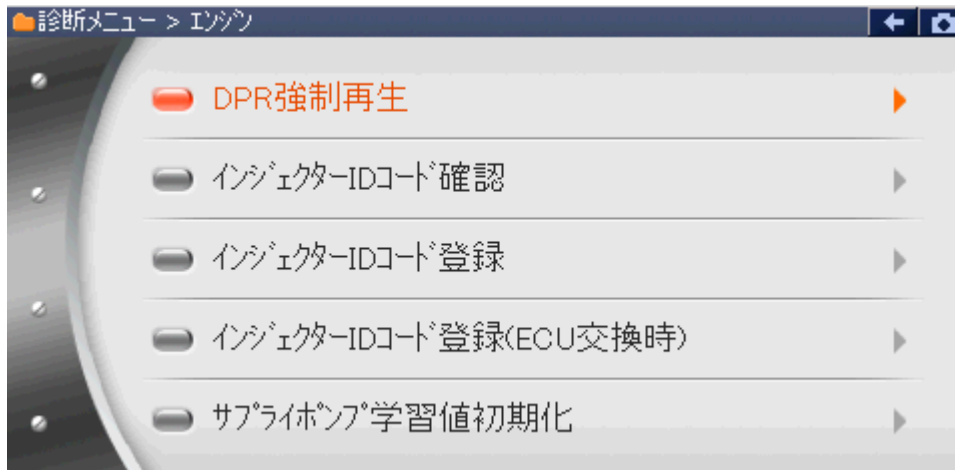
- 作業サポートは日野のサービスマニュアルにより各システムの駆動システム、制御内容を十分に理解した上で行ってください。
- 使用方法を間違えると車両に悪影響をおよぼし、事故発生の原因となる恐れがあります。
- 作業サポートは車両が正常な状態（ウォーニングランプ消灯時、故障未検出時）で実行してください。
- 作業サポートを実行する場合は必ず車両を以下の状態にしてください。
車両をこの状態にできない場合は作業サポートを実行しないでください。
 1. 車両停止状態。（パーキングブレーキをかけて、輪留めをする）
 2. ブレーキペダルを踏込む。
 3. ギア位置はPレンジまたはNレンジにする。

1) 診断メニューにおいて『作業サポート』を選択して  ボタンを押してください。

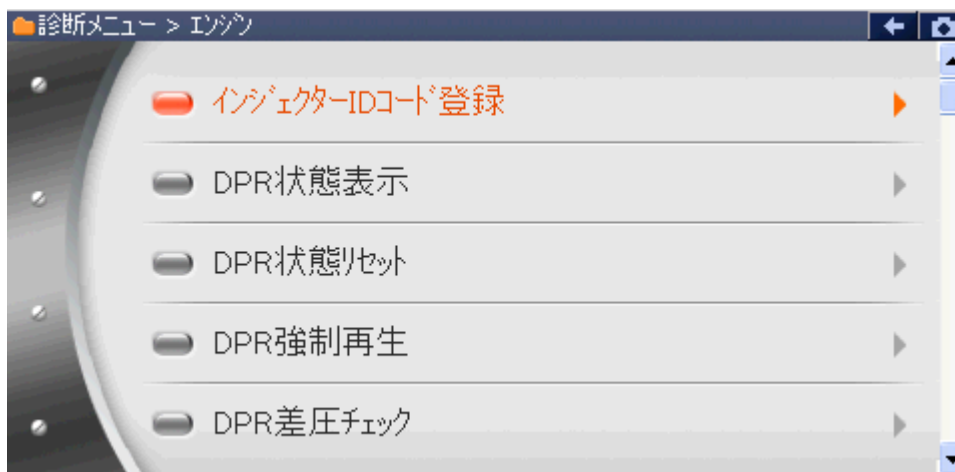


〈図：診断メニューにて作業サポートを選択〉

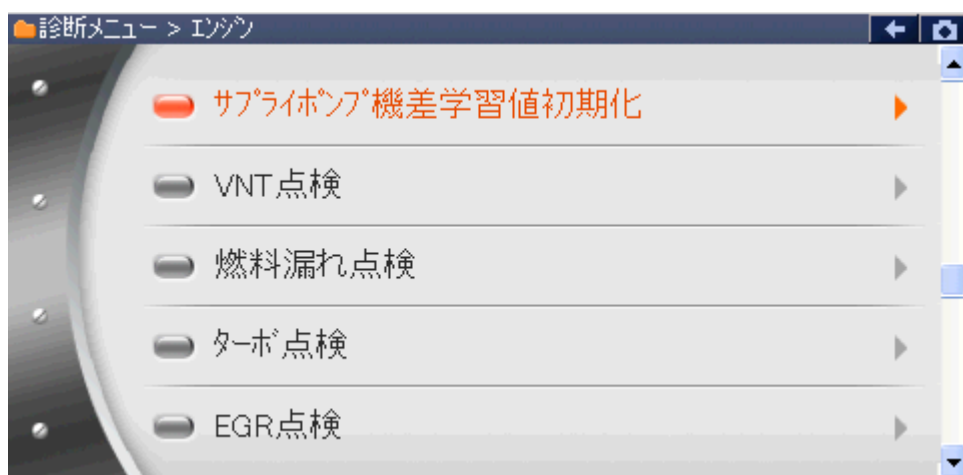
2) 作業サポート項目選択画面が表示されます。実行する項目を選択して  ボタンを押してください。



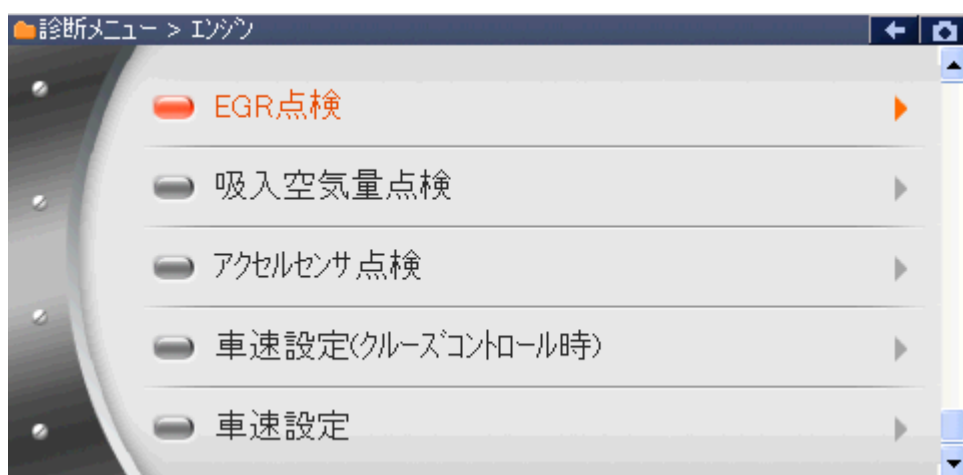
〈図:エンジン作業サポート項目選択画面1〉



〈図:エンジン作業サポート項目選択画面2〉



〈図:エンジン作業サポート項目選択画面3〉



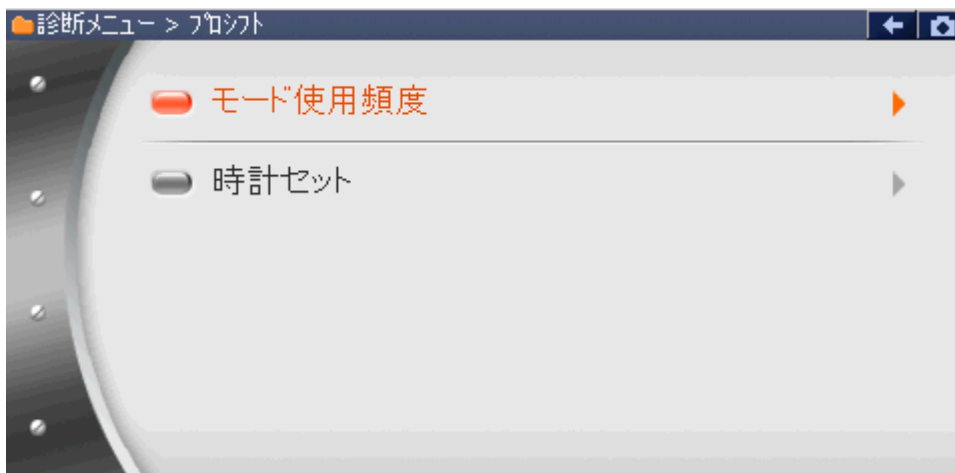
〈図:エンジン作業サポート項目選択画面4〉

DPR強制再生 :	DPR強制再生を実施します。 ※ 所要時間 = 約20分
インジェクターIDコード確認 :	各気筒のインジェクターIDコードを確認する際に使用します。 ※車種「デュトロ」のみ本機能を搭載しています。
インジェクターIDコード登録 :	各気筒のインジェクターIDコードを登録する際に使用します。
インジェクターIDコード登録(ECU交換時) :	ECU交換時に各気筒のインジェクターIDコードを登録する際に使用します。 ※車種「デュトロ」のみ本機能を搭載しています。
サプライポンプ学習値初期化 :	サプライポンプ学習値の初期化を行います。
サプライポンプ機差学習値初期化 :	サプライポンプ学習値の初期化を行います。
DPR状態表示 :	DPRの状態を表示します。
DPR状態リセット :	DPRの状態をリセットします。
DPR差圧チェック :	DPRの詰まり具合をチェックします。
VNT点検 :	VNT(バリアブルノズルターボチャージャー)の点検を行います。
燃料漏れ点検 :	燃料漏れがないかどうかの点検を行います。
ターボ点検 :	ターボチャージャーの点検を行います。
EGR点検 :	EGRの点検を行います。
吸入空気量点検 :	吸入空気量の点検を行います。
アクセルセンサ点検 :	アクセルセンサの点検を行います。
車速設定(クルーズコントロール時) :	クルーズコントロール時の最大車速設定を行います。
車速設定 :	最大車速設定を行います。



〈図:ABS作業サポート項目選択画面〉

エア抜き : エア抜き、ブレーキフルードの交換要領の方法を記載しています。



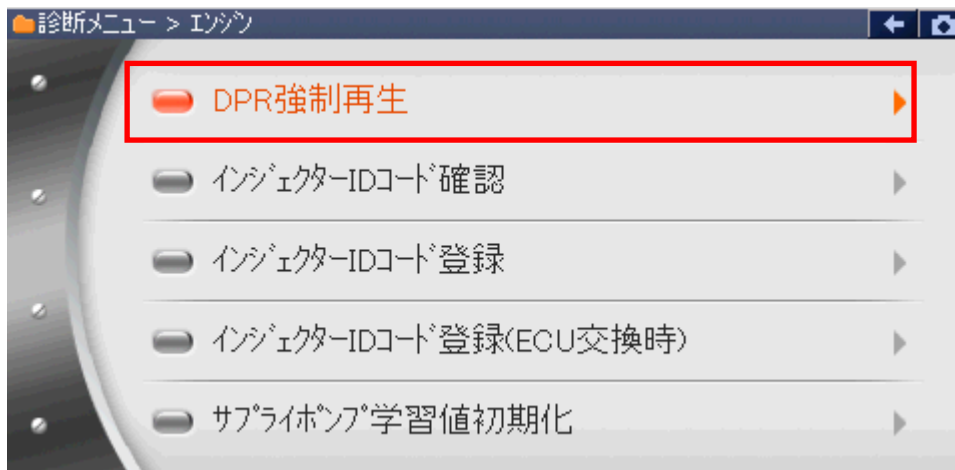
〈図:プロシフト作業サポート項目選択画面〉

モード使用頻度 : モード使用頻度の確認とリセット、リセット履歴の確認を行います。

時計セット : ECUに内蔵された時計のセットを行います。

《作業サポート「DPR強制再生」》

- 1) 作業サポート項目選択画面から『DPR強制再生』を選択して  ボタンを押してください。

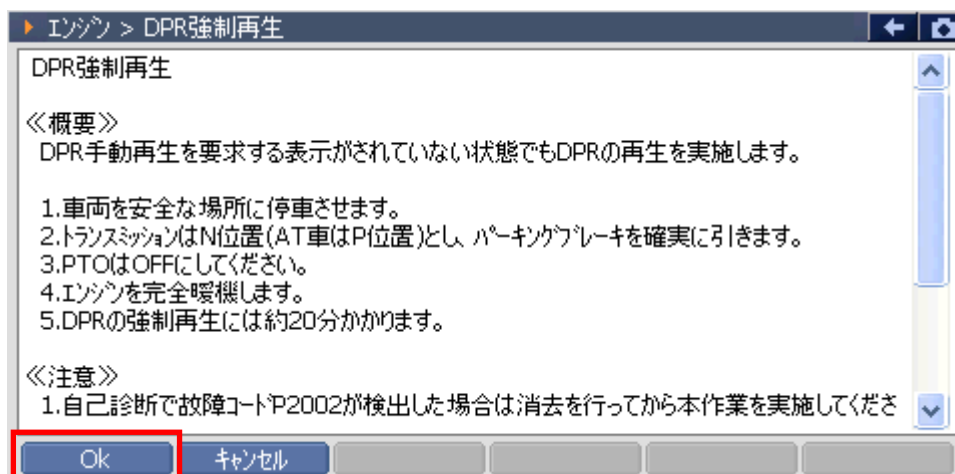


〈図: 作業サポート項目選択画面〉

- 2) 『DPR強制再生』の注意メッセージ画面に移ります。

注意メッセージが表示されますので、内容をご確認いただき、よろしければ

 ボタンを押してください。



〈図: 注意メッセージ画面 DPR強制再生〉

※注意と補足※

- ・ 自己診断で故障コードP2002が検出した場合は消去を行ってから本作業を実施してください。消去するには一度バッテリーケーブルを外し、1分以上放置してください。

3) 『DPR強制再生』の実行画面に移ります。DPR強制再生中の状態が表示されます。

項目名	現在値	単位
エンジン回転数	1119.5	RPM
排気温センサB1S1	131.9	℃
排気温センサB1S2	79.4	℃
DPR/DPNR差圧	201.7	kPa
DPR差圧異常/過堆積	正常	
DPR再生昇温不良	正常	
DPR制御モード	PM/IDL	
DPR強制再生状態	再生中	

〈図: 実行画面 DPR強制再生〉

※ 注意と補足※

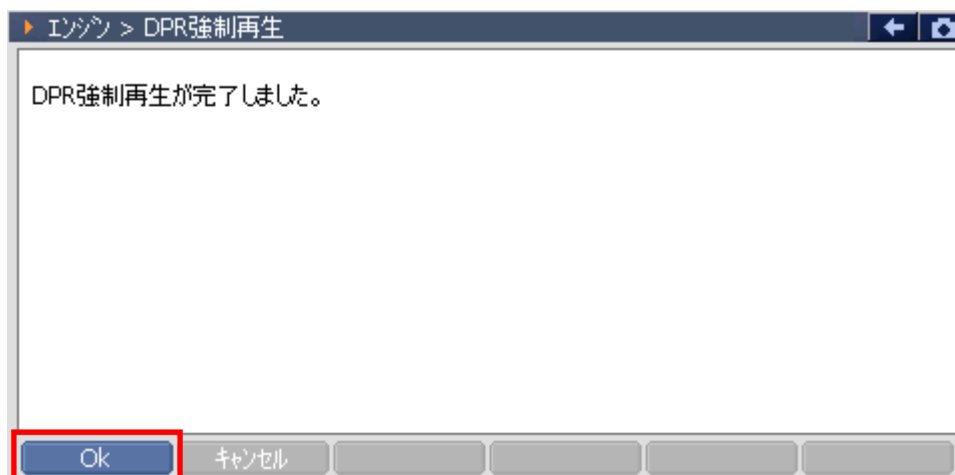
- 以下、DPR再生強制再生の例を示します。車両により状態遷移が異なる場合があります。

DPR強制再生開始後、自動的にエンジン回転数が上がり、徐々に排気温センサ値が上昇します。

項目名	現在値	単位
エンジン回転数	1199.0	RPM
排気温センサB1S1	529.4	℃
排気温センサB1S2	411.9	℃
DPR/DPNR差圧	105.4	kPa
DPR差圧異常/過堆積	正常	
DPR再生昇温不良	正常	
DPR制御モード	PM/IDL	
DPR強制再生状態	再生中	

〈図: 実行画面 DPR強制再生〉

- 4) 約20分経過後、エンジン回転速度が下がりDPR再生完了メッセージが表示されますので、**Ok** ボタンを押してDPR再生を完了してください。



〈図:完了画面 DPR強制再生〉

- 5) やむを得ず、『DPR強制再生』を途中で中止する場合は **再生中止** ボタンを押してください。

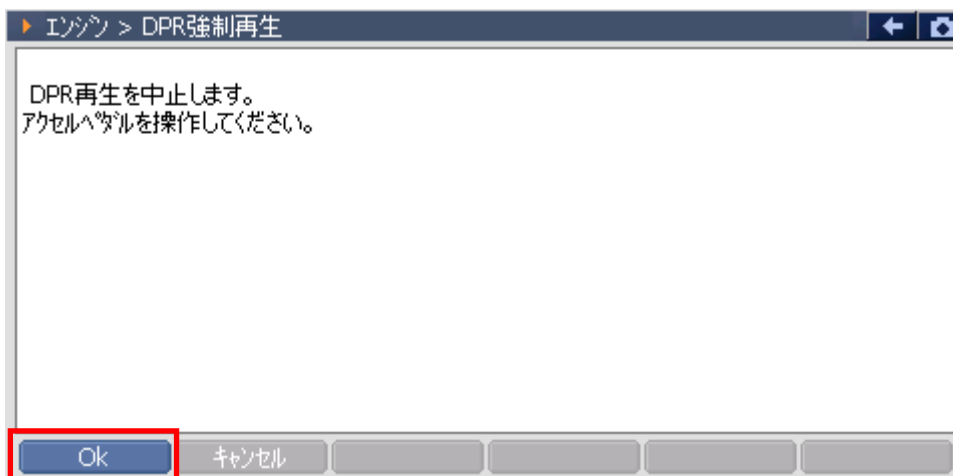


項目名	現在値	単位
エンジン回転数	1199.0	RPM
排気温センサB1S1	529.4	℃
排気温センサB1S2	411.9	℃
DPR/DPNR差圧	105.4	kPa
DPR差圧異常/過堆積	正常	
DPR再生昇温不良	正常	
DPR制御モード	PM/IDL	
DPR強制再生状態	再生中	

〈図:実行画面 DPR強制再生〉

6) 再生中止メッセージ表示されますので、メッセージに従い操作してください。

Ok ボタンを押してDPR強制再生を中止してください。




〈図：再生中止画面 DPR強制再生〉

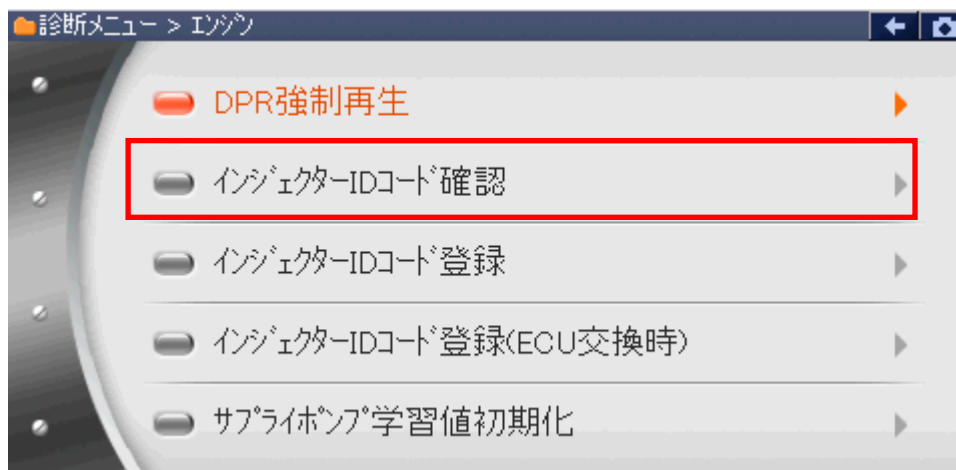
※注意と補足※

- ・ 注意、警告メッセージは必ず最後までご確認ください。
- ・ 手順通りに実施しないと、正常に動作しない場合があります。


《作業サポート「インジェクターIDコード確認」》

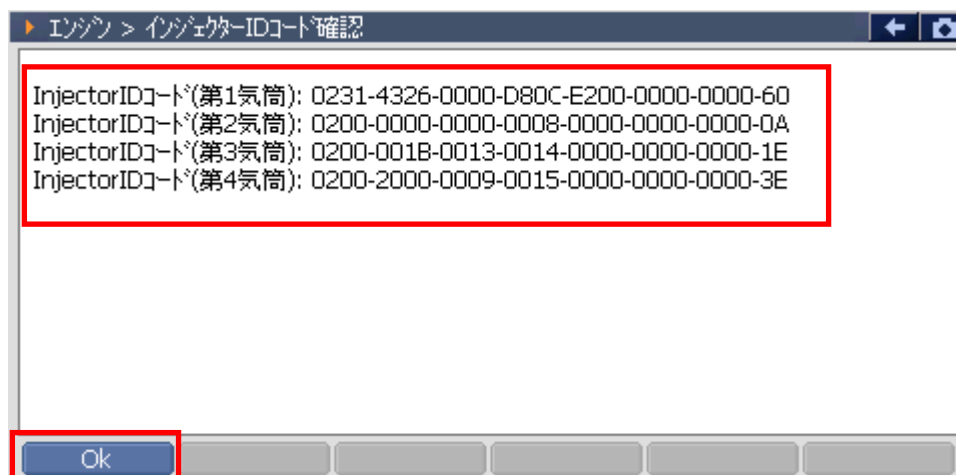
- 1) 作業サポート項目選択画面から『インジェクターIDコード確認』を選択して

 ボタンを押してください。



〈図: 作業サポート項目選択画面〉


- 1) インジェクターIDコードが確認できます。よろしければ  ボタンを押し、インジェクターIDコード確認を終了してください。

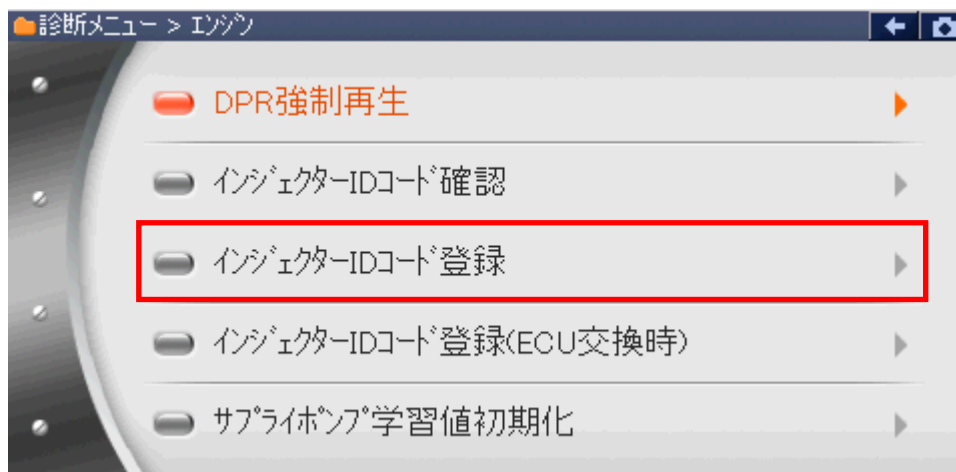


〈図: 確認メッセージ画面 インジェクターIDコード確認(4気筒)〉

《作業サポート「インジェクターIDコード登録」》

- 1) 作業サポート項目選択画面から『インジェクターIDコード登録』を選択して

 ボタンを押してください。

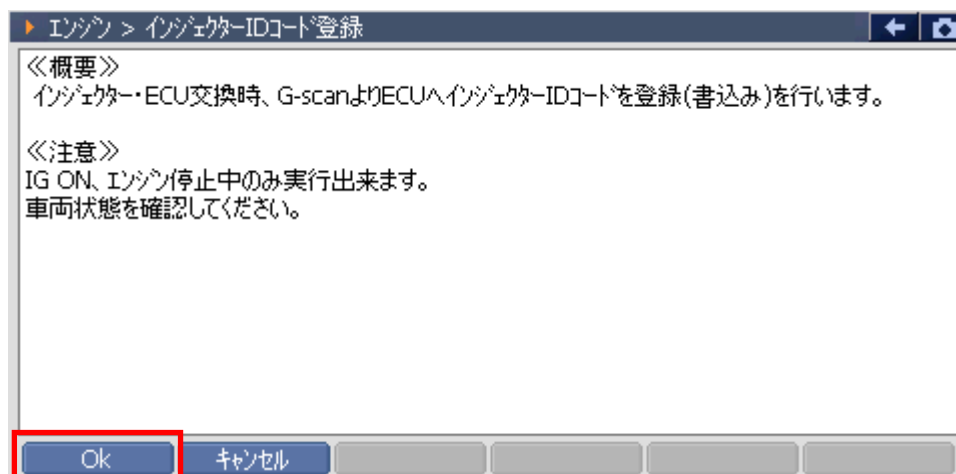


〈図: 作業サポート項目選択画面〉


- 2) 『インジェクターIDコード登録』の注意メッセージ画面に移ります。

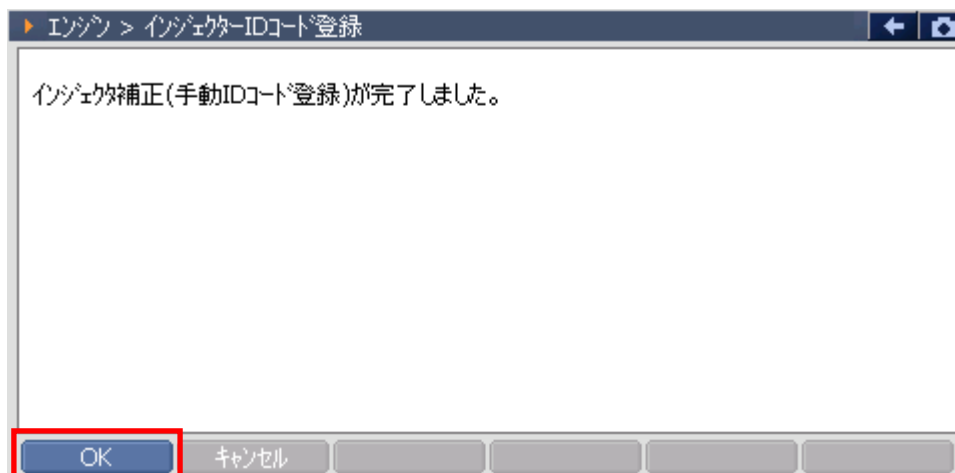
注意メッセージが表示されますので、内容をご確認いただき、よろしければ

 ボタンを押してください。



〈図: 確認メッセージ画面 インジェクターIDコード登録〉

- 6) 書き込み完了のメッセージが表示されます。  ボタンを押してインジェクターIDコード登録を終了します。



〈図: 完了画面 インジェクターIDコード登録〉

※注意と補足※

誤ったインジェクターIDコードを入力しますと登録されませんのでご注意ください。


《作業サポート「インジェクターIDコード登録(ECU交換時)」》

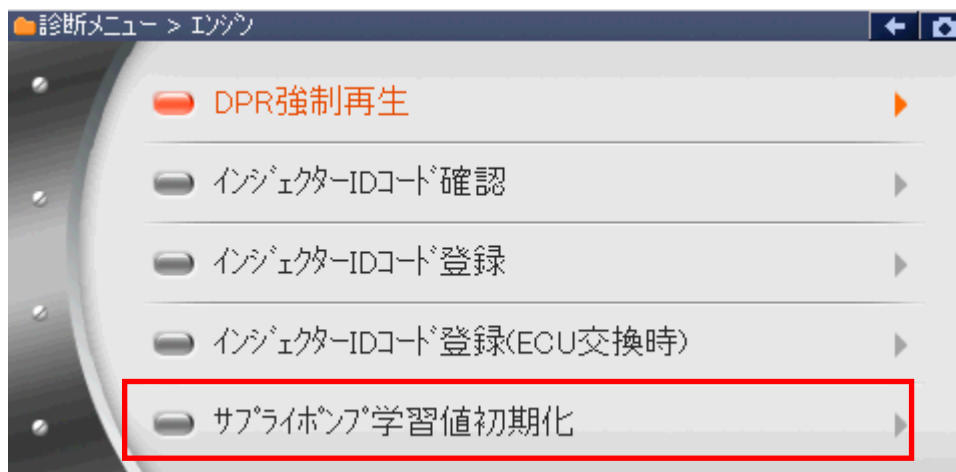
※注意と補足※

- ・ ECUを交換した際に行う作業です。
- ・ 基本的な作業の流れは「インジェクターIDコード登録」と同様となります。


《作業サポート「サプライポンプ学習値初期化」》

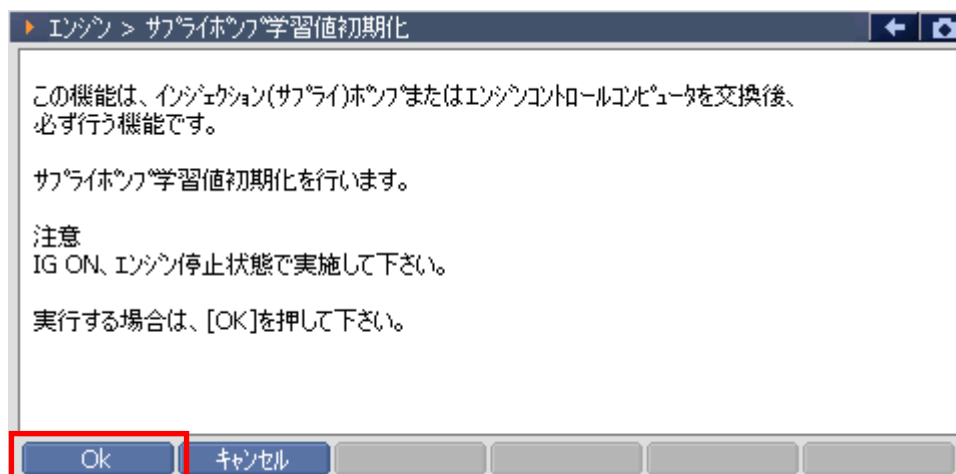
- 1) 作業サポート項目選択画面から『サプライポンプ学習値初期化』を選択して

 ボタンを押してください。



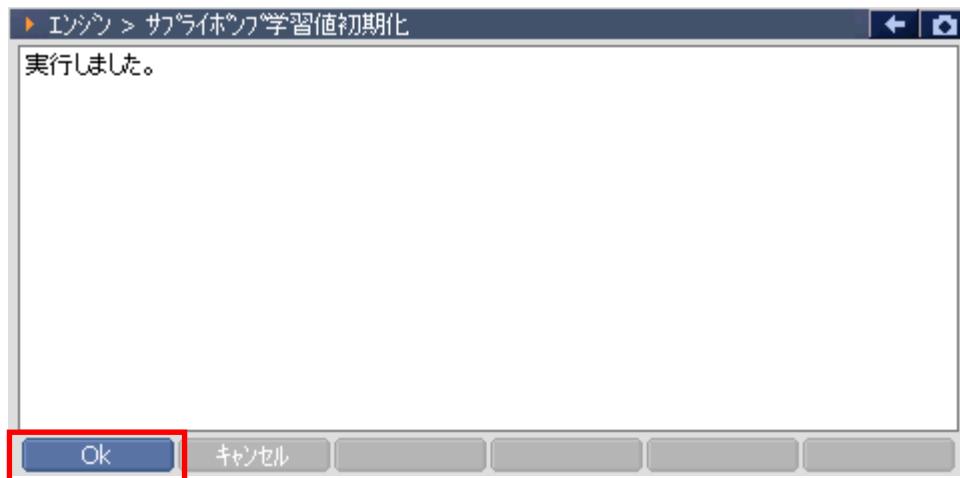
〈図: 作業サポート項目選択画面〉

- 2) 『サプライポンプ学習値初期化』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ  ボタンを押してください。



〈図: 確認メッセージ画面 サプライポンプ学習値初期化〉

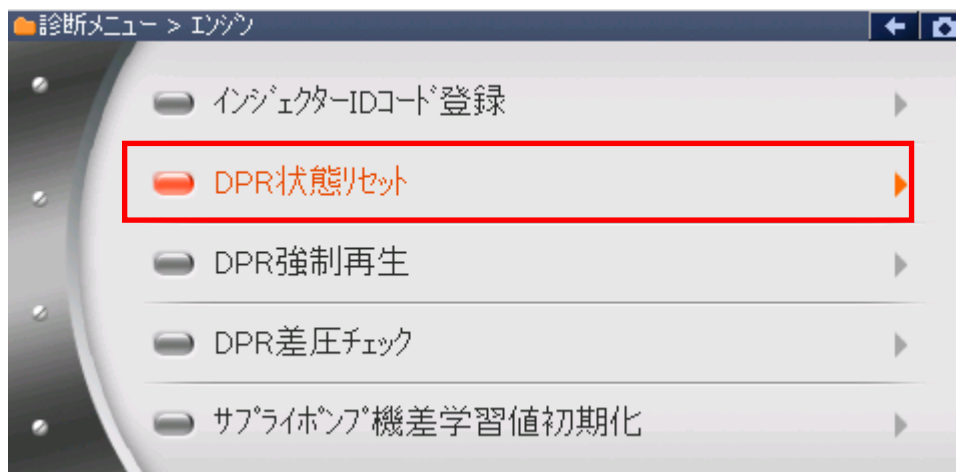
- 3) 初期化完了のメッセージが表示されます。 ボタンを押してサプライポンプ学習値初期化を完了します。




〈図:確認メッセージ画面 サプライポンプ学習値初期化〉

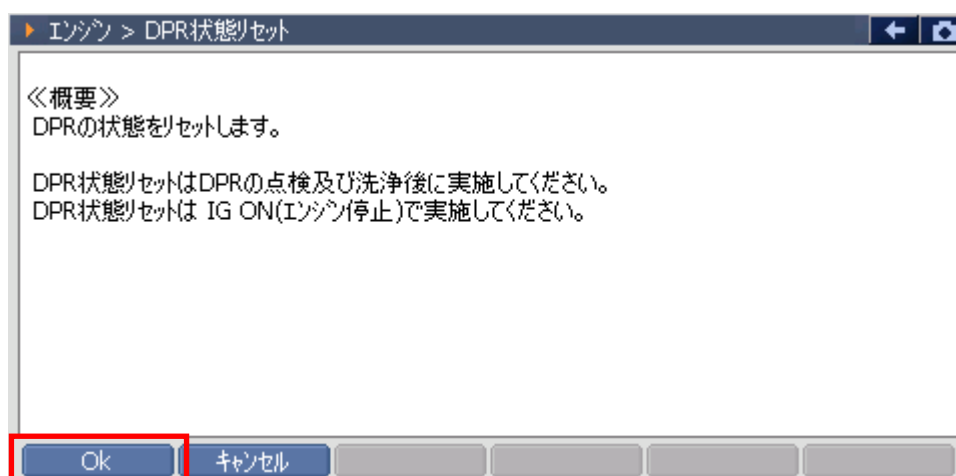
《作業サポート「DPR状態リセット」》

- 1) 作業サポート項目選択画面から『DPR状態リセット』を選択して  ボタンを押してください。



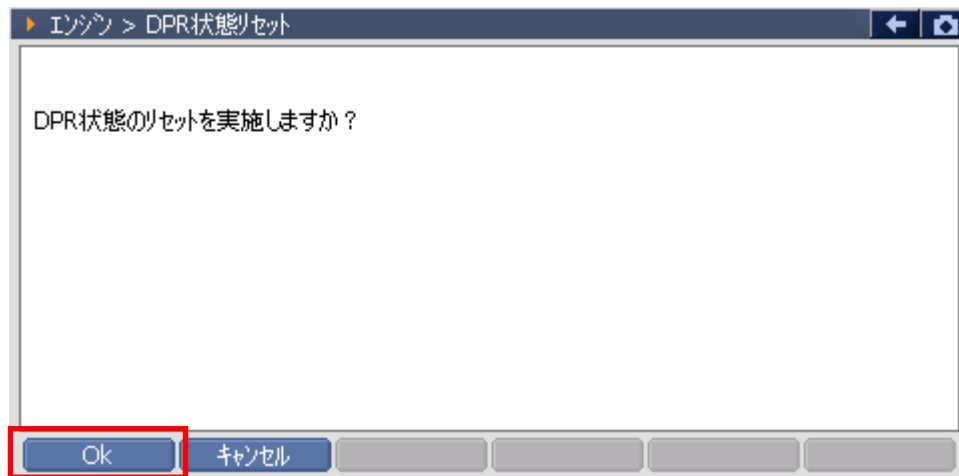
〈図: 作業サポート項目選択画面〉

- 2) 『DPR状態リセット』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ  ボタンを押してください。



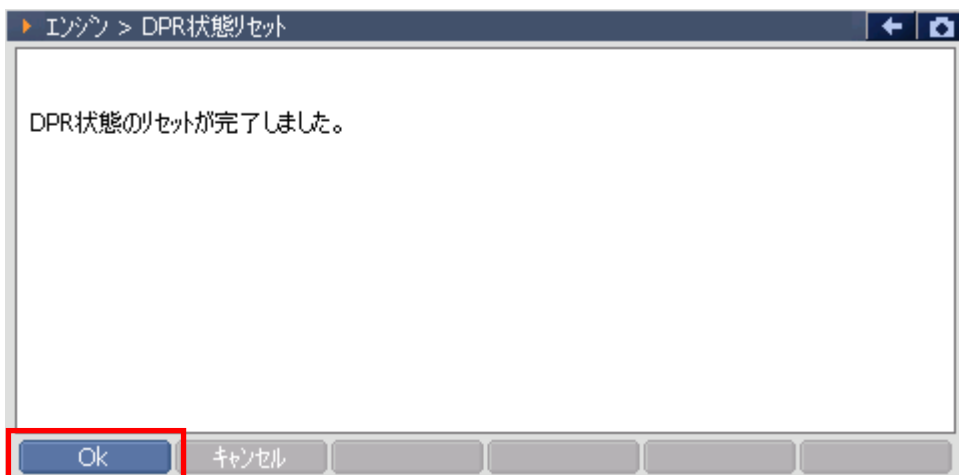
〈図: 確認メッセージ画面 DPR状態リセット〉

- 3) 実施確認のメッセージが表示されます。よろしければ **Ok** ボタンを押してください。



〈図: 確認メッセージ画面 DPR状態リセット〉


- 4) リセット完了のメッセージが表示されます。 **Ok** ボタンを押してDPR状態リセットを終了します。

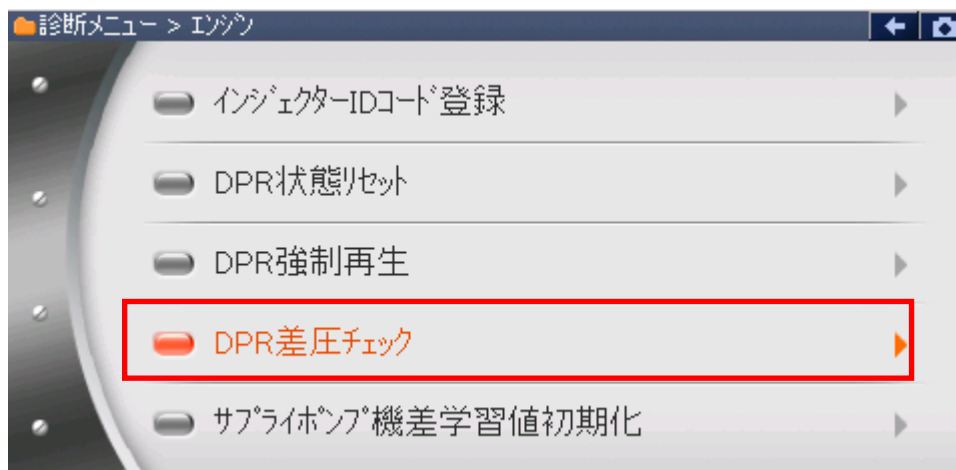


〈図: 完了メッセージ画面 DPR状態リセット〉


《作業サポート「DPR差圧チェック」》

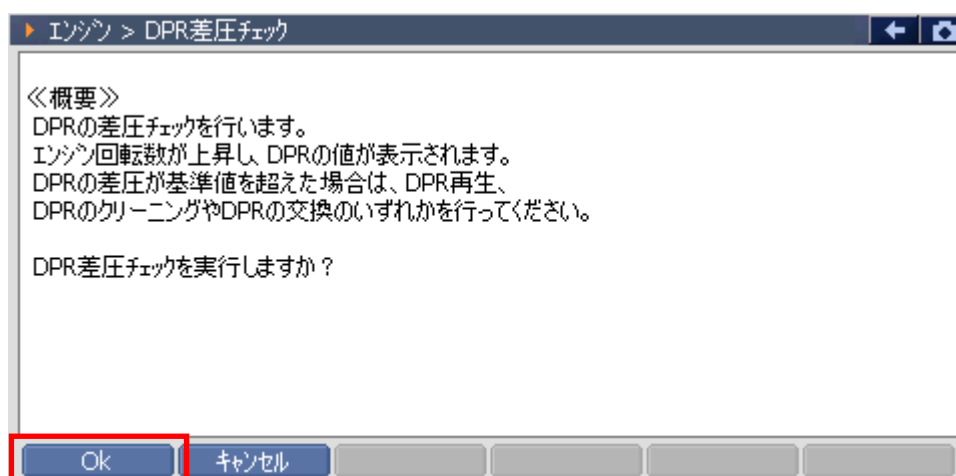
- 1) 作業サポート項目選択画面から『サプライポンプ学習値初期化』を選択して

 ボタンを押してください。



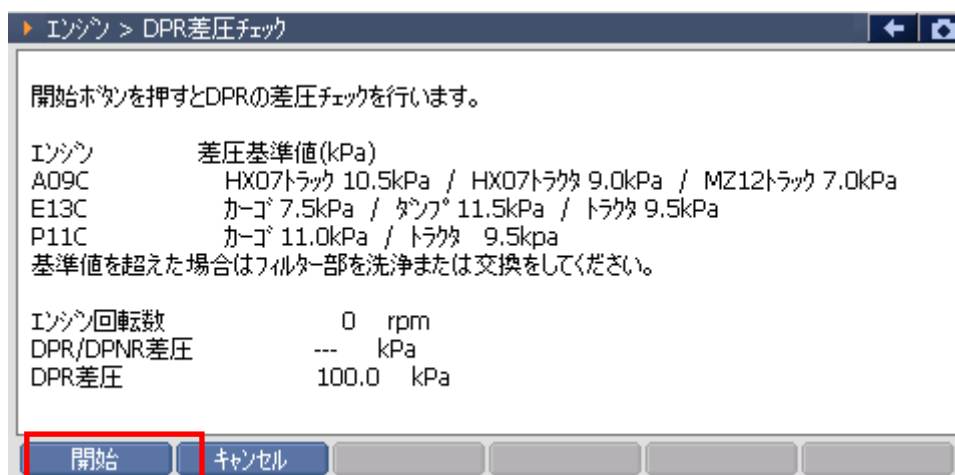
〈図：作業サポート項目選択画面〉

- 2) 『DPR差圧チェック』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ  ボタンを押してください。



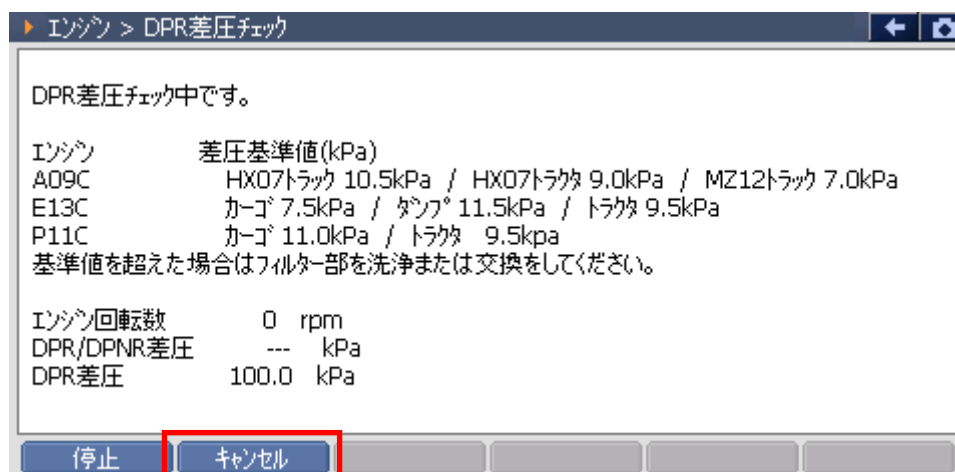
〈図：確認メッセージ画面 DPR差圧チェック〉

- 3) DPR差圧状態が表示されます。**実行** ボタンを押すとエンジン回転数が上がりDPR差圧が上昇します。




〈図: モニター画面 DPR差圧チェック〉

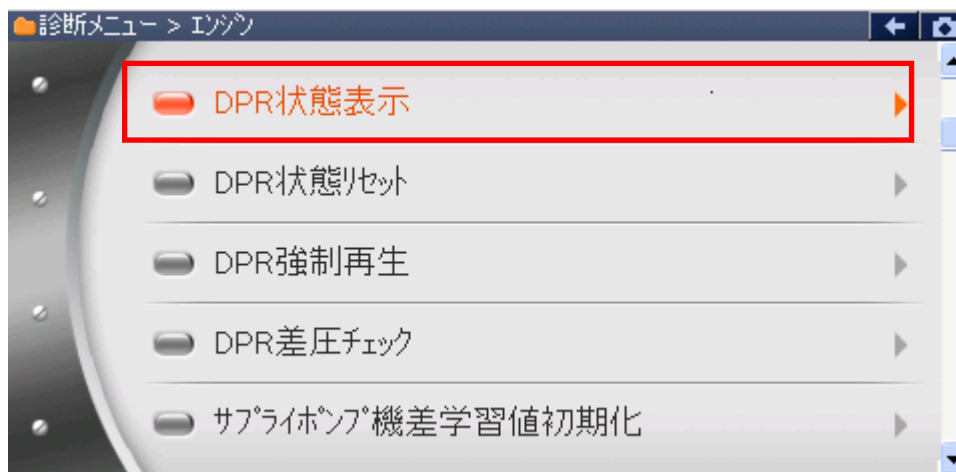
- 4) **停止** ボタンを押すとエンジン回転数が下がりチェックが終了します。DPR差圧が上昇します。終了する場合は**キャンセル** ボタンを押してください。




〈図: モニター画面 DPR差圧チェック〉

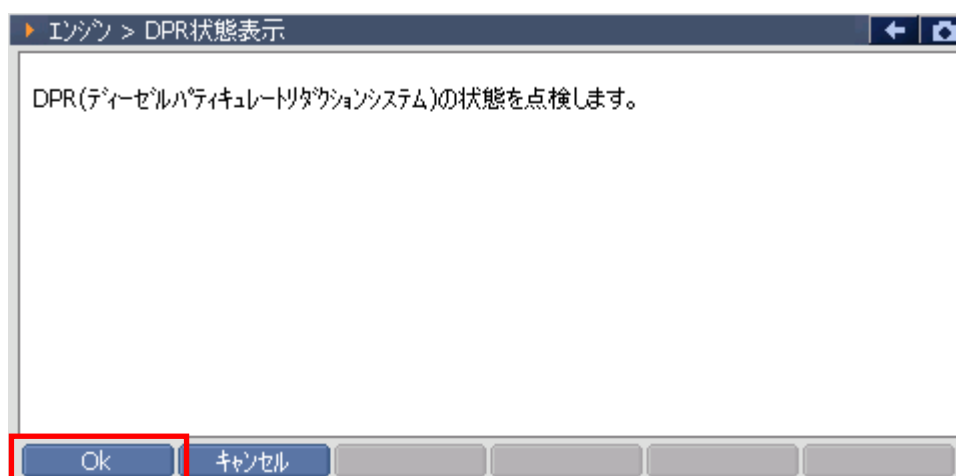
《作業サポート「DPR状態表示」》

- 1) 作業サポート項目選択画面から『DPR状態表示』を選択して  ボタンを押してください。



〈図: 作業サポート項目選択画面〉

- 2) 『DPR状態表示』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ  ボタンを押してください。




〈図: 確認メッセージ画面 DPR状態表示〉

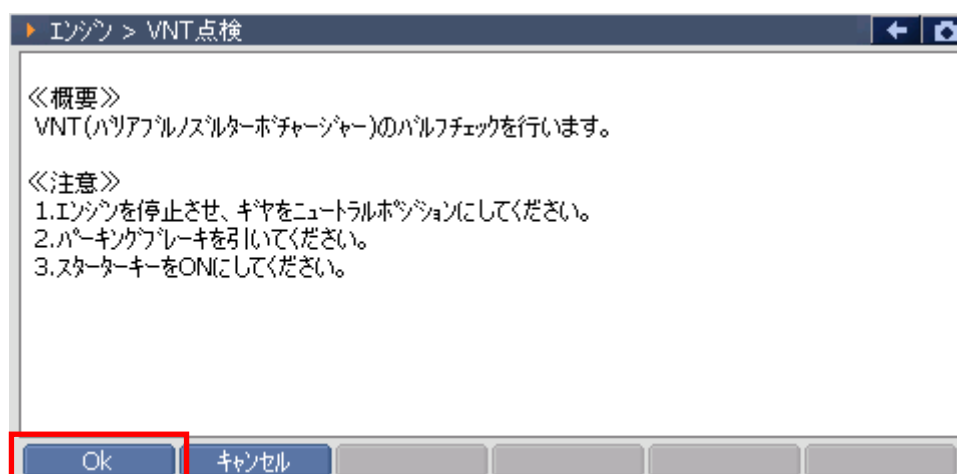
《作業サポート「VNT点検」》

- 1) 作業サポート項目選択画面から『VNT点検』を選択して  ボタンを押してください。



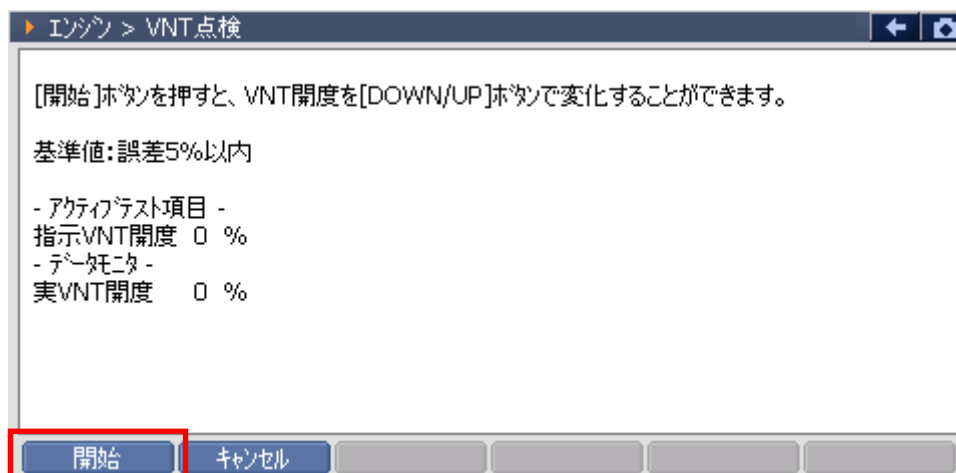
〈図: 作業サポート項目選択画面〉

- 2) 『VNT点検』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ  ボタンを押してください。



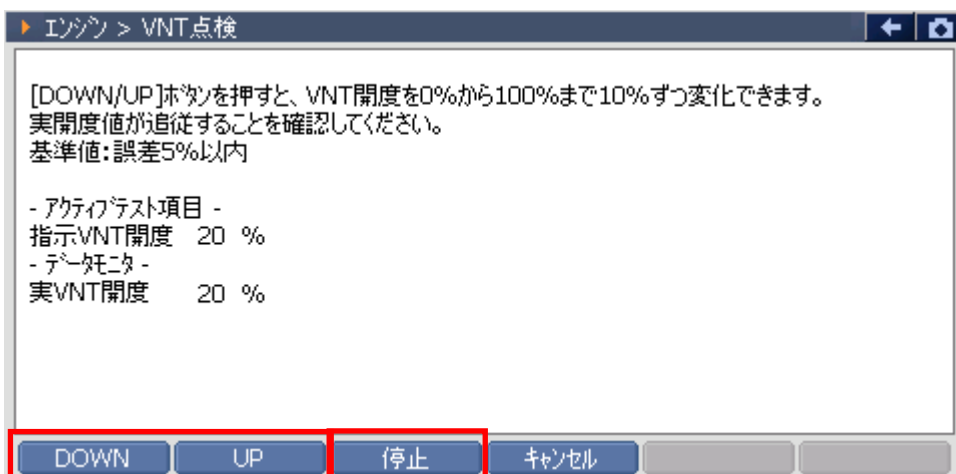
〈図: 確認メッセージ画面 VNT点検〉

3) VNTのテストを開始する場合には **開始** ボタンを押してください。




〈図:確認メッセージ画面 VNT点検〉

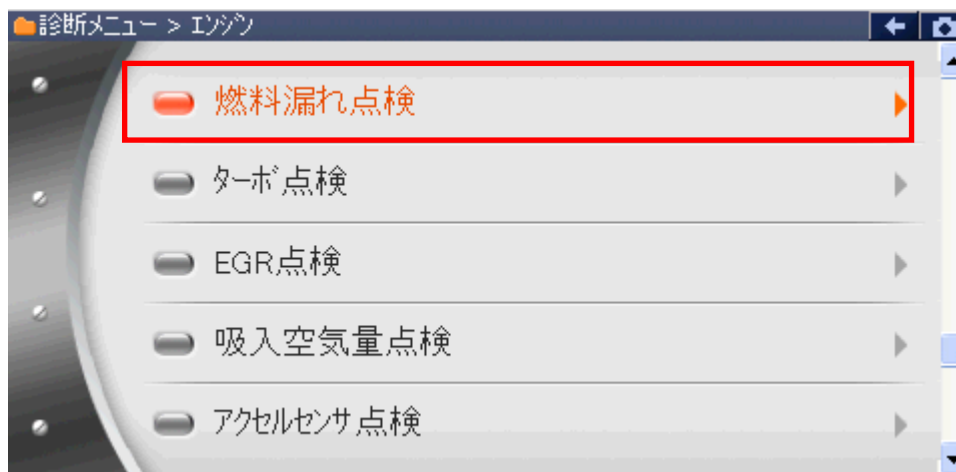
4) **DOWN** **UP** ボタンでVNTの開度を変更することができます。VNT点検を終了する場合には **停止** または **キャンセル** ボタンを押してください。




〈図:モニター画面 VNT点検〉

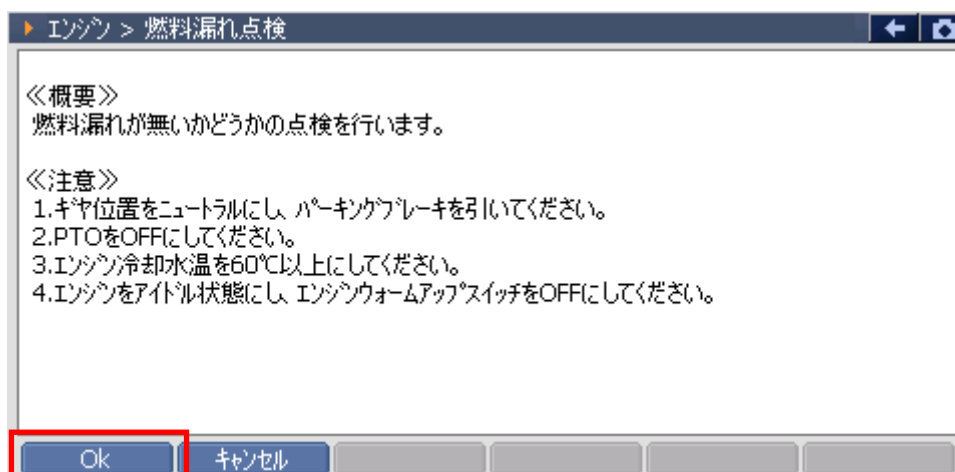
《作業サポート「燃料漏れ点検」》

- 1) 作業サポート項目選択画面から『燃料漏れ点検』を選択して  ボタンを押してください。



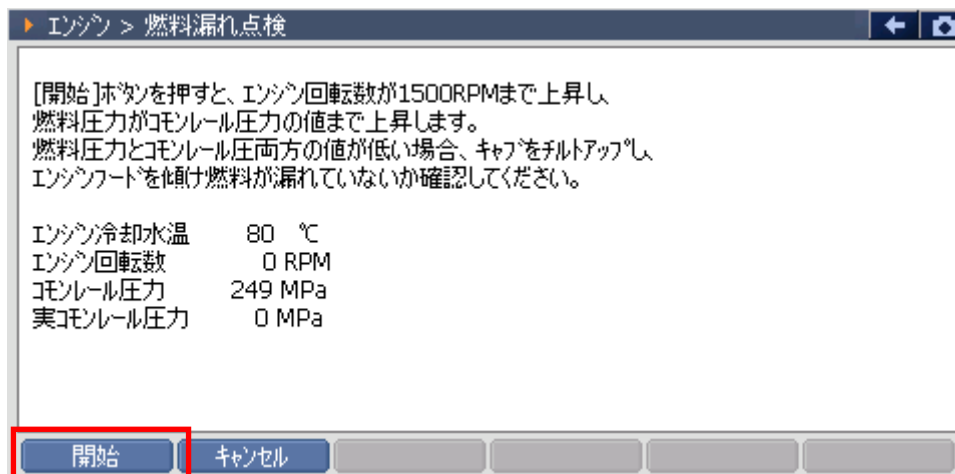
〈図: 作業サポート項目選択画面〉

- 2) 『燃料漏れ点検』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ  ボタンを押してください。



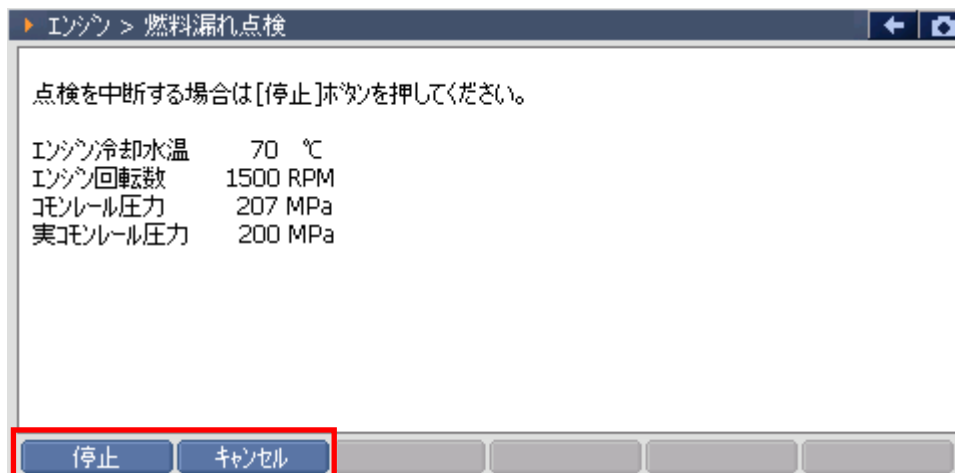
〈図: 確認メッセージ画面 燃料漏れ点検〉

3) 燃料漏れ点検のテストを開始する場合には **開始** ボタンを押してください。




〈図: モニター画面 燃料漏れ点検〉

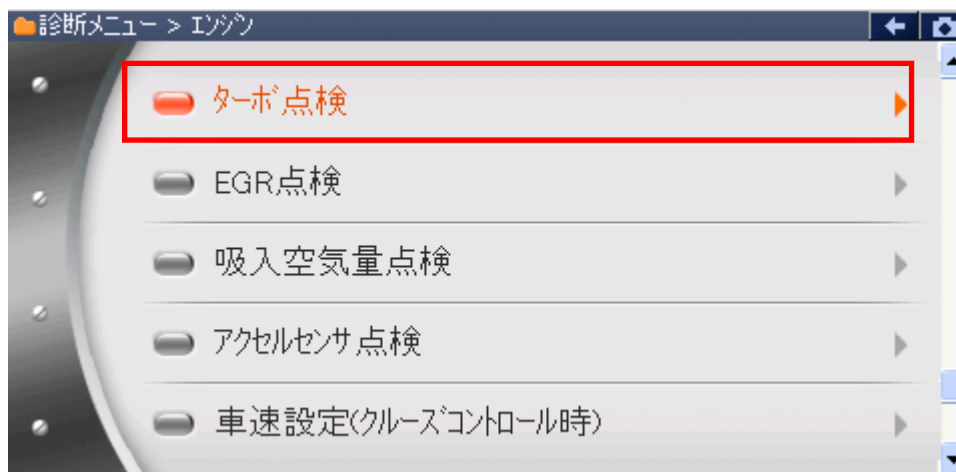
4) エンジン回転数が上昇し、燃料圧力、実コモンレール圧力が上昇します。燃料漏れ点検を終了する場合には **停止** または **キャンセル** ボタンを押してください。




〈図: モニター画面 燃料漏れ点検〉

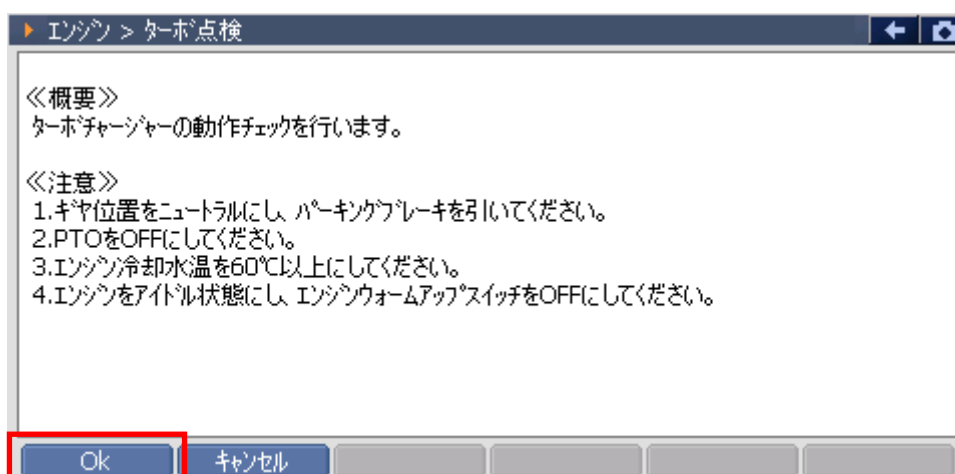
《作業サポート「ターボ点検」》

- 1) 作業サポート項目選択画面から『ターボ点検』を選択して  ボタンを押してください。



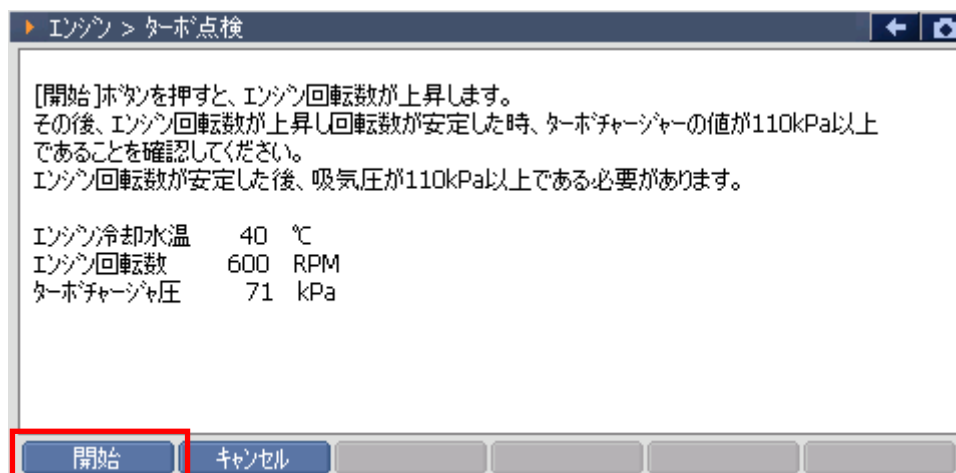
〈図: 作業サポート項目選択画面〉

- 2) 『ターボ点検』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ  ボタンを押してください。



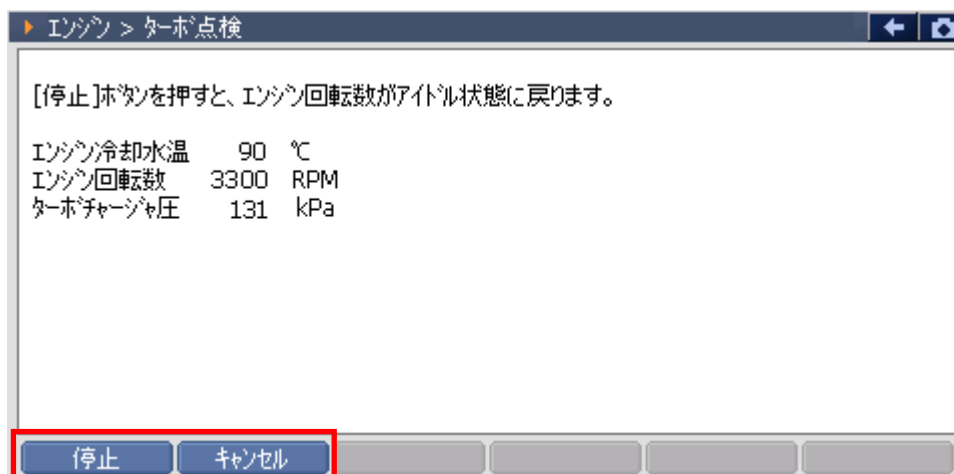
〈図: 確認メッセージ画面 ターボ点検〉

3) ターボ点検のテストを開始する場合には **開始** ボタンを押してください。



〈図: モニター画面 ターボ点検〉

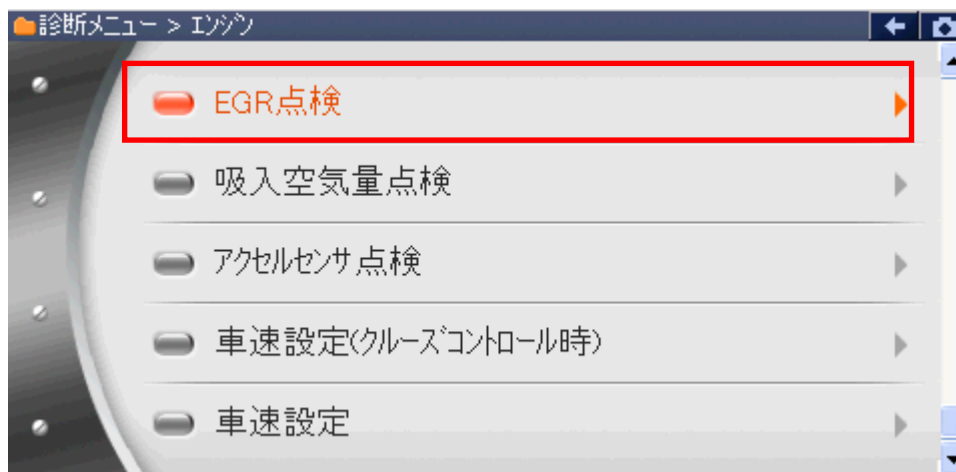
4) エンジン回転数が上昇し、ターボチャージャー圧が上昇します。ターボ点検を終了する場合には **停止** または **キャンセル** ボタンを押してください。




〈図: モニター画面 ターボ点検〉

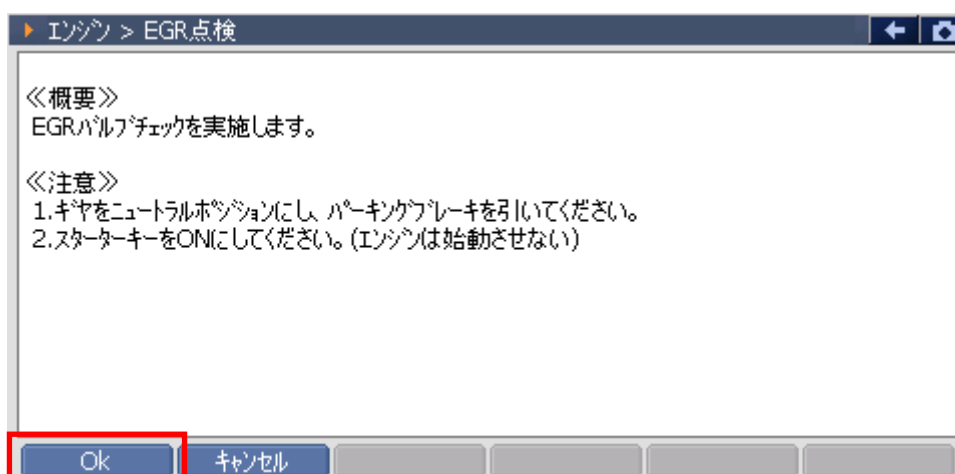
《作業サポート「EGR点検」》

- 1) 作業サポート項目選択画面から『EGR点検』を選択して  ボタンを押してください。



〈図: 作業サポート項目選択画面〉

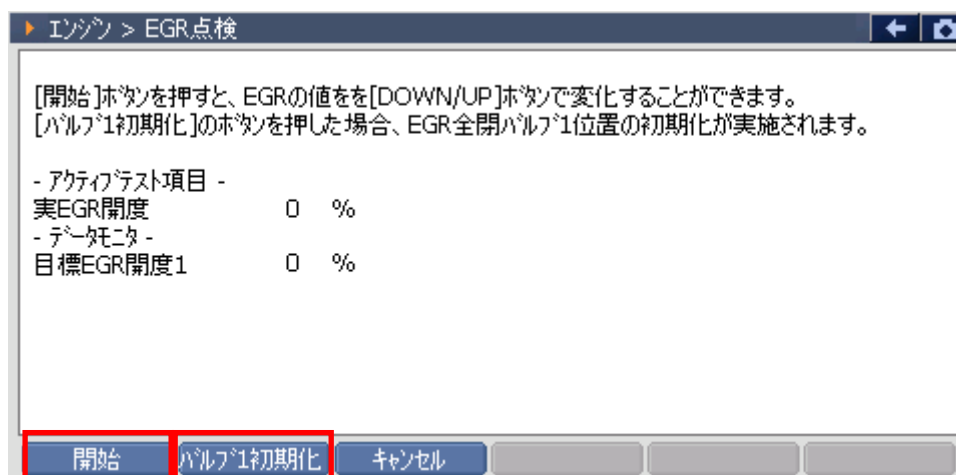
- 2) 『EGR点検』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ  ボタンを押してください。



〈図: 確認メッセージ画面 EGR点検〉

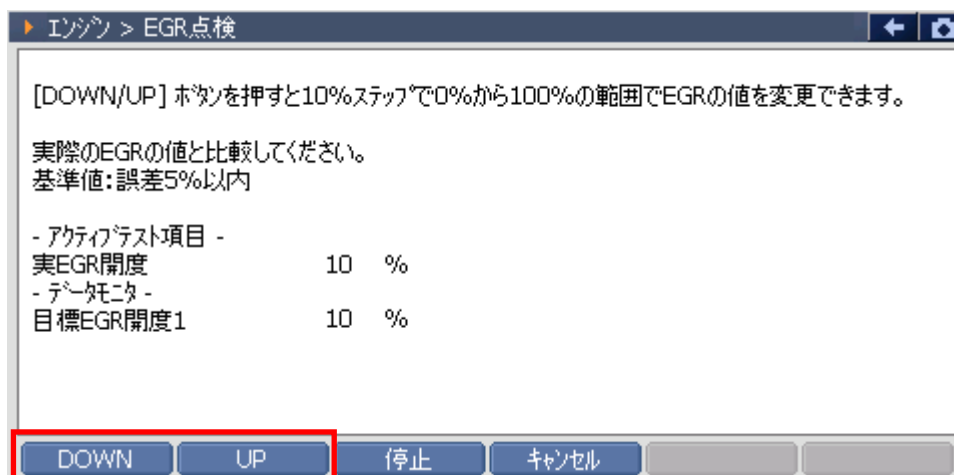
3) EGR点検のテストを開始する場合には **開始** ボタンを押してください。

バルブ1初期化 ボタンを押すとEGR全閉バルブ1の初期化を実施します。




〈図: モニター画面 EGR点検〉

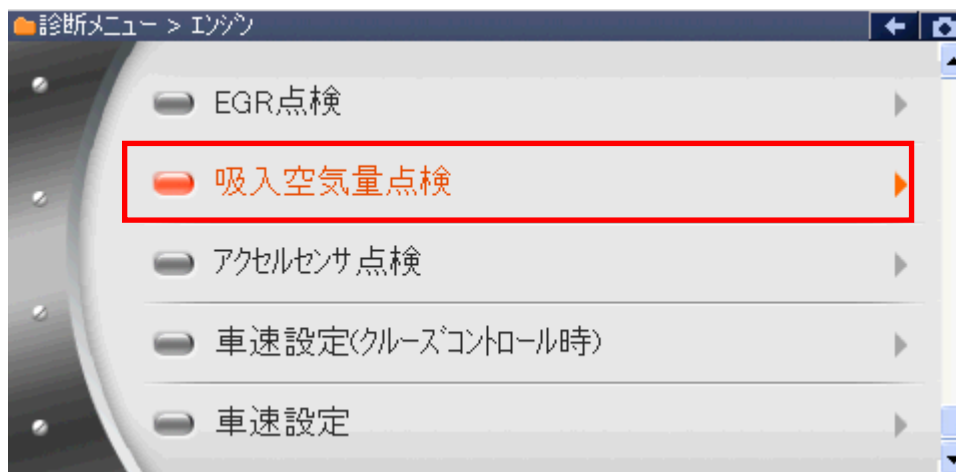
4) **DOWN** **UP** ボタンでEGRの開度を変更することができます。EGRの点検を終了する場合には **停止** または **キャンセル** ボタンを押してください。




〈図: モニター画面 EGR点検〉

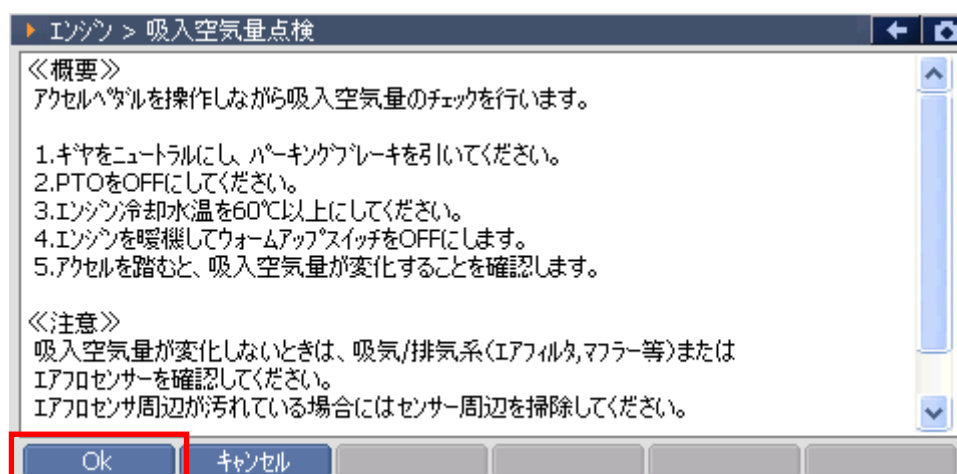
《作業サポート「吸入空気量点検」》

- 1) 作業サポート項目選択画面から『吸入空気量点検』を選択して  ボタンを押してください。



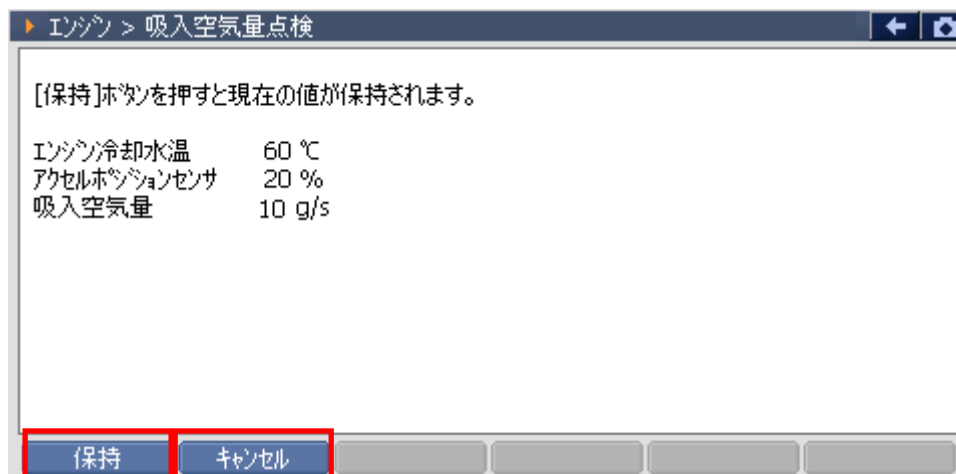
〈図: 作業サポート項目選択画面〉

- 2) 『吸入空気量点検』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ  ボタンを押してください。



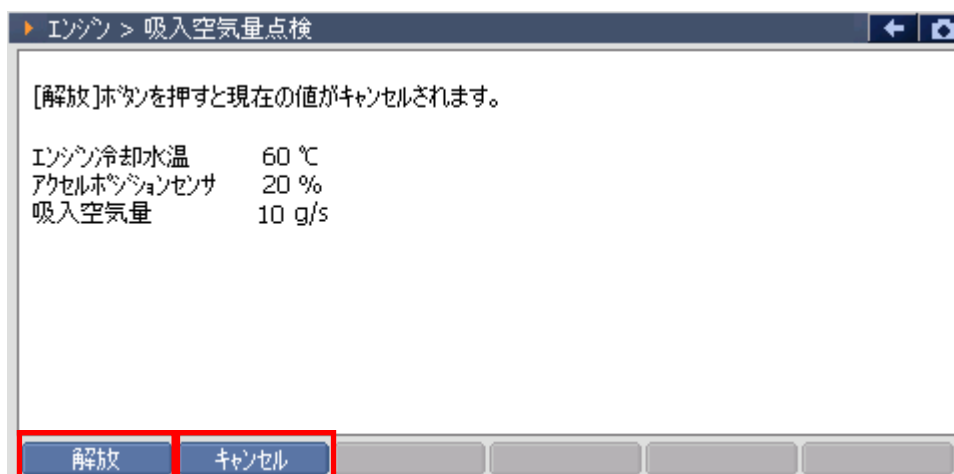
〈図: 確認メッセージ画面 吸入空気量点検〉

- 3) アクセルを踏み込むことによって吸入空気量が変化します。現在の値を保持する場合には **保持** ボタンを押してください。**バルブ1初期化** ボタンを押すとEGR全閉バルブ1の初期化を実施します。




〈図: モニター画面 吸入空気量点検〉

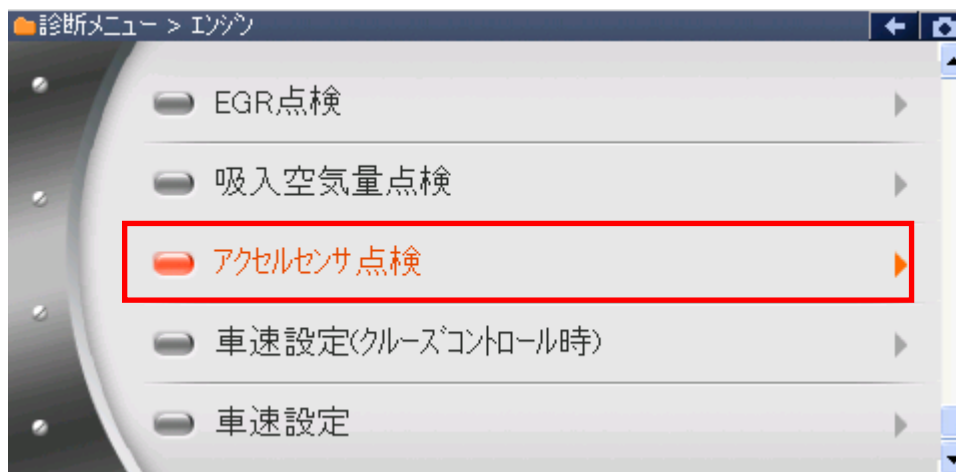
- 4) **保持** ボタンを押したときの値が表示されます。**解放** ボタンを押すと再度モニター画面移行します。点検を終了する場合には **キャンセル** ボタンを押してください。




〈図: データ保持画面 吸入空気量点検〉

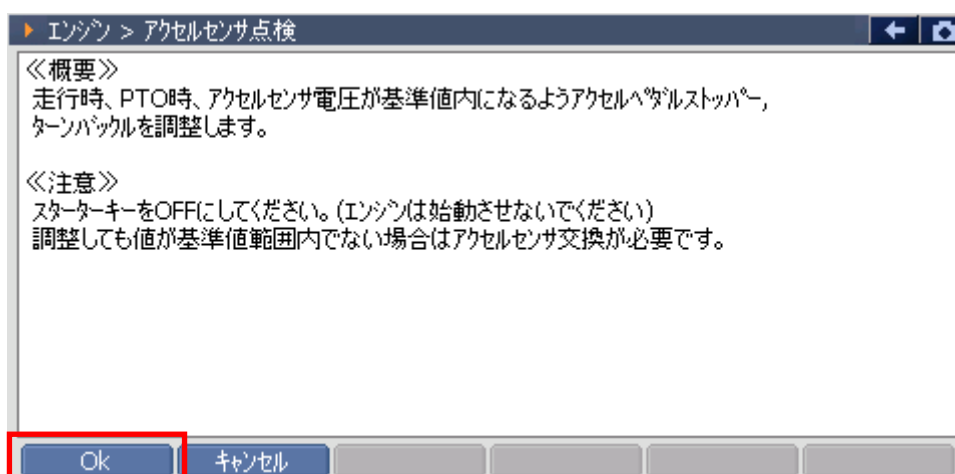
《作業サポート「アクセルセンサ点検」》

- 1) 作業サポート項目選択画面から『アクセルセンサ点検』を選択して  ボタンを押してください。



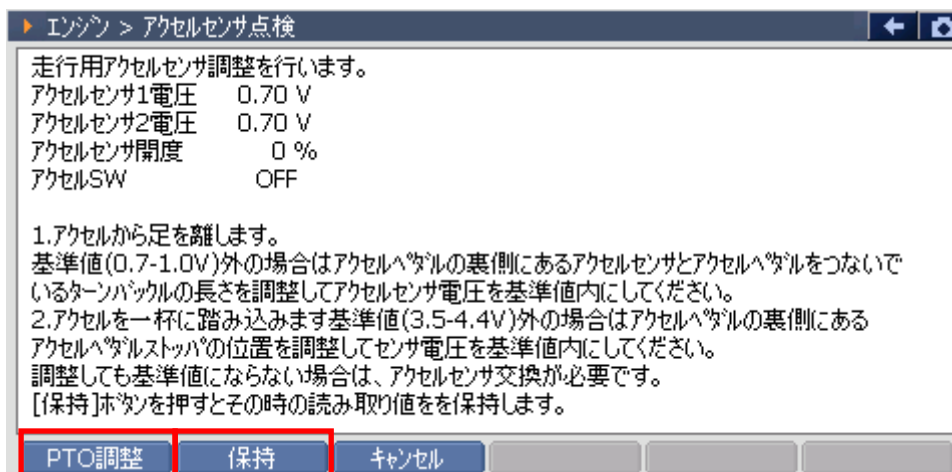
〈図: 作業サポート項目選択画面〉

- 2) 『アクセルセンサ点検』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ  ボタンを押してください。



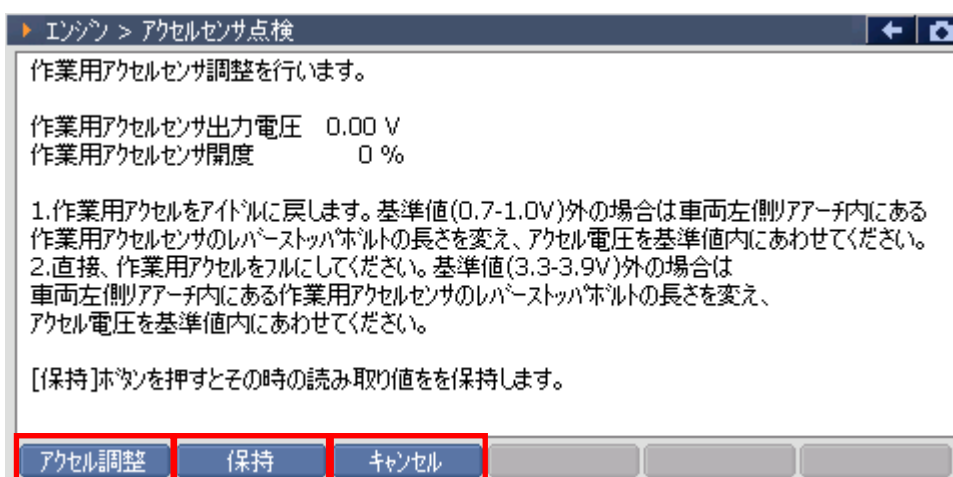
〈図: 確認メッセージ画面 アクセルセンサ点検〉

- 3) 走行時のアクセルセンサに関するデータが変化します。現在の値を保持する場合には **保持** ボタンを押してください。 **PTO調整** ボタンを押すとPTO時のアクセルセンサの点検を行えます。



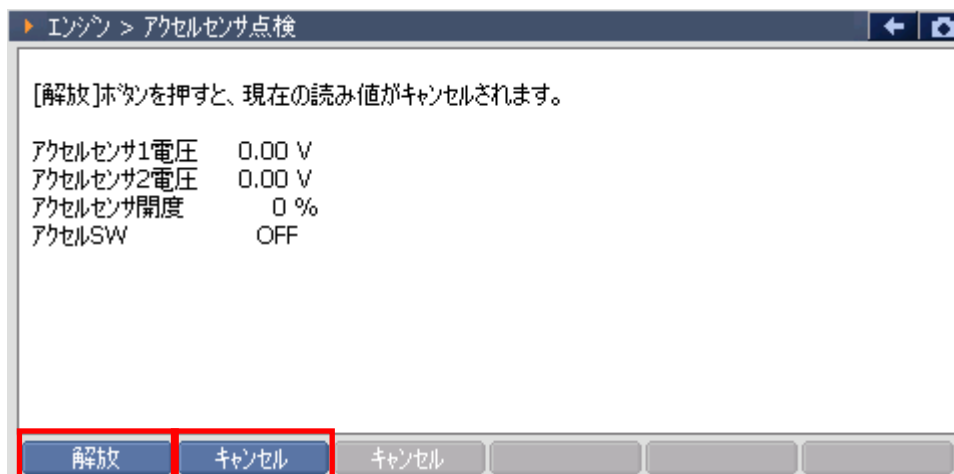
〈図: モニター画面 アクセルセンサ点検〉

- 4) 走行時のアクセルセンサに関するデータが変化します。現在の値を保持する場合には **保持** ボタンを押してください。点検を終了する場合には **キャンセル** ボタンを押してください。 **アクセル調整** ボタンを押すと走行時のアクセルセンサ点検に戻ります。

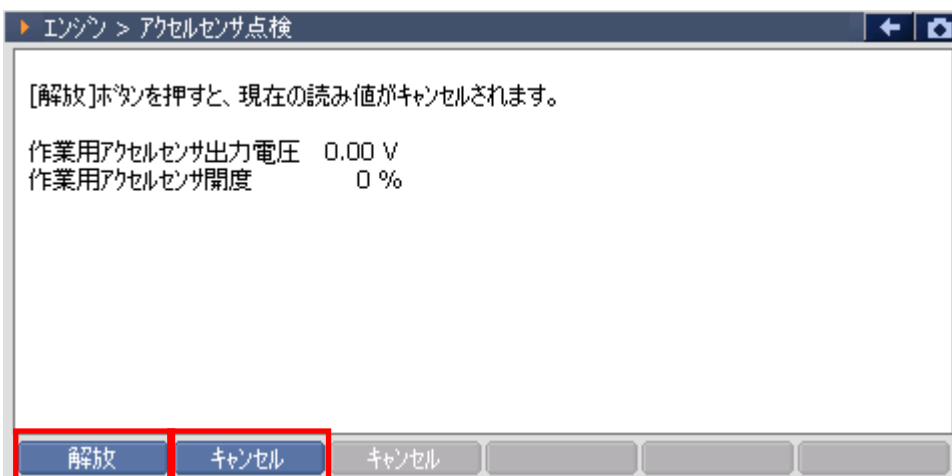


〈図: データ保持画面 吸入空気量点検〉

- 5) **保持** ボタンを押すと、ボタンを押したときの値が表示されます。**解放** ボタンを押すと再度モニター画面移行します。点検を終了する場合には **キャンセル** ボタンを押してください。




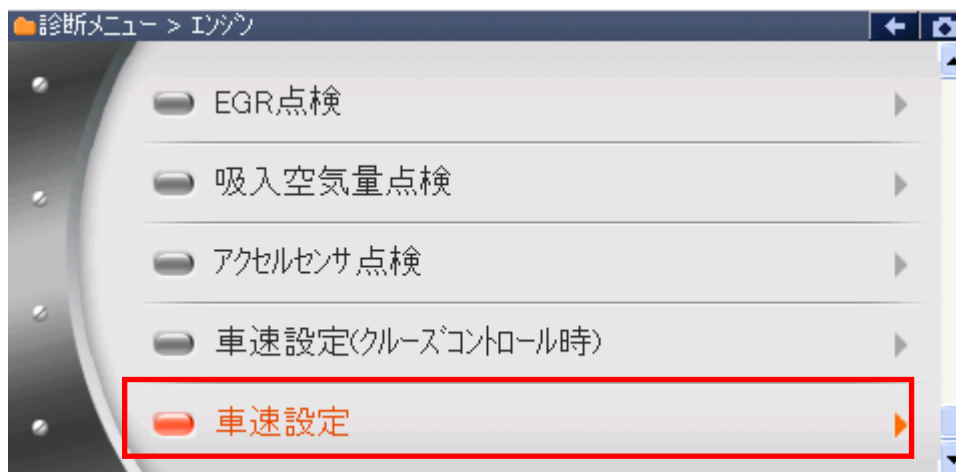
〈図：走行時データ保持画面 アクセルセンサ点検〉




〈図：PTO時データ保持画面 アクセルセンサ点検〉

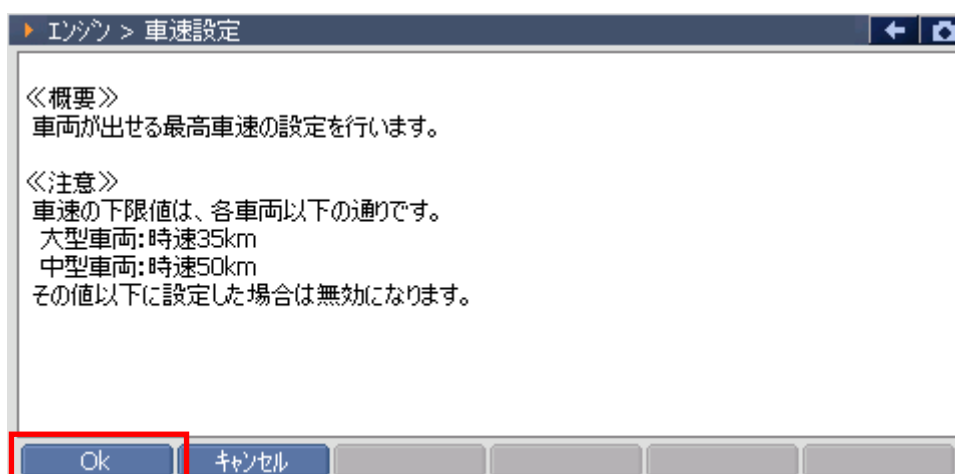
《作業サポート「車速設定」》

- 1) 作業サポート項目選択画面から『車速設定』を選択して  ボタンを押してください。



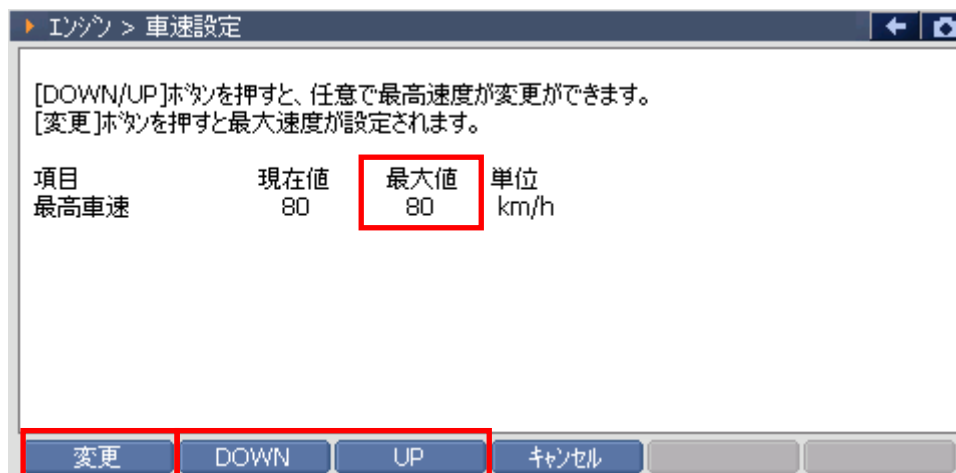
〈図: 作業サポート項目選択画面〉

- 2) 『車速設定』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ  ボタンを押してください。



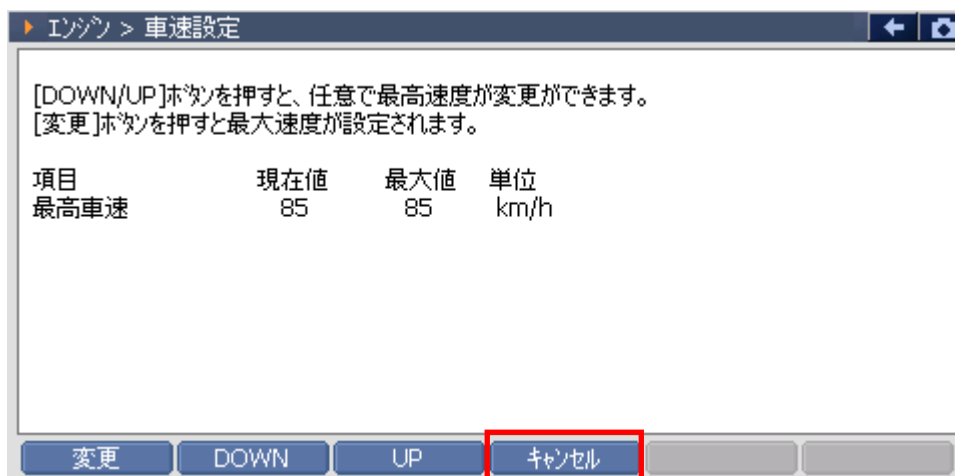
〈図: 確認メッセージ画面 車速設定〉

- 3) **DOWN** **UP** ボタンで車速値を変更することができます。**変更** ボタンを押すと最大値に表示されている値を設定します。



〈図: モニター画面 車速設定〉

- 4) 車速設定を終了する場合は **キャンセル** ボタンを押してください。




〈図: モニター画面 車速設定〉

《作業サポート「車速設定(クルーズコントロール時)」》

※注意と補足※


- 基本的な作業の流れは「車速設定」と同様となります。

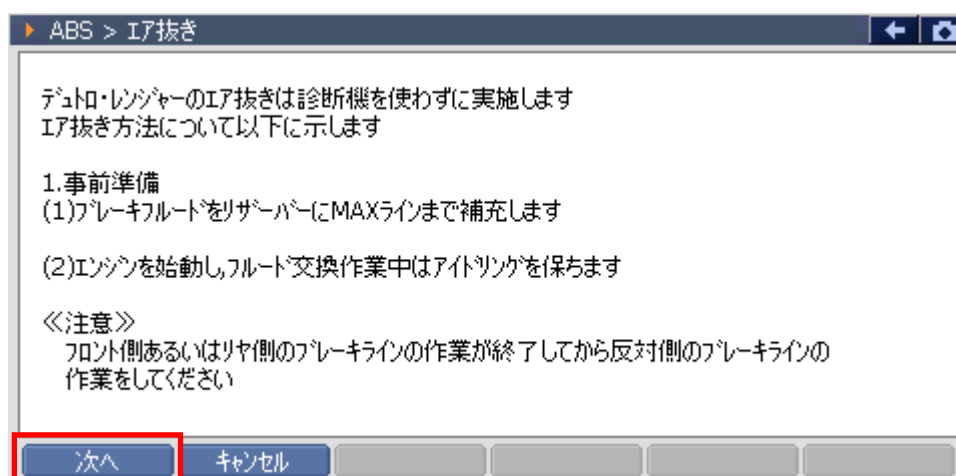
《作業サポート「エア抜き」》

- 1) 作業サポート項目選択画面から『エア抜き』を選択して  ボタンを押してください。



〈図: 作業サポート項目選択画面〉

- 2) 『エア抜き』の実施方法が表示されますので、実施方法をご確認いただき、
 ボタンを押して作業を進めてください。




〈図: メッセージ画面 エア抜き〉

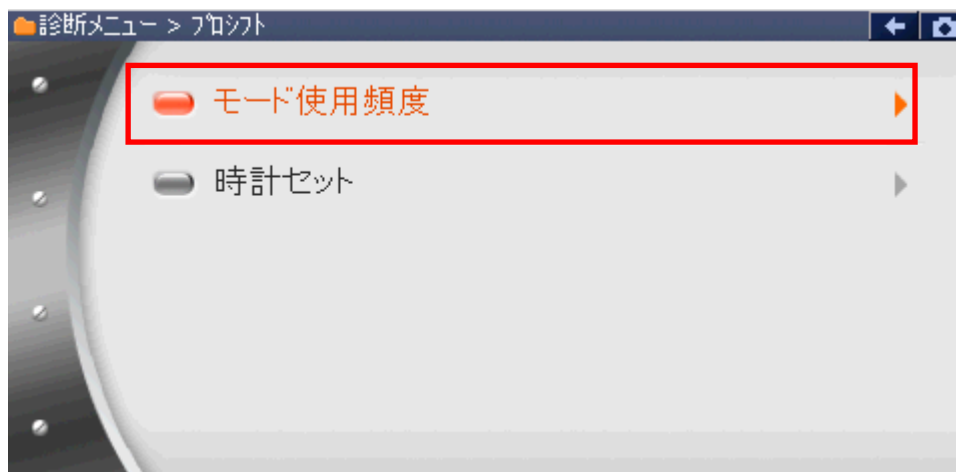
※注意と補足※

デュトロ、レンジャーのエア抜きは診断機を使わずに実施します。

実施方法に従い作業をしてください。



《作業サポート「モード使用頻度」》

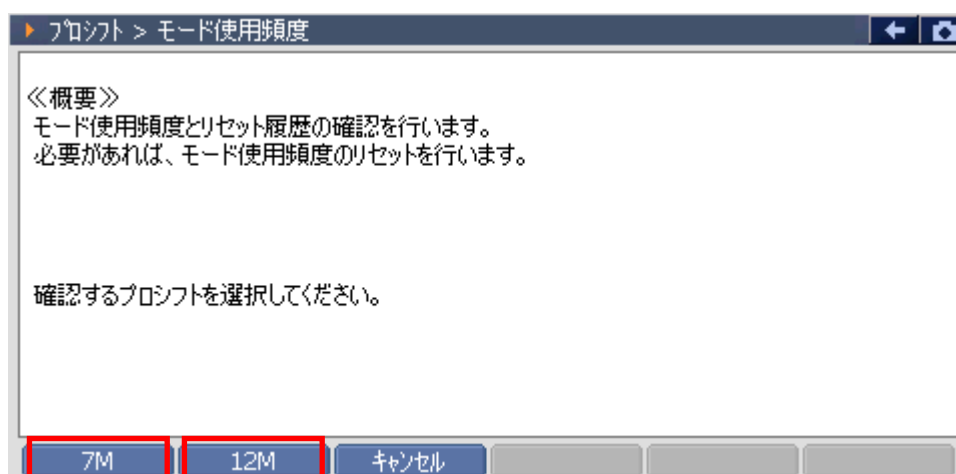
- 1) 作業サポート項目選択画面から『モード使用頻度』を選択して  ボタンを押してください。



〈図：作業サポート項目選択画面〉

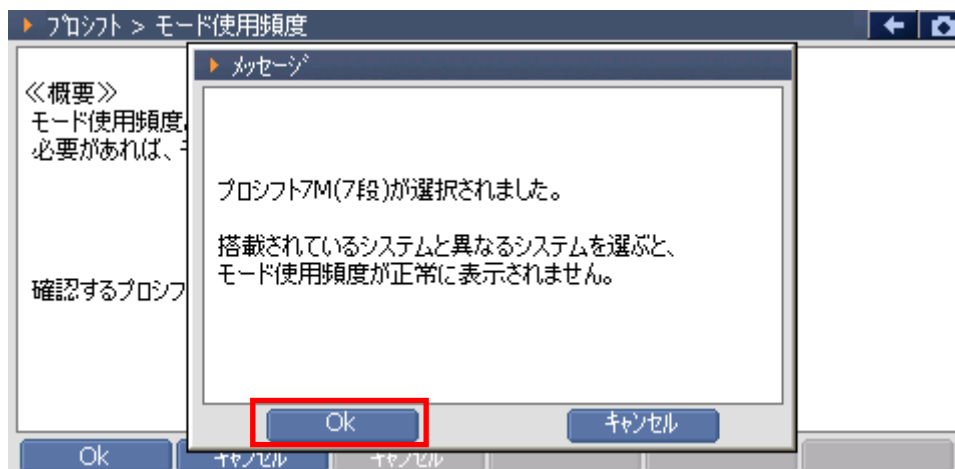
- 2) 『モード使用頻度』の概要が表示されます。搭載されているプロシフトを確認し、

 または  ボタンを押して作業を進めてください。



〈図：メッセージ画面 モード使用頻度〉

3) メッセージ画面が表示されますので、**Ok** ボタンを押してください。

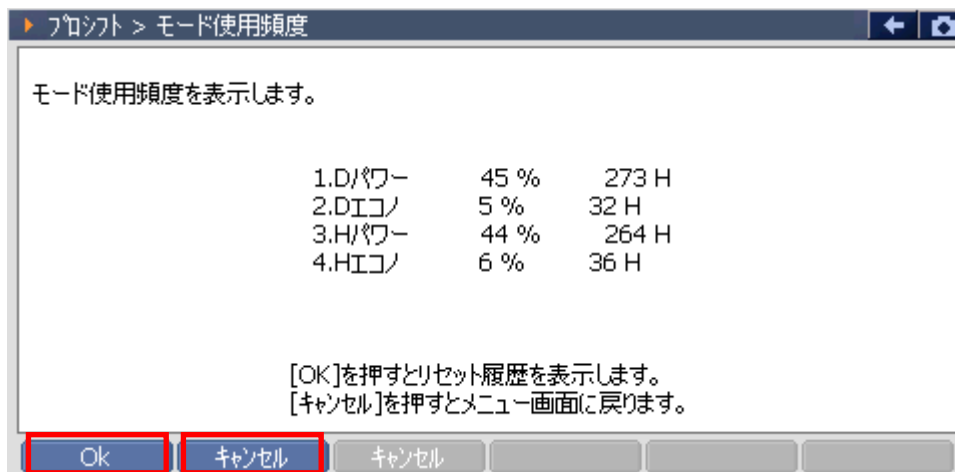


〈図: システム確認画面 モード使用頻度〉

4) モード使用頻度が表示されます。

リセット履歴を確認する場合は **Ok** ボタンを押してください。

モード使用頻度の確認のみの場合は **キャンセル** ボタンを押してメニュー画面に戻ります。

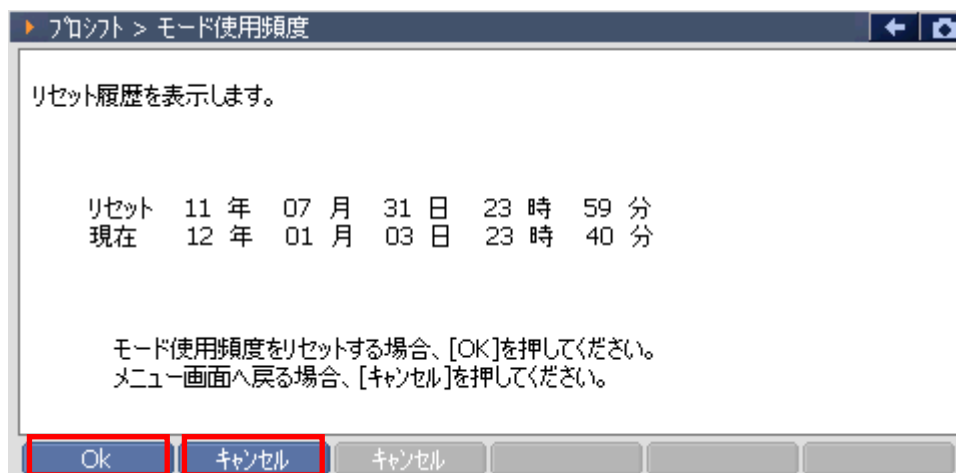


〈図: 確認画面 モード使用頻度〉

5) リセット履歴が表示されます。

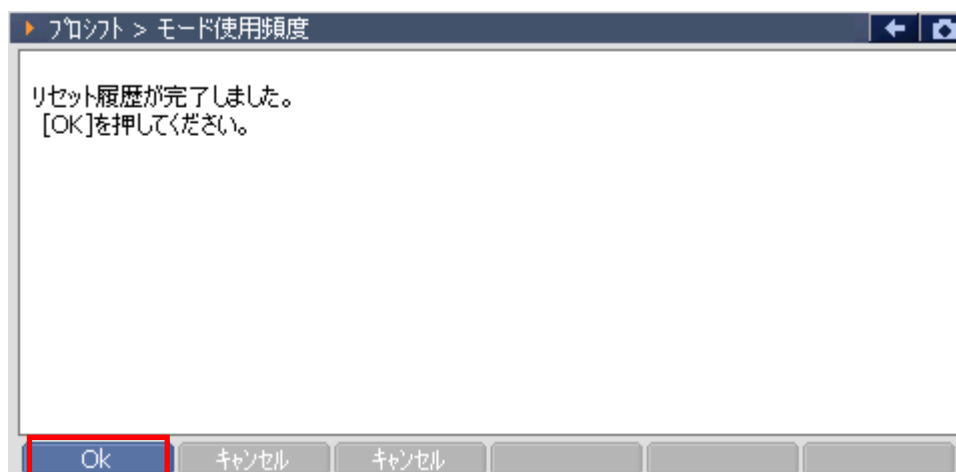
モード使用頻度をリセットする場合は **Ok** ボタンを押してください。

リセット履歴の確認のみの場合は **キャンセル** ボタンを押してメニュー画面に戻ります。




〈図:リセット履歴確認画面 モード使用頻度〉

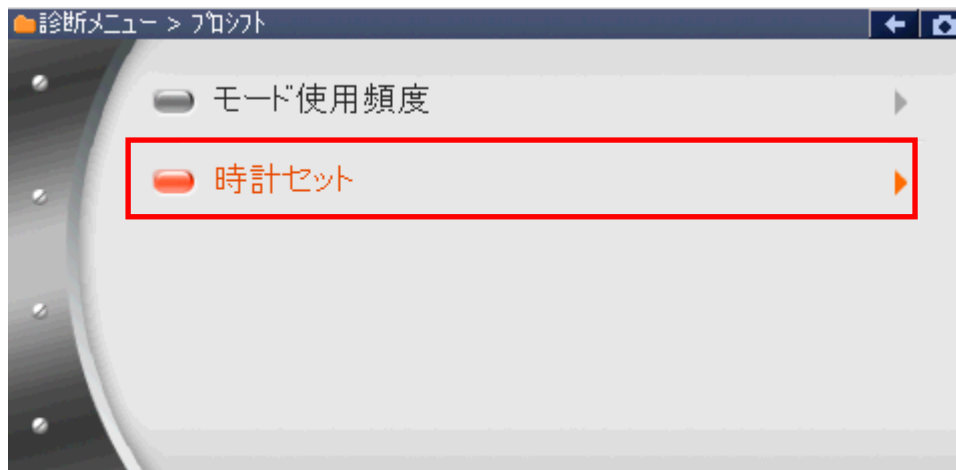
6) リセット履歴が完了したら **Ok** ボタンを押してください。



〈図:リセット履歴完了画面 モード使用頻度〉

《作業サポート「時計セット」》

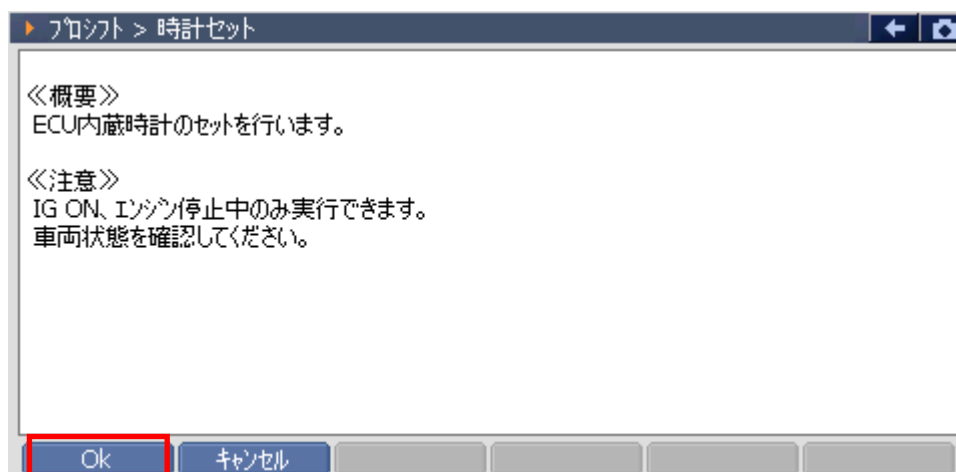
- 1) 作業サポート項目選択画面から『時計セット』を選択して  ボタンを押してください。



〈図：作業サポート項目選択画面〉

- 2) 『時計セット』の実施方法が表示されますので、実施方法をご確認いただき、

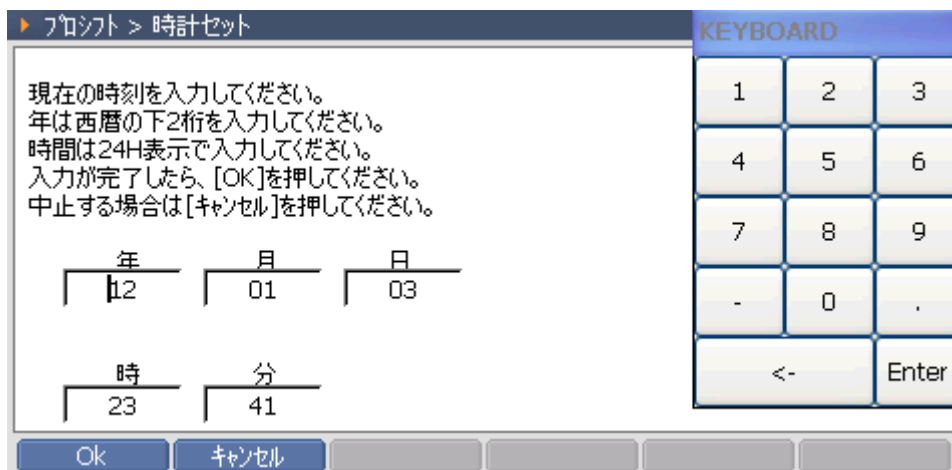
 ボタンを押して作業を進めてください。



〈図：メッセージ画面 時計セット〉

3) ECUに内蔵された現在の時刻が表示されます。

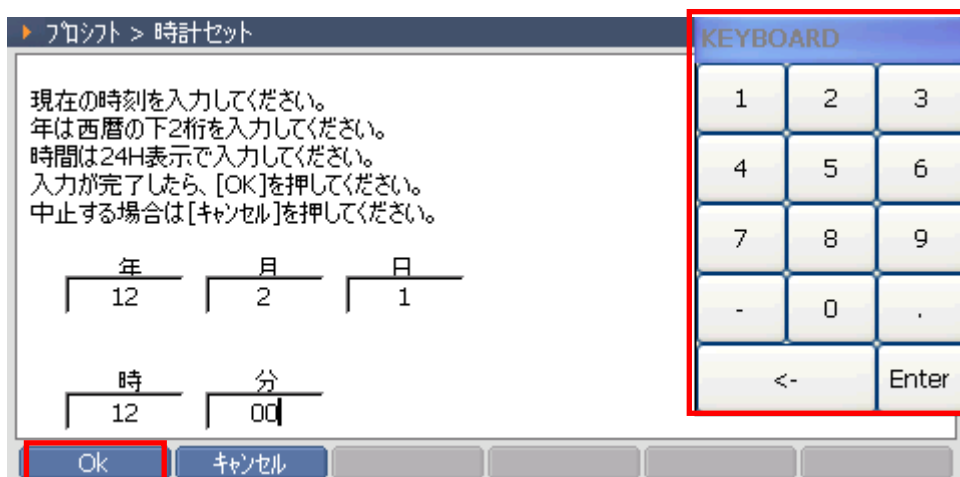
この場合は 2012年1月3日23時41分 を示しています。



〈図: ECU内蔵時刻表示 時計セット〉

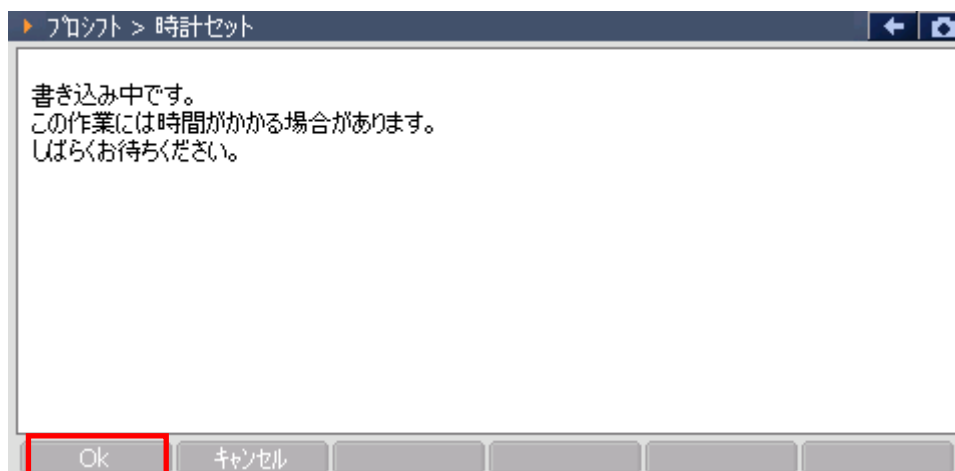
時刻を修正する場合は、下の修正画面を参考にKEYBOARDを押して正しい時刻を入力してください。この場合は 2012年2月1日12時00分 を示しています。

入力が終了したら、 **Ok** ボタンを押して作業を進めてください。




〈図: 修正画面 時計セット〉

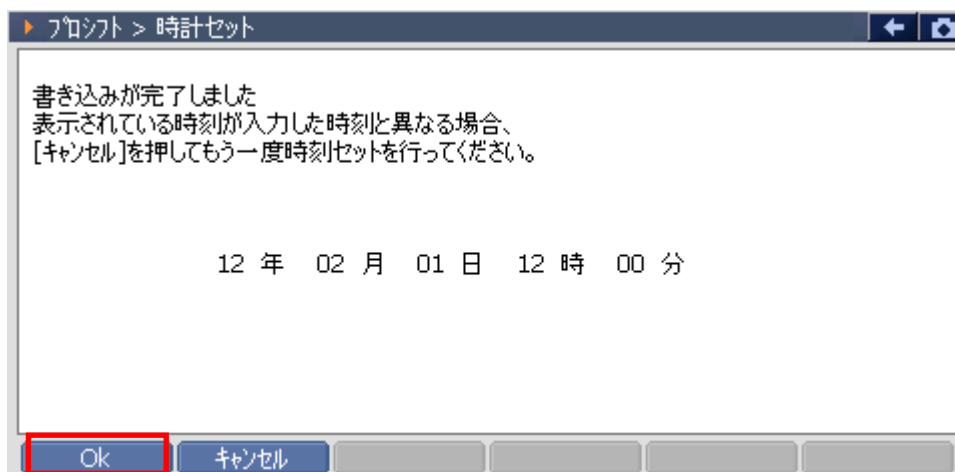
4) 書き込み中の画面が表示されます。



〈図:メッセージ画面 時計セット〉

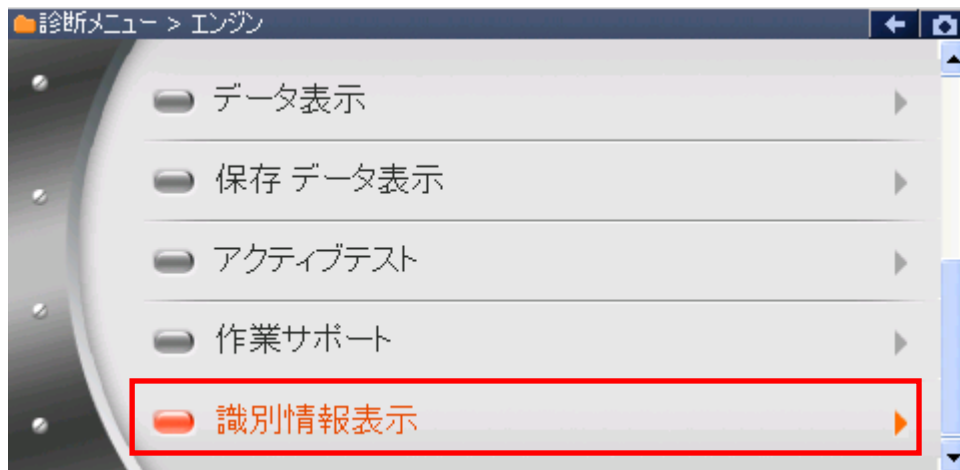
5) セットされた時刻が表示されます。

入力された時刻が正しく表示されていれば  ボタンを押して時計セットを終了します。



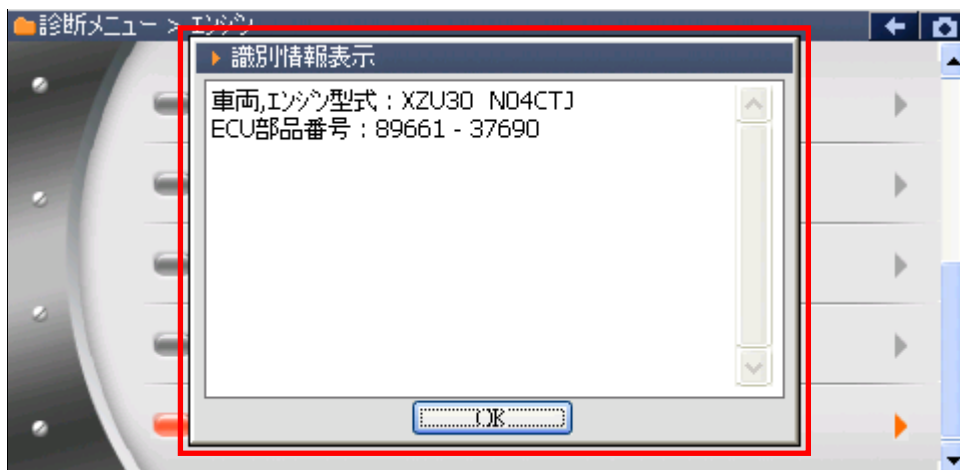
〈図:メッセージ画面 時計セット〉

1) 診断メニューにおいて『識別情報表示』を選択して **ENTER** ボタンを押して下さい。



〈図: 診断メニューにて識別情報表示を選択〉

2) 識別情報が表示されます。



〈図: 識別情報表示画面〉

※注意と補足※

- ・ 上記の画面はエンジンシステムの識別情報表示画面です。
表示される内容は選択するシステムによって異なります。



株式会社 インターサポート

〒310-0836

茨城県水戸市元吉田町329-5

Tel 029-248-0616 Fax 029-248-1609

<http://www.inter-support.co.jp>

製品保守センター

(修理のお問合せはこちら)

Tel 029-304-0185

サポートセンター

(製品のご相談・ご質問はこちら)

Tel 0570-064-737 (ナビダイヤル※)

Fax 029-304-0167

※IP電話・PHSからはご利用出来ませんので、FAXでお問い合わせください。

2013年4月発行 第13版

本書を株式会社インターサポートの許可無く複写、複製、転載する事を禁じます。

本書に記載の製品、製品仕様、および使用方法は改良のために、将来予告なしに変更される場合があります。

G1PZFDN001-16-13